
吹田市 第3期障がい児福祉計画の 策定に向けたアンケート

－ 報告書 －

令和6年(2024年)3月

吹 田 市

目 次

調査の概要	1
1 調査方法と回収状況	1
2 調査結果の概要	2
主な調査結果	10
1 調査対象者の属性と支援の状況	10
2 生活環境について	14
3 平日の日中活動について	16
4 療育・発達支援について	22
5 情報や相談について	32
6 障がい福祉のサービスについて	41
7 将来の暮らしについて	47
8 保護者の社会参加の状況について	55
9 障がい児・者の人権や障がい児・者理解について	60
10 災害について	63
その他回答	69
自由記述	78

調査の概要

1 調査方法と回収状況

第3期吹田市障がい児福祉計画の策定に向けて、通所受給者証や障がい者手帳をお持ちの方々の日頃の生活の様子、福祉サービス等のあり方に対するお考えや利用意向を把握し、今後の施策立案に必要な資料を得るために、アンケート調査を実施しました。

調査の方法と回収状況、回答者の主な属性

調査対象	令和5年(2023年)5月現在、通所受給者証または身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方の中から無作為抽出
調査方法	郵送による配付・回収、WEB回答フォームによる回答を併用
調査期間	令和5年(2023年)5～6月
回収状況	配布数：300件 有効回答数：152件（調査票用紙による回答127件、WEB回答25件） 有効回答率：50.7%

※アンケート調査結果の各設問の母数n (Number of caseの略)は、設問に対する有効回答者数を意味します。

※各選択肢の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答については構成比の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100%を超える場合があります。

※グラフ中の数字は、特に断り書きのない限りすべて構成比を意味し、単位は%です。

※属性別クロス集計のグラフ・集計表には、属性が無回答であったサンプルの集計結果を割愛している場合があります。

※属性別クロス集計におけるサンプル誤差は、50サンプルで最大13.9%、30サンプルで最大17.9%発生します。この誤差を考慮して、有効回答数が30サンプル未満の属性については参考値として扱います。

※選択肢「その他」に記述された内容は、構成比が20%を超えるもののみ紹介しています。

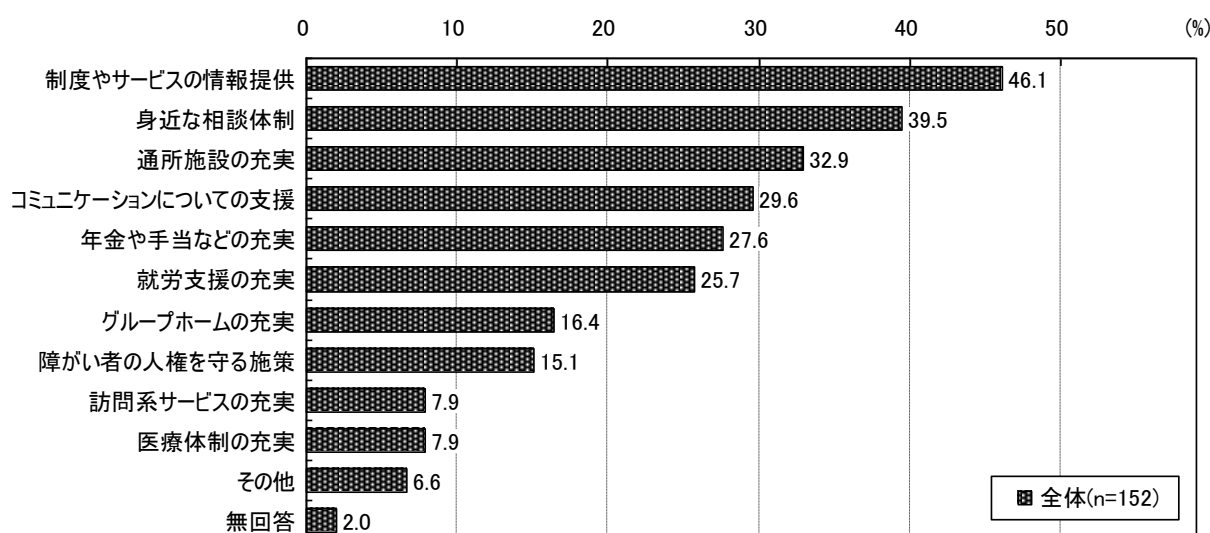
2 調査結果の概要

(ア) 希望する暮らし方を実現するために必要なこと

身近で相談できる地域の相談支援体制を充実させるとともに、様々な媒体を活用して効果的・効率的な情報発信を実施していく必要があります。

「制度やサービスの情報提供」(46.1%)が最も多く、次いで「身近な相談体制」(39.5%)、「通所施設の充実」(32.9%)、「コミュニケーションについての支援」(29.6%)、「年金や手当などの充実」(27.6%)、「就労支援の充実」(25.7%)の順で多くみられます。

特に「制度やサービスの情報提供」、「身近な相談体制」については、手帳所持の有無や障害種別に関わらず必要と回答した人が多くなっています。

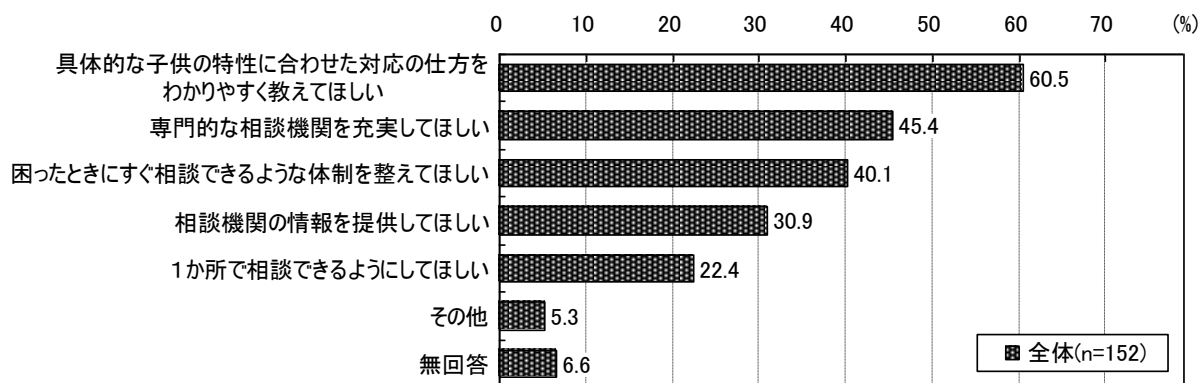


(イ) 療育に関する相談について望むこと

特性に合わせた対応の仕方などの専門的なことについて、困ったときに相談できる場が求められています。また、相談支援機関の情報をよりわかりやすく提供することや、各種相談窓口についての周知を進める取り組みが必要です。

「具体的な子供の特性に合わせた対応の仕方をわかりやすく教えてほしい」(60.5%)、「専門的な相談機関を充実してほしい」(45.4%)、「困ったときにすぐ相談できるような体制を整えてほしい」(40.1%)、「相談機関の情報を提供してほしい」(30.9%)、「1か所で相談できるようにしてほしい」(22.4%)の順に多くみられます。

また、未就学児では、「相談機関の情報を提供してほしい」が53.7%と多くなっています。

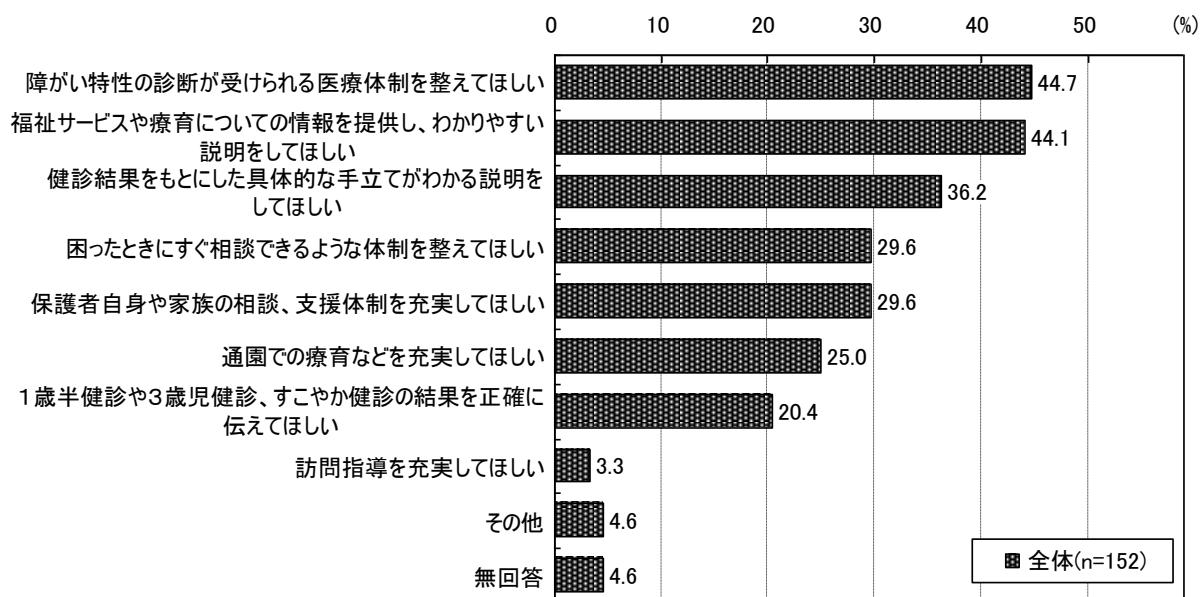


(ウ) 乳幼児期の健診や療育に関して望むこと

乳幼児期において、早期の診断が受けられることや障がい特性に応じた医療体制の充実が求められています。また、通園先での療育の充実だけでなく保護者や家族に対する支援体制を充実させる取り組みが必要です。

「障がい特性の診断が受けられる医療体制を整えてほしい」(44.7%)、「福祉サービスや療育についての情報を提供し、わかりやすい説明をしてほしい」(44.1%)、「健診結果をもとにした具体的な手立てがわかる説明をしてほしい」(36.2%)、「困ったときにすぐ相談できるような体制を整えてほしい」と「保護者自身や家族の相談、支援体制を充実してほしい」がそれぞれ29.6%と多くなっています。

未就学児では、上記のほか「通園での療育などを充実してほしい」と「1歳半健診や3歳児健診、すこやか健診の結果を正確に伝えてほしい」と回答した人の割合が高くなっています。また、医療的ケアを必要とする児童については、「障がい特性の診断が受けられる医療体制を整えてほしい」と「福祉サービスや療育についての情報を提供し、わかりやすい説明をしてほしい」の回答が多くみられます。

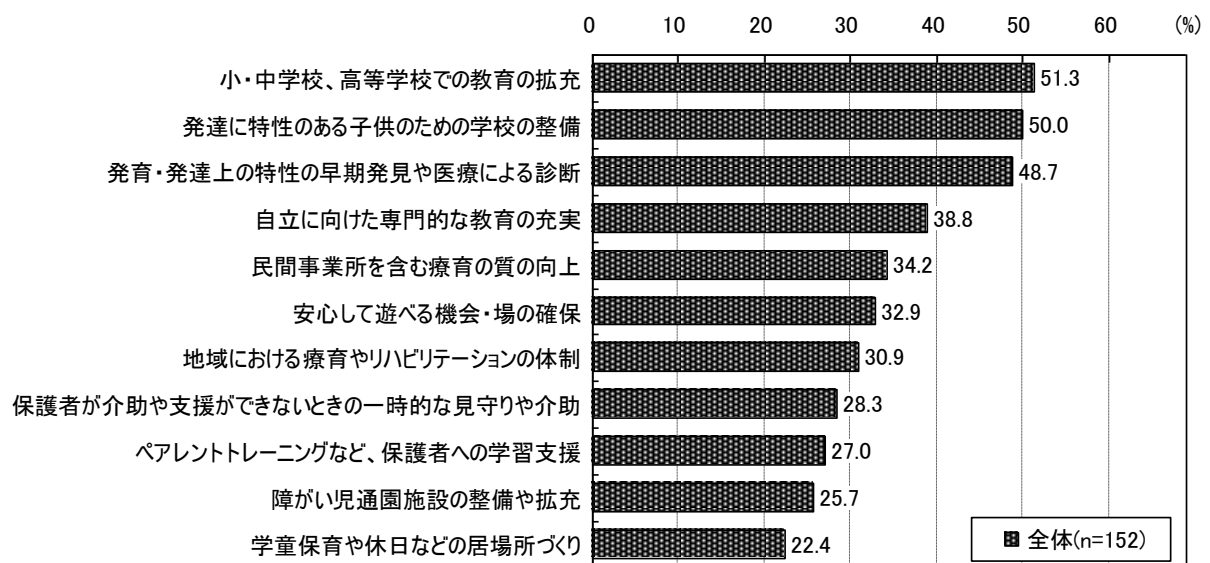


(エ) 障がいや発達に特性のある子供のための施策やサービスなどで、特に充実が必要なもの

障がい特性に応じたサービスにつながるよう、早期発見や医療による診断が必要です。また、子供の成長とともに、将来の自立を見据えた教育が求められています。

「小・中学校、高等学校での教育の拡充」(51.3%)、「発達に特性のある子供のための学校の整備」(50.0%)、「発育・発達上の特性の早期発見や医療による診断」(48.7%)と多くなっています。

また、未就学児では、「発育・発達上の特性の早期発見や医療による診断」が51.2%と最も多く、次いで「小・中学校、高等学校での教育の拡充」の回答が多くみられます。



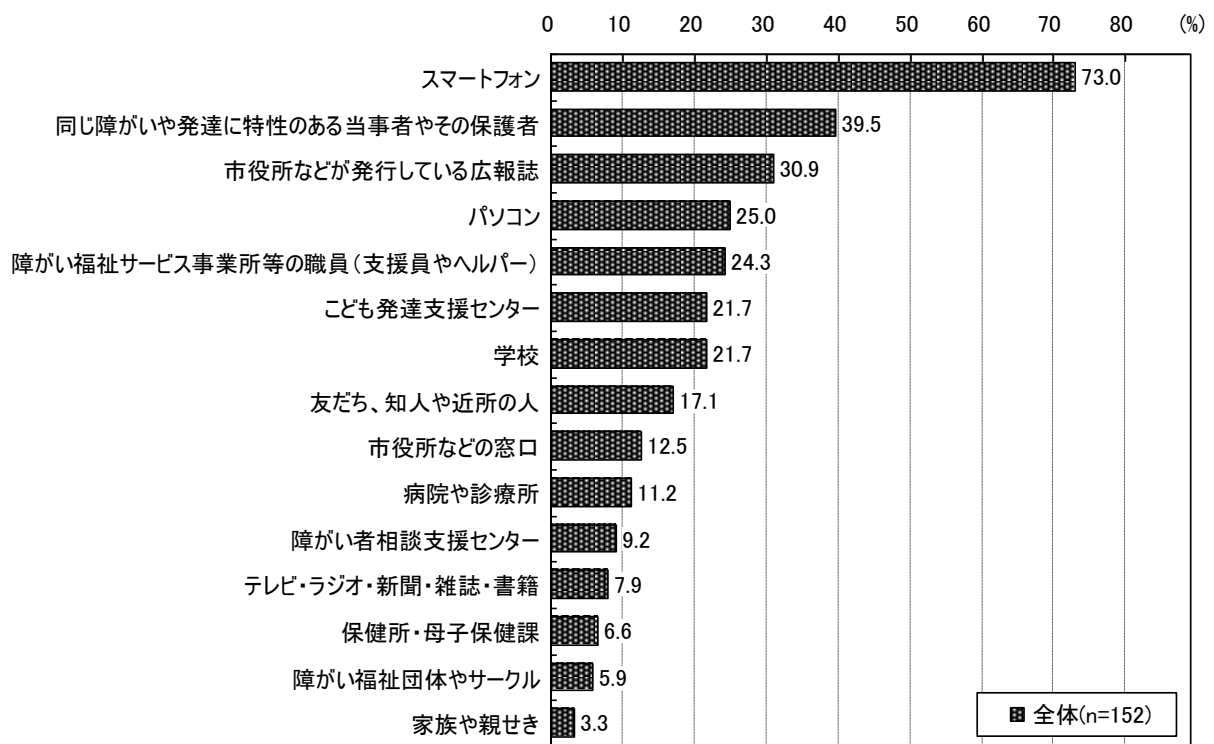
※上位11項目

(オ) 保健や福祉サービスに関する情報入手先

ホームページやSNS等、様々な媒体を活用した情報提供を行うことが必要です。また、相談支援機関に対する適切な情報提供や、当事者同士の交流を図る取組など、情報が入手しやすい環境の整備を進めることが必要です。

「スマートフォン」(73.0%)と最も多く、次いで「同じ障がいや発達に特性のある当事者やその保護者」(39.5%)、「市役所などが発行している広報誌」(30.9%)、「パソコン」(25.0%)、「障がい福祉サービス事業所等の職員(支援員やヘルパー)」(24.3%)、「こども発達支援センター」や「学校」がそれぞれ21.7%の順となっています。

障害種別や年齢層に関わらず、「スマートフォン」と回答した人が多くみられます。

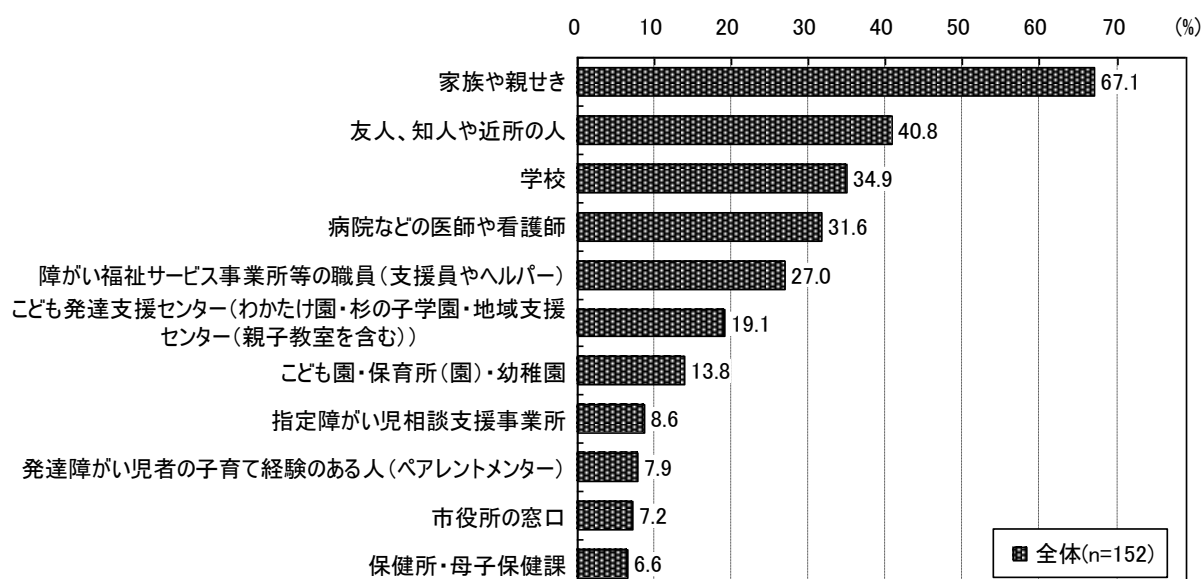


※上位15項目

(カ) 困ったときの相談先、相談支援体制に希望すること

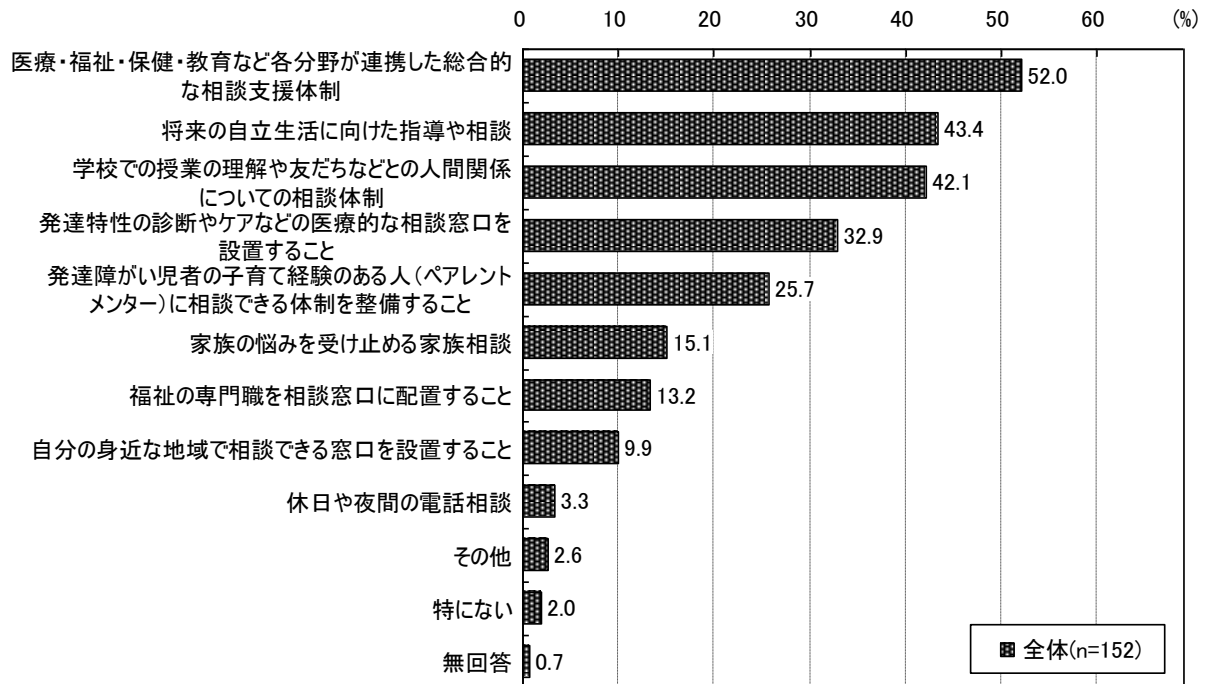
総合的かつ効果的な相談支援が提供できるよう、医療や福祉、教育など各相談機関に適切につながる体制を構築するとともに、各相談機関の連携強化を図ることが必要です。

困ったときの相談先として、「家族や親せき」(67.1%)が最も多く、次いで「友人、知人や近所の人」(40.8%)、「学校」(34.9%)、「病院などの医師や看護師」(31.6%)、「障がい福祉サービス事業所等の職員(支援員やヘルパー)」(27.0%)の順となっています。



※上位11項目

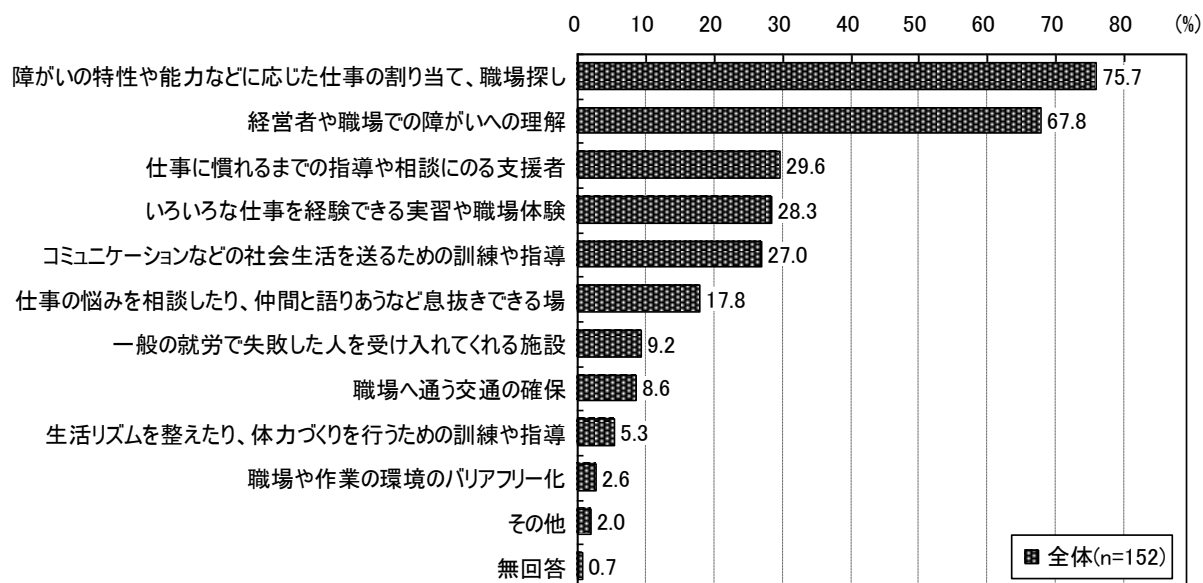
相談支援体制に希望することとして、「医療・福祉・保健・教育など各分野が連携した総合的な相談支援体制」（52.0％）が最も多く、次いで「将来の自立生活に向けた指導や相談」（43.4％）、「学校での授業の理解や友だちなどとの人間関係についての相談体制」（42.1％）、「発達特性の診断やケアなどの医療的な相談窓口を設置すること」（32.9％）、「発達障がい児者の子育て経験のある人（ペアレントメンター）に相談できる体制を整備すること」（25.7％）の順となっています。



（キ）障がいや発達に特性がある人が一般の就労で働き続けるために必要なこと

企業等における障がいの理解促進及び合理的配慮の提供が図られるよう啓発を推進するとともに、障がいの特性等に応じた就職支援及び就職後の定着支援等、継続した就労支援が必要です。

「障がいの特性や能力などに応じた仕事の割り当て、職場探し」（75.7％）が最も多く、次いで「経営者や職場での障がいへの理解」（67.8％）、「仕事に慣れるまでの指導や相談にのる支援者」（29.6％）、「いろいろな仕事を経験できる実習や職場体験」（28.3％）、「コミュニケーションなどの社会生活を送るための訓練や指導」（27.0％）の順となっています。

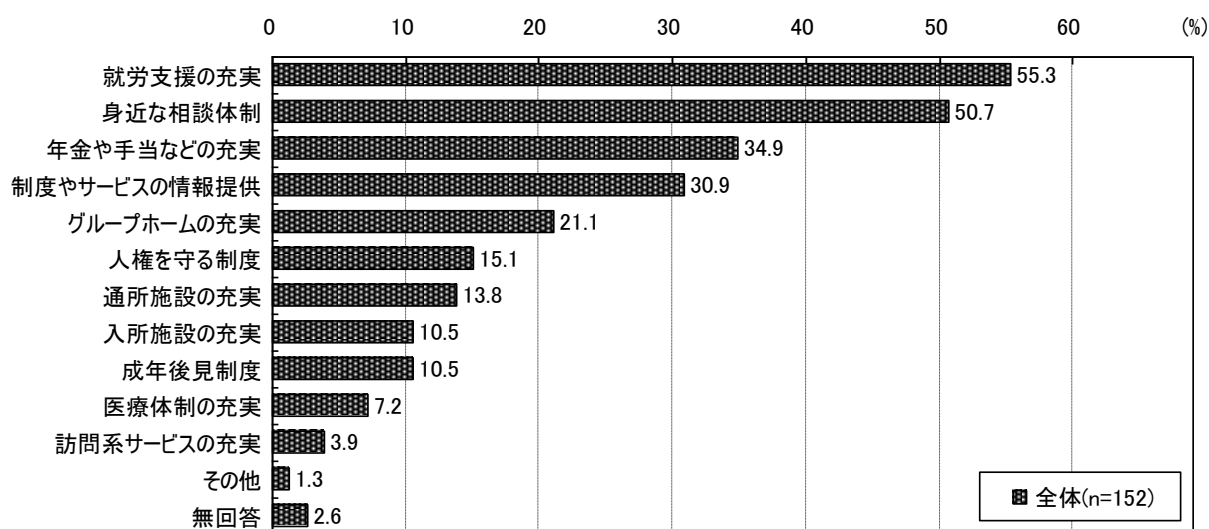


(ク) 将来の暮らしのために必要なこと

各ライフステージに必要な制度やサービス等の情報をわかりやすく提供することが求められています。また、就労、住まい、日中活動など、各生活場面に対応するサービスの充実が必要です。

「就労支援の充実」(55.3%)が最も多く、次いで「身近な相談体制」(50.7%)、「年金や手当などの充実」(34.9%)、「制度やサービスの情報提供」(30.9%)、「グループホームの充実」(21.1%)の順となっています。

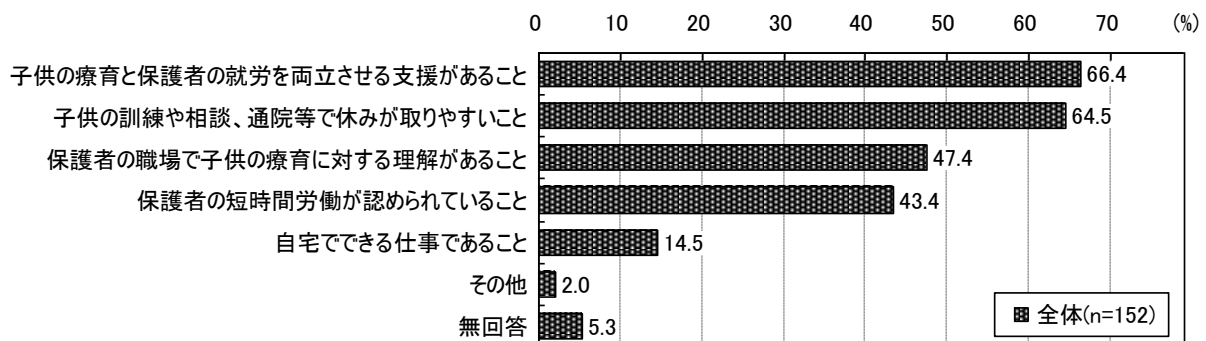
年齢別にみると、年齢が上がるとともに、「グループホームの充実」や「通所施設の充実」と回答した人の割合が高くなっています。



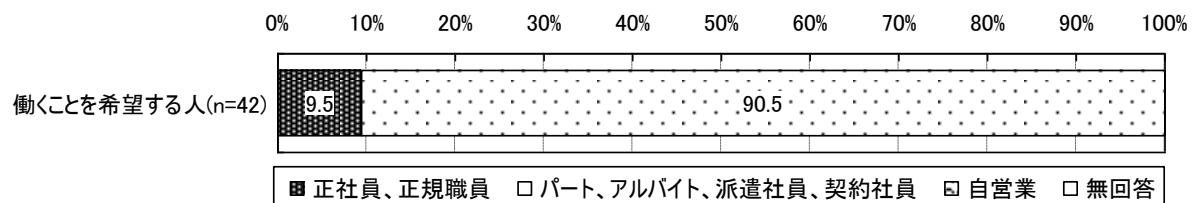
(ケ) 保護者の就労に関して、必要な支援

子供の療育と保護者の仕事の両立がしやすい職場環境を整備するため、企業等に対する障がいの理解促進のための啓発が必要です。

「子供の療育と保護者の就労を両立させる支援があること」(66.4%)が最も多く、次いで「子供の訓練や相談、通院等で休みが取りやすいこと」(64.5%)、「保護者の職場で子供の療育に対する理解があること」(47.4%)、「保護者の短時間労働が認められていること」(43.4%)の順となっています。



就労していない保護者(回答者全体の40.8%)のうち、働くことを希望する人(回答者全体の67.7%)の希望する勤務形態として、「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」は90.5%となっています。

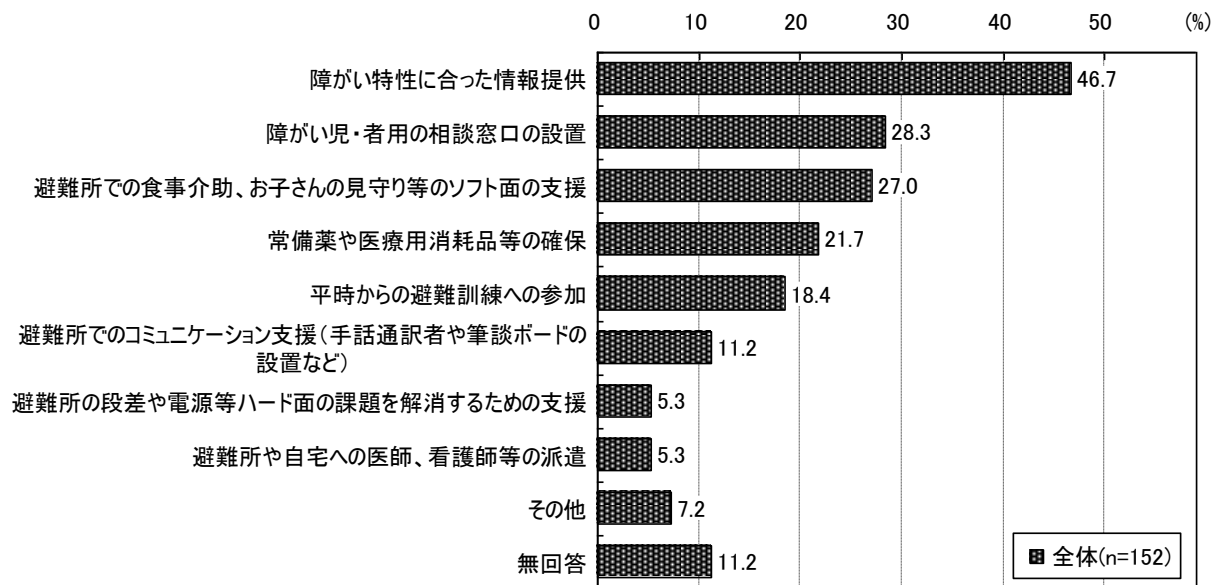


(コ) 地震などの災害時に必要な支援

情報提供や相談支援の実施については、災害時においても障がい特性に配慮した対応が必要です。また、避難所運営にあたっては、必要な医療用消耗品や介助等が提供できる体制整備が求められています。

「障がい特性に合った情報提供」(46.7%)が最も多く、次いで「障がい児・者用の相談窓口の設置」(28.3%)、「避難所での食事介助、お子さんの見守り等のソフト面の支援」(27.0%)、「常備薬や医療用消耗品等の確保」(21.7%)、「平時からの避難訓練への参加」(18.4%)などの順となっています。

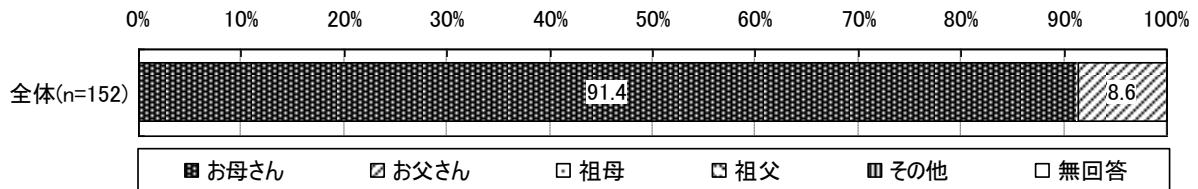
また、身体障がい者手帳を所持していたり、医療的ケアを必要とする児童について「常備薬や医療用消耗品等の確保」と回答した割合が多くみられます。



主な調査結果

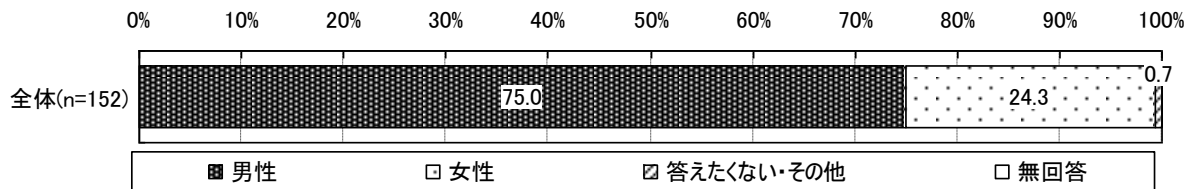
1 調査対象者の属性と支援の状況

問1 この調査票を記入した人はお子さんからみてどなたですか。(〇は1つ)



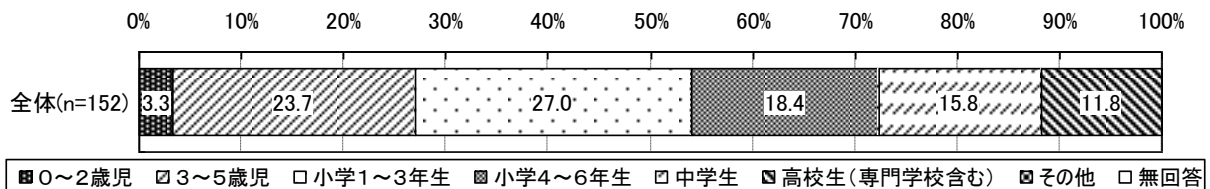
・「お母さん」が91.4%、「お父さん」が8.6%となっています。

問2 お子さん（ご本人）の性別を教えてください。(〇は1つ)



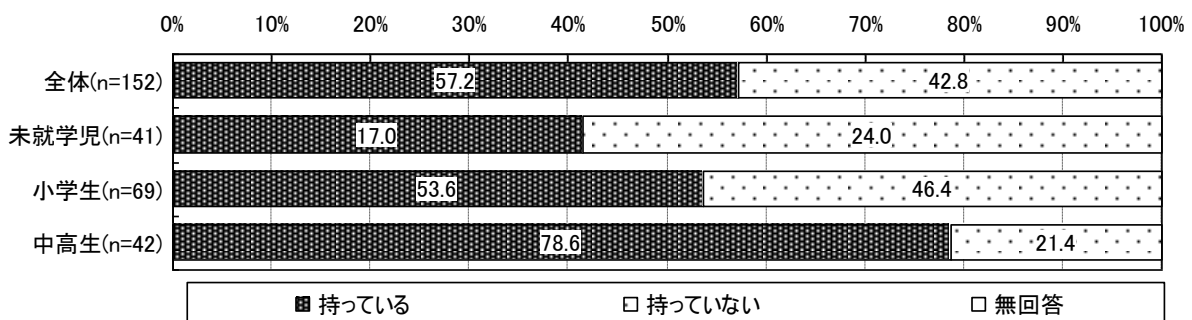
・「男性」が75.0%、「女性」が24.3%となっています。

問3 お子さん（ご本人）の学年（年齢）を教えてください。(〇は1つ)



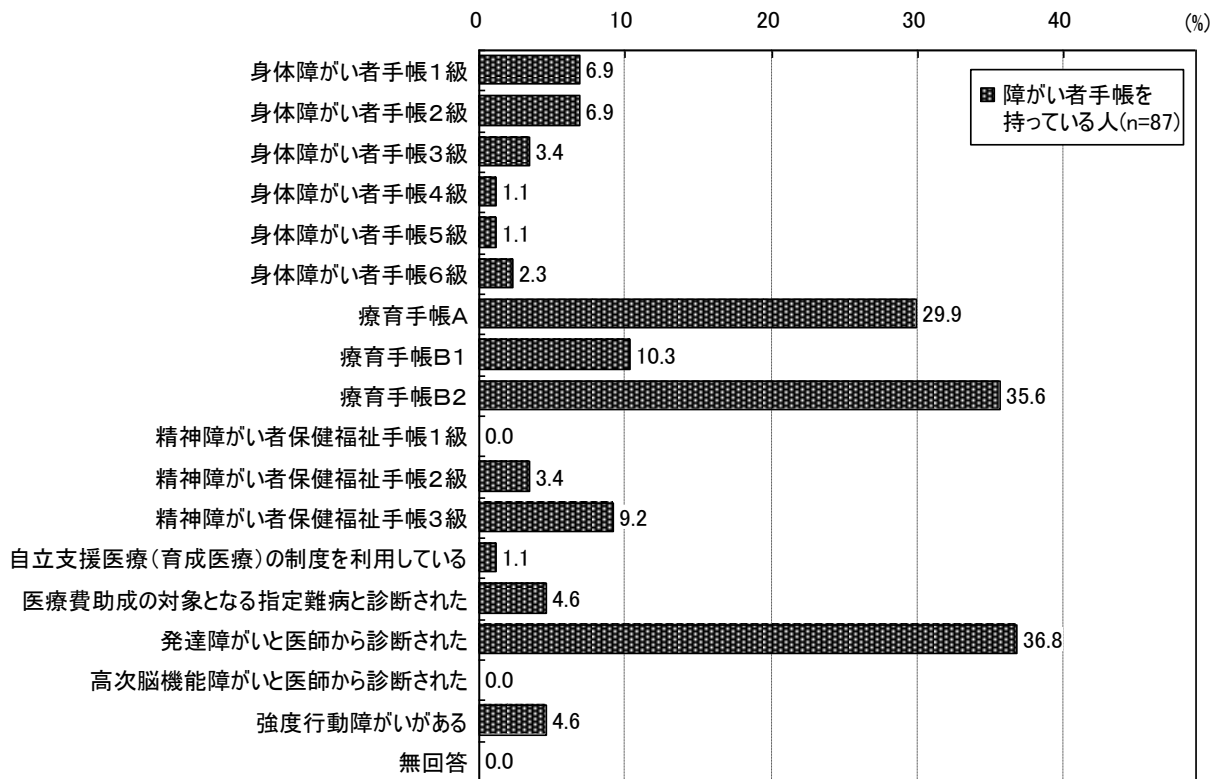
・「小学1～3年生」が27.0%、「3～5歳児」が23.7%、「小学4～6年生」が18.4%、「中学生」が15.8%などとなっています。

問4 お子さん（ご本人）は障がい者手帳を持っていますか。(〇は1つ)



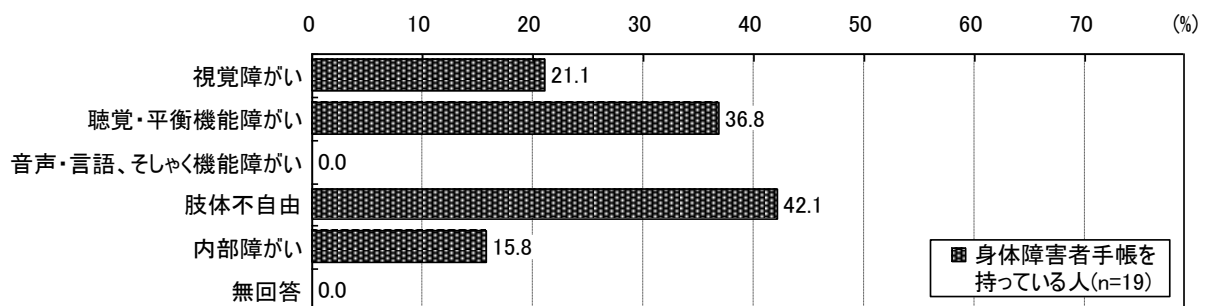
・障がい者手帳を「持っている」人は57.2%で、成長段階が進むごとに多くみられます。

問5 お子さん（ご本人）が障がい者手帳を持っている人は等級を教えてください。また、指定難病、発達障がいや高次脳機能障がいの診断について、教えてください。（あてはまるものすべてに○）



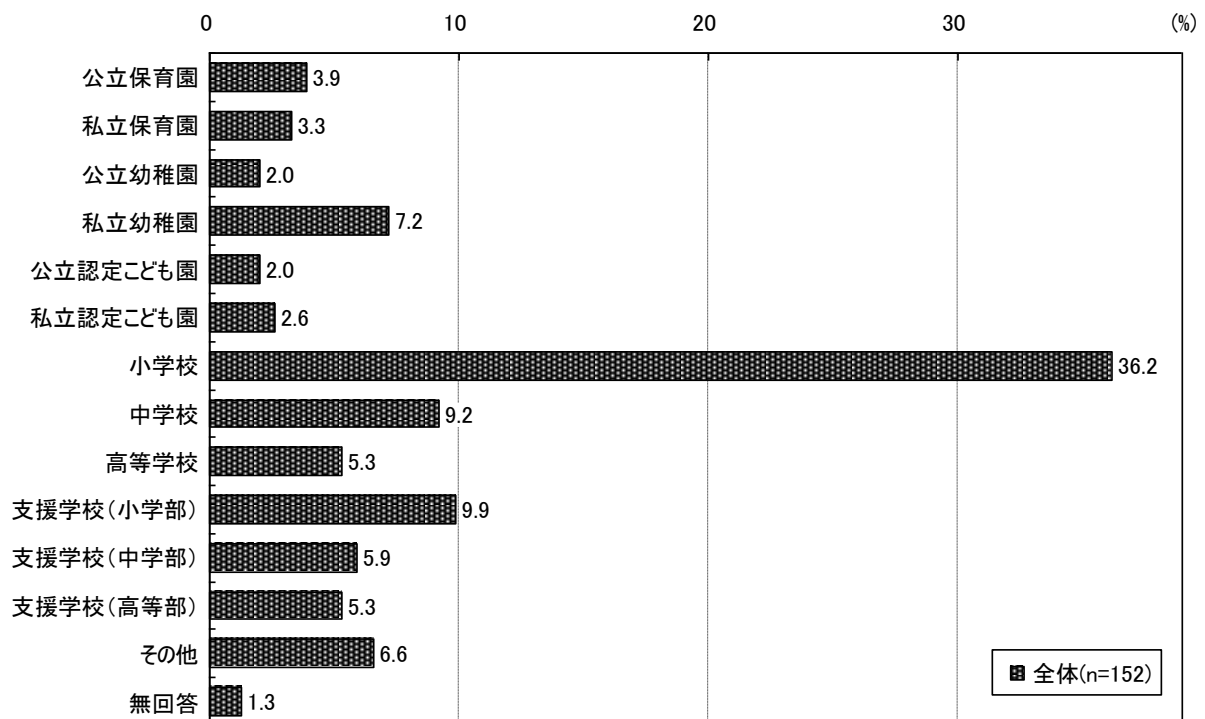
・療育手帳を持っている人は、合わせて75.8%、身体障がい者手帳を持っている人は、合わせて21.7%、精神障がい者保健福祉手帳を持っている人は、合わせて12.6%などとなっています。

問5 付問 身体障がい者手帳をお持ちの人は、障がいの種類を教えてください。（あてはまるものすべてに○）



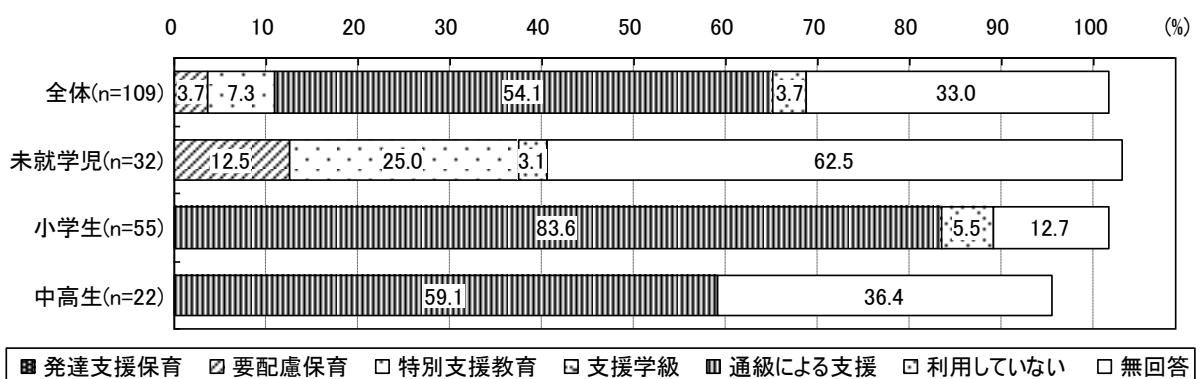
・「肢体不自由」が42.1%、「聴覚・平衡機能障がい」が36.8%などとなっています。

問6 お子さん（ご本人）の通園先、通学先を教えてください。（あてはまるものに○）



- ・「小学校」が36.2%と最も多く、次いで「支援学校（小学部）」が9.9%、「中学校」が9.2%、「私立幼稚園」が7.2%などとなっています。

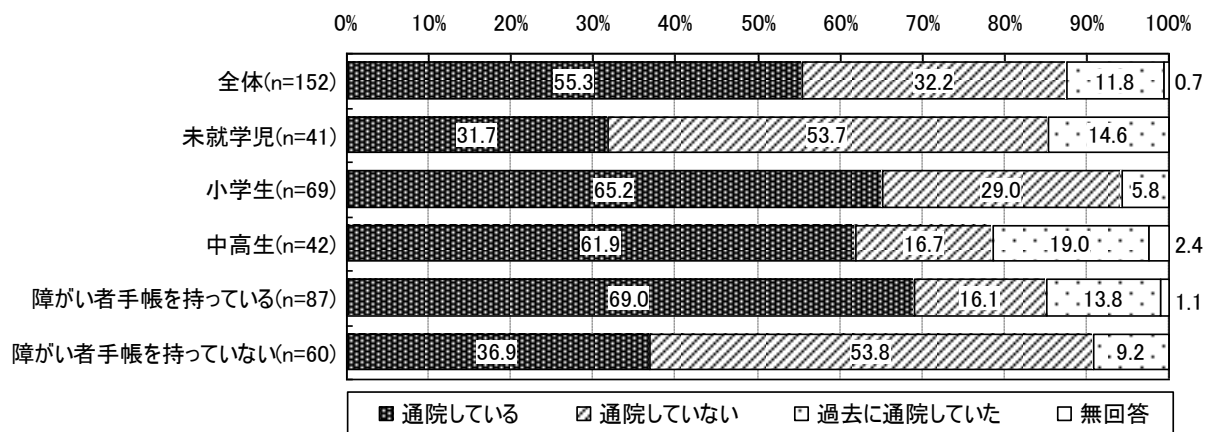
問6 付問 また、通園先、通学先で発達支援や支援学級を利用していますか。（あてはまるものに○）



※保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・高等学校に通っている人への設問

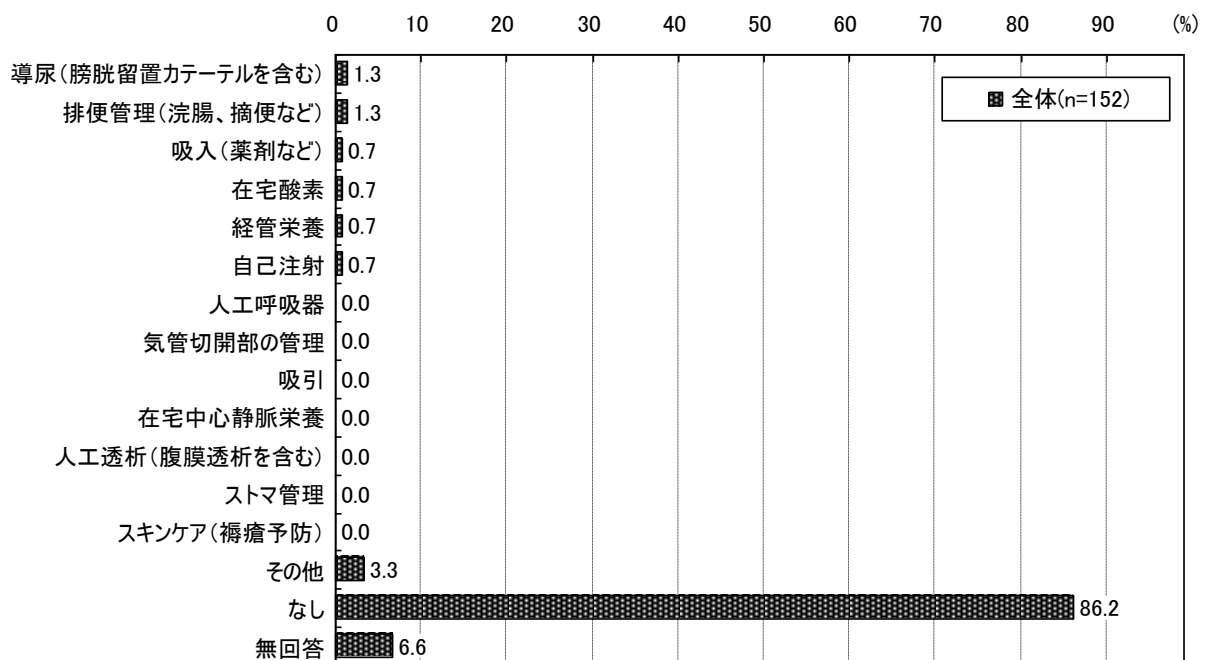
- ・全体では「通級による支援」が54.1%と最も多く、小学生では83.6%、中高生では59.1%を占めています。
- ・未就学児では「特別支援保育」が25.0%、「要配慮保育」が12.5%、残りは「利用していない」または無回答となっています。

問7 お子さん（ご本人）の発達や障がいの関係で、通院していますか。（○は1つ）



- ・「通院している」人は55.3%となっています。
- ・成長段階別にみると、「通院している」人は未就学児では31.7%ですが、小学生、中高生では60%以上となっています。
- ・障がい者手帳の所持状況別にみると、「通院している」人は手帳を持っている人の69.0%で、持っていない人は36.9%となっています。

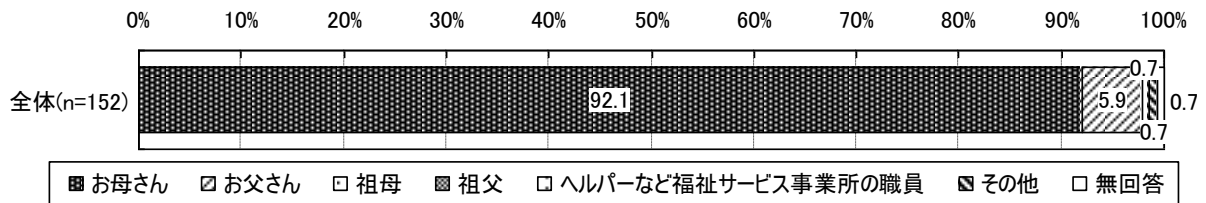
問8 お子さん（ご本人）が自宅で日常的に行っている医療的ケアはありますか。（あてはまるものすべてに○）



- ・何らかの医療的ケアを必要としている人は7.2%となっています。
- ・選択肢「その他」の主な記述内容は、服薬、塗布薬などとなっています。

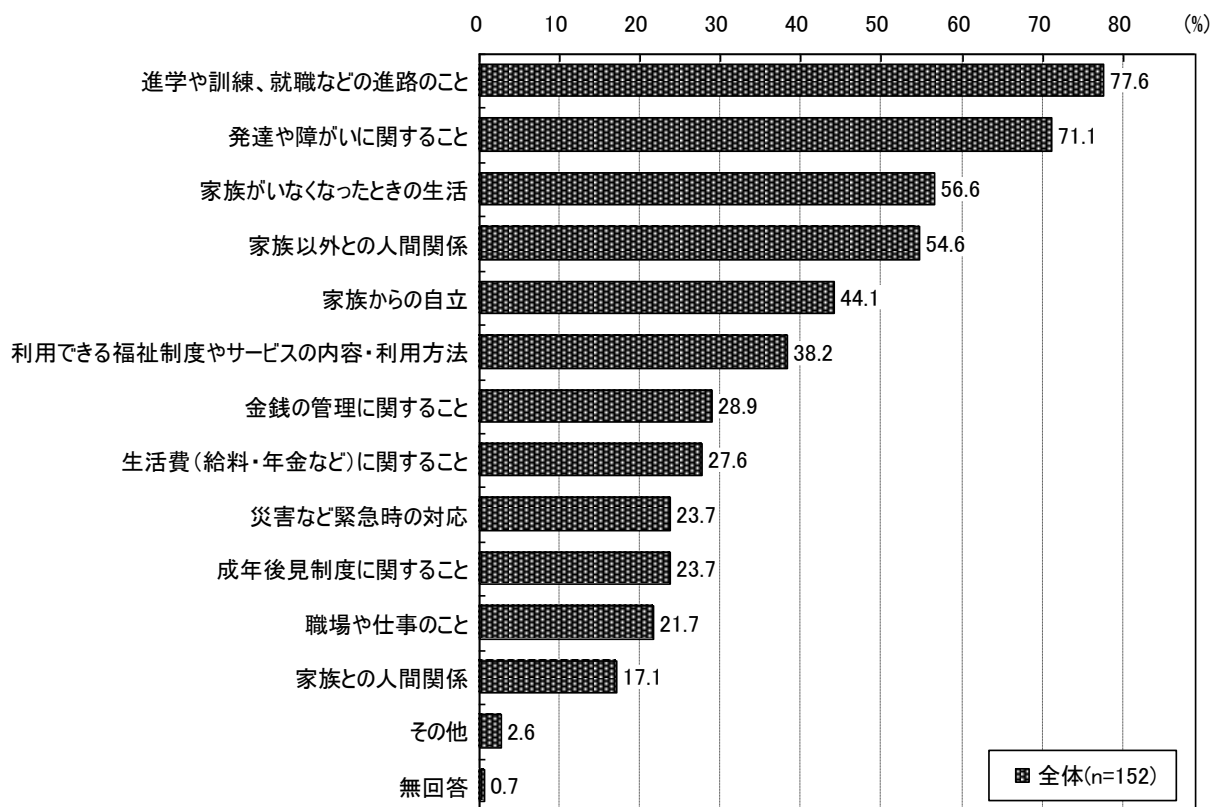
2 生活環境について

問9 お子さん（ご本人）を主に養育しているのはどなたですか。（あてはまるもの1つに○）



・「お母さん」が92.1%を占めています。

問10 お子さん（ご本人）のことで、気にかかっていることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）



- ・「進学や訓練、就職など進路のこと」が77.6%と最も多く、次いで「発達や障がいに関すること」が71.1%、「家族がいなくなったときの生活」が56.6%、「家族以外の人との人間関係」が54.6%、「家族からの自立」が44.1%の順となっています。
- ・成長段階別にみると中高生、手帳あり状況別には手帳を持っている人で、「進学や訓練、就職などの進路のこと」、「家族からの自立」、「家族がいなくなったときの生活」、「金銭の管理に関すること」と答える人が多くみられます。

単位：％	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
進学や訓練、就職などの進路のこと	77.6	73.2	73.9	88.1	87.4	64.6	81.8
発達や障がいに関すること	71.1	85.4	66.7	64.3	64.4	80.0	54.5
家族がいなくなったときの生活	56.6	34.1	56.5	78.6	75.9	30.8	36.4
家族以外との人間関係	54.6	46.3	58.0	57.1	54.0	55.4	54.5
家族からの自立	44.1	26.8	44.9	59.5	52.9	32.3	27.3
利用できる福祉制度やサービスの内容・利用方法	38.2	36.6	36.2	42.9	43.7	30.8	27.3
金銭の管理に関すること	28.9	12.2	31.9	40.5	41.4	12.3	18.2
生活費（給料・年金など）に関すること	27.6	22.0	26.1	35.7	36.8	15.4	18.2
災害など緊急時の対応	23.7	14.6	29.0	23.8	34.5	9.2	9.1
成年後見制度に関すること	23.7	12.2	24.6	33.3	33.3	10.8	18.2
職場や仕事のこと	21.7	26.8	17.4	23.8	23.0	20.0	0.0
家族との人間関係	17.1	12.2	18.8	19.0	19.5	13.8	9.1
その他	2.6	2.4	1.4	4.8	2.3	3.1	18.2
無回答	0.7	0.0	1.4	0.0	0.0	1.5	0.0

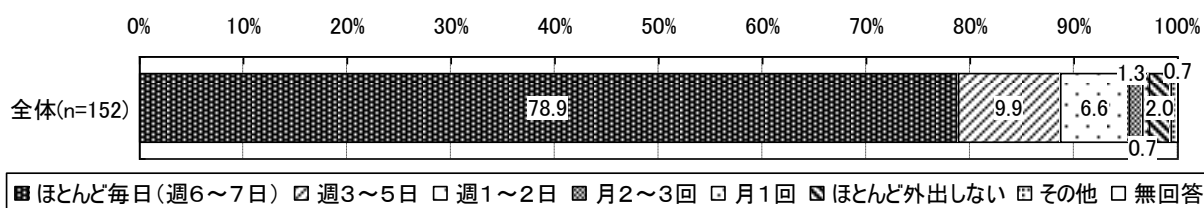
※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
進学や訓練、就職などの進路のこと	77.6	73.7	84.8	100.0	100.0	25.0	90.6	50.0
発達や障がいに関すること	71.1	36.8	65.2	81.8	100.0	50.0	65.6	100.0
家族がいなくなったときの生活	56.6	63.2	81.8	72.7	100.0	75.0	78.1	100.0
家族以外との人間関係	54.6	36.8	51.5	81.8	100.0	0.0	68.8	75.0
家族からの自立	44.1	36.8	54.5	72.7	100.0	50.0	78.1	25.0
利用できる福祉制度やサービスの内容・利用方法	38.2	42.1	47.0	45.5	0.0	25.0	40.6	50.0
金銭の管理に関すること	28.9	21.1	51.5	18.2	0.0	50.0	46.9	25.0
生活費（給料・年金など）に関すること	27.6	26.3	39.4	18.2	0.0	0.0	40.6	25.0
災害など緊急時の対応	23.7	42.1	33.3	27.3	0.0	50.0	46.9	75.0
成年後見制度に関すること	23.7	26.3	40.9	18.2	0.0	50.0	43.8	50.0
職場や仕事のこと	21.7	21.1	21.2	18.2	0.0	0.0	21.9	0.0
家族との人間関係	17.1	0.0	19.7	36.4	0.0	0.0	34.4	25.0
その他	2.6	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0
無回答	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

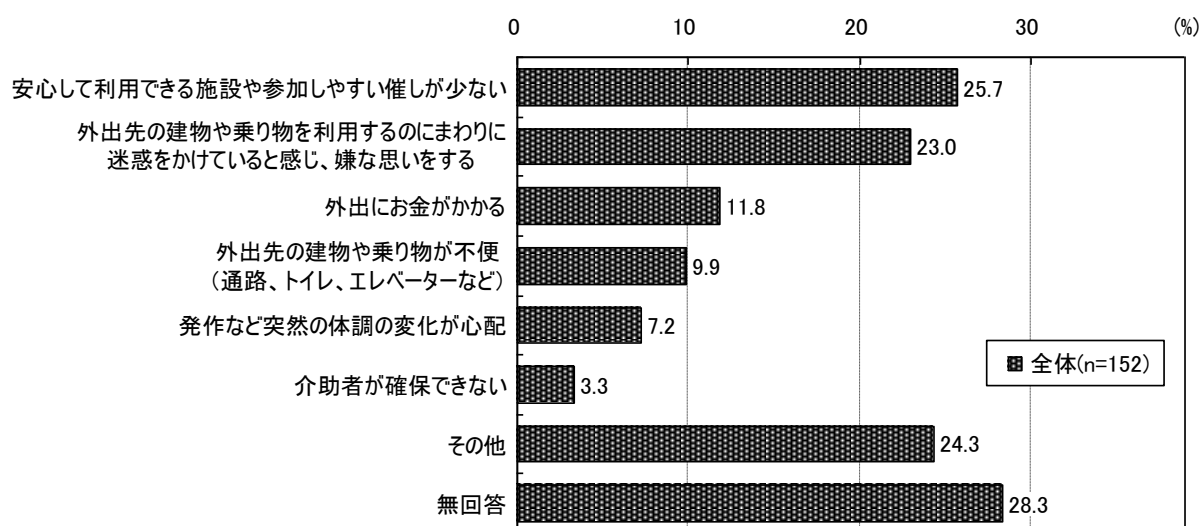
3 平日の日中活動について

問11 お子さん（ご本人）は、どれくらい外出しますか。（○は1つ）



・「ほとんど毎日（週6～7日）」が78.9%となっています。

問12 お子さん（ご本人）と外出するとき、どのようなことに困っていますか。（あてはまるものすべてに○）



・「安心して利用できる施設や参加しやすい催しが少ない」が25.7%と最も多く、次いで「外出先の建物や乗り物を利用するのにまわりに迷惑をかけていると感じ、嫌な思いをする」が23.0%となっています。

- ・成長段階別にみると、未就学児で「外出先の建物や乗り物を利用するのにまわりに迷惑をかけていると感じ、嫌な思いをする」と答える人が多くみられます。

単位：％	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
安心して利用できる施設や参加しやすい催しが少ない	25.7	22.0	29.0	23.8	32.2	16.9	9.1
外出先の建物や乗り物を利用するのにまわりに迷惑をかけていると感じ、嫌な思いをする	23.0	34.1	18.8	19.0	26.4	18.5	18.2
外出にお金がかかる	11.8	4.9	13.0	16.7	13.8	9.2	9.1
外出先の建物や乗り物が不便	9.9	9.8	11.6	7.1	11.5	7.7	45.5
発作など突然の体調の変化が心配	7.2	7.3	8.7	4.8	10.3	3.1	0.0
介助者が確保できない	3.3	0.0	0.0	11.9	5.7	0.0	9.1
その他	24.3	24.4	24.6	23.8	19.5	30.8	72.7
無回答	28.3	22.0	33.3	26.2	23.0	35.4	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

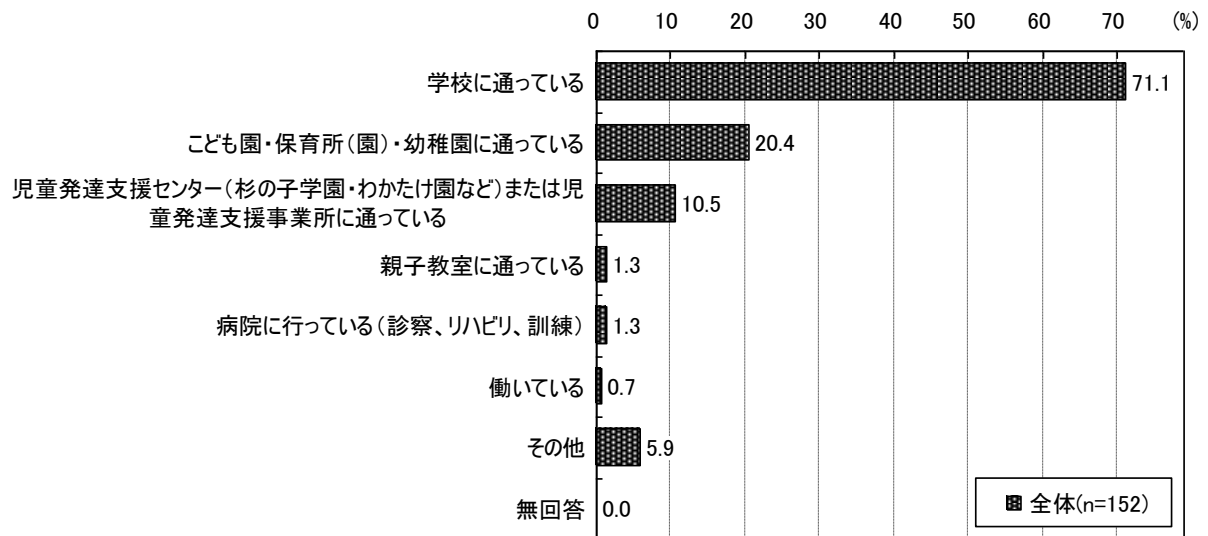
単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
安心して利用できる施設や参加しやすい催しが少ない	25.7	31.6	37.9	18.2	0.0	25.0	28.1	50.0
外出先の建物や乗り物を利用するのにまわりに迷惑をかけていると感じ、嫌な思いをする	23.0	15.8	28.8	27.3	0.0	25.0	34.4	0.0
外出にお金がかかる	11.8	5.3	12.1	27.3	0.0	0.0	15.6	75.0
外出先の建物や乗り物が不便	9.9	31.6	10.6	9.1	0.0	0.0	6.3	25.0
発作など突然の体調の変化が心配	7.2	5.3	9.1	18.2	0.0	0.0	12.5	0.0
介助者が確保できない	3.3	10.5	7.6	0.0	0.0	25.0	6.3	0.0
その他	24.3	15.8	19.7	18.2	0.0	0.0	18.8	50.0
無回答	28.3	26.3	18.2	36.4	100.0	50.0	21.9	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

【選択肢「その他」の主な記述内容】

[身体障がいと知的障がい] ・タクシーを利用する時、車いすが乗らないことが多い。 [知的障がい] ・行って帰って来れるか。目的地に辿り着けるか。 ・お金の支払いが一人ではできない。 ・大人のトイレ（子供が大人しく待ってられないので）。 [知的障がいと発達障がい] ・本人の特性により予定していた外出を急に嫌がる。	[障がい者手帳は持っていない] ・勝手にいなくなったり、いろんな物に触ってしまう。 ・こだわりが強く、前に進むのが難しいと感じる。 ・状況を把握できずに起こる事故。 ・トイレが近いので、外出先でお手洗いの場所を常に気にしていないといけない。 ・食事の確保、障がい特性で歩けない。
---	--

問13 お子さん（ご本人）は、平日の昼間の時間帯は、どのように過ごしていますか。
（あてはまるものすべてに○）

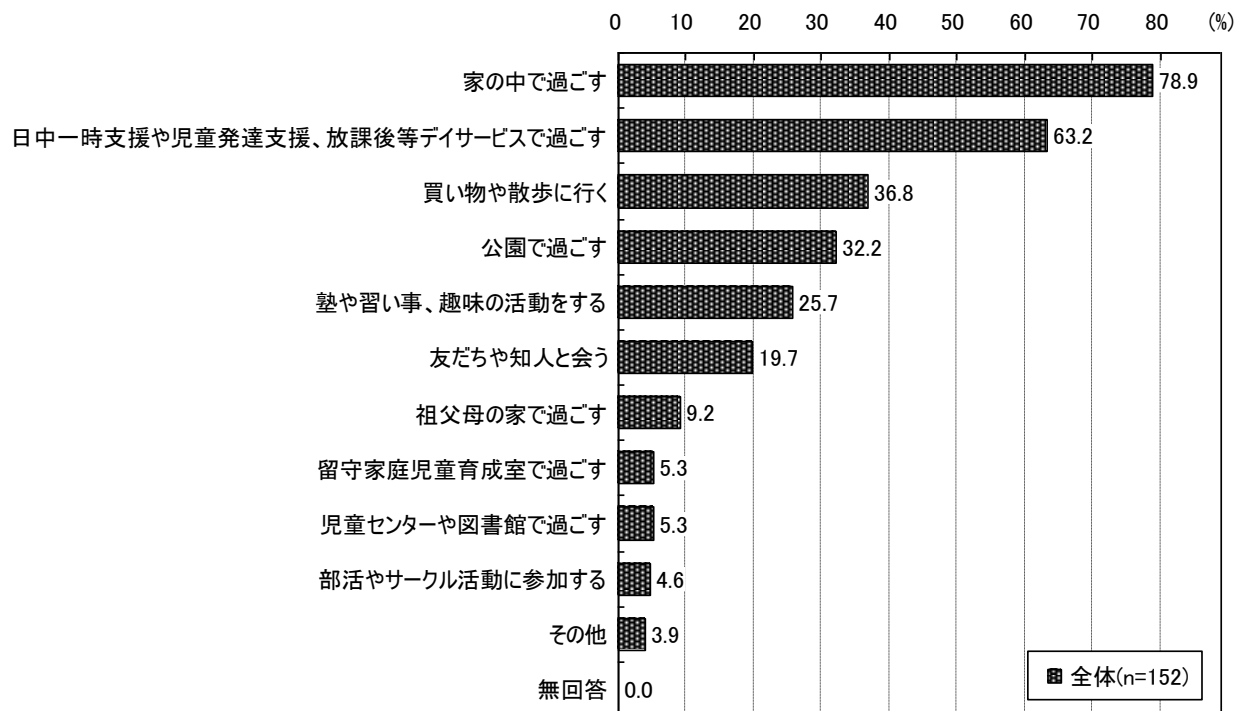


・「学校に通っている」が71.1%と最も多く、次いで「こども園・保育所（園）・幼稚園に通っている」が20.4%、「児童発達支援センター（杉の子学園・わかたけ園など）または児童発達支援事業所に通っている」が10.5%となっています。

単位：%	全体 (n=152)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)	医ケアあり (n=11)
学校に通っている	71.1	79.3	60.0	73.7	80.3	90.9	100.0	75.0	84.4	75.0	72.7
こども園・保育所 (園)・幼稚園に 通っている	20.4	11.5	32.3	15.8	10.6	0.0	0.0	25.0	6.3	0.0	27.3
児童発達支援セン ターまたは児童発 達支援事業所に通 っている	10.5	6.9	15.4	5.3	9.1	0.0	0.0	0.0	6.3	25.0	9.1
親子教室に通っ ている	1.3	1.1	1.5	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病院に行っている	1.3	2.3	0.0	10.5	1.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	9.1
働いている	0.7	1.1	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.9	4.6	7.7	5.3	3.0	18.2	0.0	0.0	6.3	0.0	9.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

問14 平日の夕方（親子教室や通園施設、学校が終わった後）やお休みの日に、お子さん（ご本人）はどのように過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

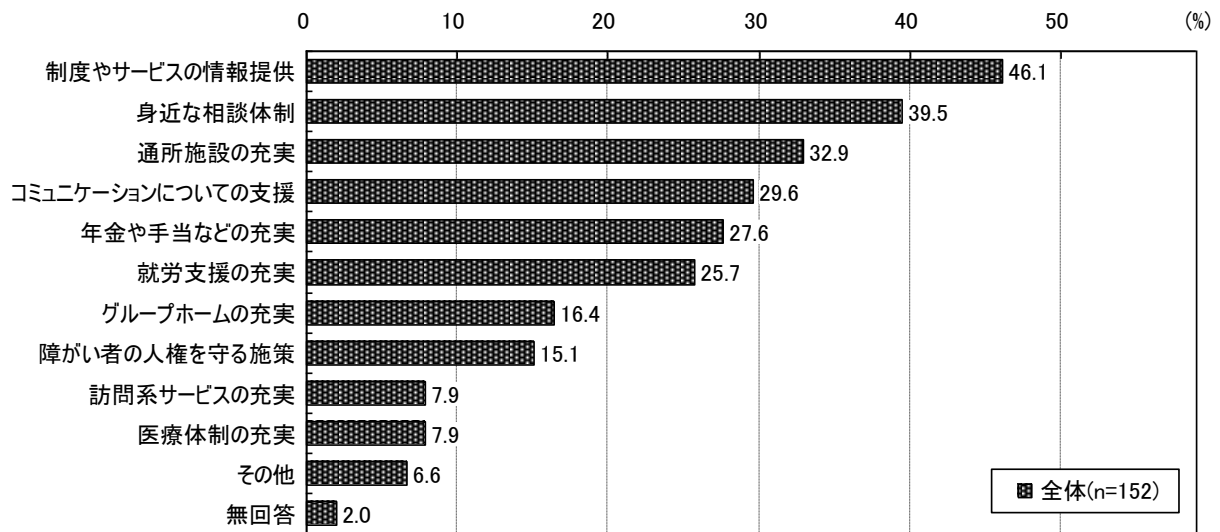


・「家の中で過ごす」が78.9%と最も多く、次いで「日中一時支援や児童発達支援、放課後等デイサービスで過ごす」が63.2%となっています。

単位：%	全体 (n=152)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)	医ケアあり (n=11)
家の中で過ごす	78.9	77.0	81.5	89.5	78.8	54.5	0.0	100.0	71.9	50.0	90.9
日中一時支援や児童発達支援、放課後等デイサービスで過ごす	63.2	65.5	60.0	42.1	72.7	54.5	0.0	50.0	62.5	75.0	36.4
買い物や散歩に行く	36.8	35.6	38.5	31.6	37.9	9.1	0.0	50.0	28.1	50.0	45.5
公園で過ごす	32.2	27.6	38.5	21.1	28.8	9.1	0.0	25.0	28.1	25.0	54.5
塾や習い事、趣味の活動をする	25.7	19.5	33.8	15.8	15.2	36.4	100.0	0.0	18.8	25.0	27.3
友だちや知人と会う	19.7	18.4	21.5	26.3	13.6	18.2	0.0	0.0	15.6	0.0	18.2
祖父母の家で過ごす	9.2	8.0	10.8	10.5	6.1	9.1	0.0	0.0	3.1	0.0	27.3
留守家庭児童育成室で過ごす	5.3	5.7	4.6	0.0	4.5	18.2	0.0	25.0	6.3	0.0	0.0
児童センターや図書館で過ごす	5.3	3.4	7.7	5.3	3.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0
部活やサークル活動に参加する	4.6	5.7	3.1	10.5	3.0	9.1	0.0	0.0	9.4	0.0	0.0
その他	3.9	3.4	4.6	0.0	3.0	9.1	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

問15 あなたが、その希望する暮らし方を実現するために、必要なことは何ですか。
(あてはまるもの3つまでに○)



- ・「制度やサービスの情報提供」が46.1%と最も多く、次いで「身近な相談体制」が39.5%、「通所施設の充実」が32.9%、「コミュニケーションについての支援」が29.6%、「年金や手当などの充実」が27.6%、「就労支援の充実」が25.7%の順となっています。
- ・成長段階別にみると、未就学児で「通所施設の充実」、中高生で「グループホームの充実」と答える人が多くみられます。

単位：%	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
制度やサービスの情報提供	46.1	53.7	44.9	40.5	43.7	49.2	36.4
身近な相談体制	39.5	41.5	36.2	42.9	33.3	47.7	27.3
通所施設の充実	32.9	53.7	30.4	16.7	32.2	33.8	9.1
コミュニケーションについての支援	29.6	19.5	37.7	26.2	28.7	30.8	27.3
年金や手当などの充実	27.6	24.4	24.6	35.7	35.6	16.9	27.3
就労支援の充実	25.7	19.5	24.6	33.3	28.7	21.5	18.2
グループホームの充実	16.4	4.9	15.9	28.6	25.3	4.6	18.2
障がい者の人権を守る施策	15.1	12.2	17.4	14.3	21.8	6.2	9.1
訪問系サービスの充実	7.9	2.4	5.8	16.7	10.3	4.6	0
医療体制の充実	7.9	9.8	7.2	7.1	9.2	6.2	27.3
その他	6.6	9.8	4.3	7.1	6.9	6.2	36.4
無回答	2.0	4.9	1.4	0.0	0.0	4.6	0.0

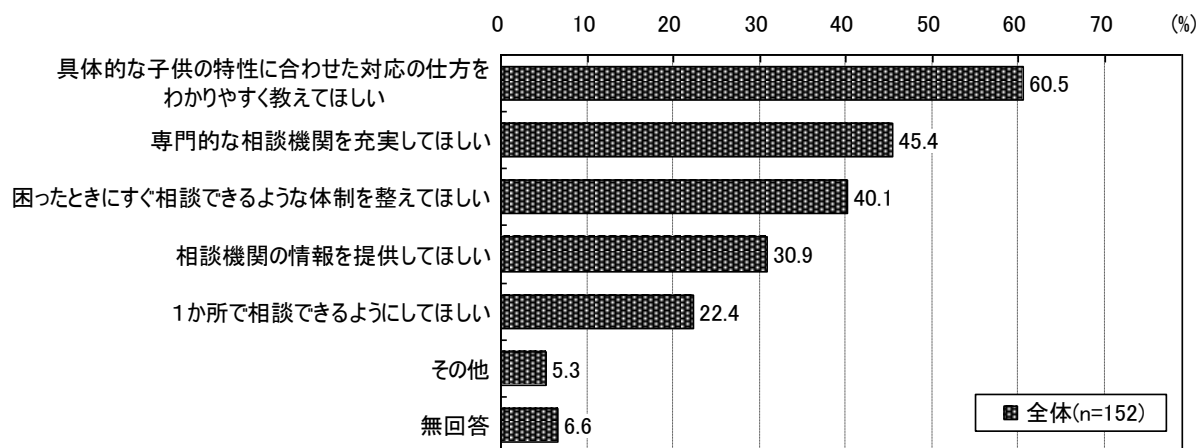
※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
制度やサービスの情報提供	46.1	31.6	42.4	63.6	100.0	75.0	43.8	25.0
身近な相談体制	39.5	21.1	34.8	54.5	100.0	75.0	40.6	50.0
通所施設の充実	32.9	31.6	33.3	27.3	0.0	50.0	28.1	25.0
コミュニケーションについての支援	29.6	10.5	24.2	63.6	0.0	0.0	37.5	25.0
年金や手当などの充実	27.6	21.1	33.3	45.5	0.0	0.0	46.9	50.0
就労支援の充実	25.7	31.6	33.3	9.1	0.0	25.0	21.9	0.0
グループホームの充実	16.4	21.1	31.8	9.1	0.0	75.0	31.3	25.0
障がい者の人権を守る施策	15.1	15.8	21.2	18.2	0.0	0.0	21.9	25.0
訪問系サービスの充実	7.9	10.5	13.6	0.0	0.0	0.0	6.3	25.0
医療体制の充実	7.9	31.6	4.5	0.0	0.0	0.0	3.1	25.0
その他	6.6	15.8	6.1	0.0	0.0	0.0	3.1	25.0
無回答	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

4 療育・発達支援について

問16 療育に関する相談について望むことがありますか。(あてはまるもの3つまでに○)



- ・「具体的な子供の特性に合わせた対応の仕方をわかりやすく教えてほしい」が60.5%、「専門的な相談機関を充実してほしい」が45.4%、「困ったときにすぐ相談できるような体制を整えてほしい」が40.1%、「相談機関の情報を提供してほしい」が30.9%、「1か所で相談できるようにしてほしい」が22.4%となっています。
- ・「相談機関の情報を提供してほしい」は未就学児で53.7%と多くみられます。

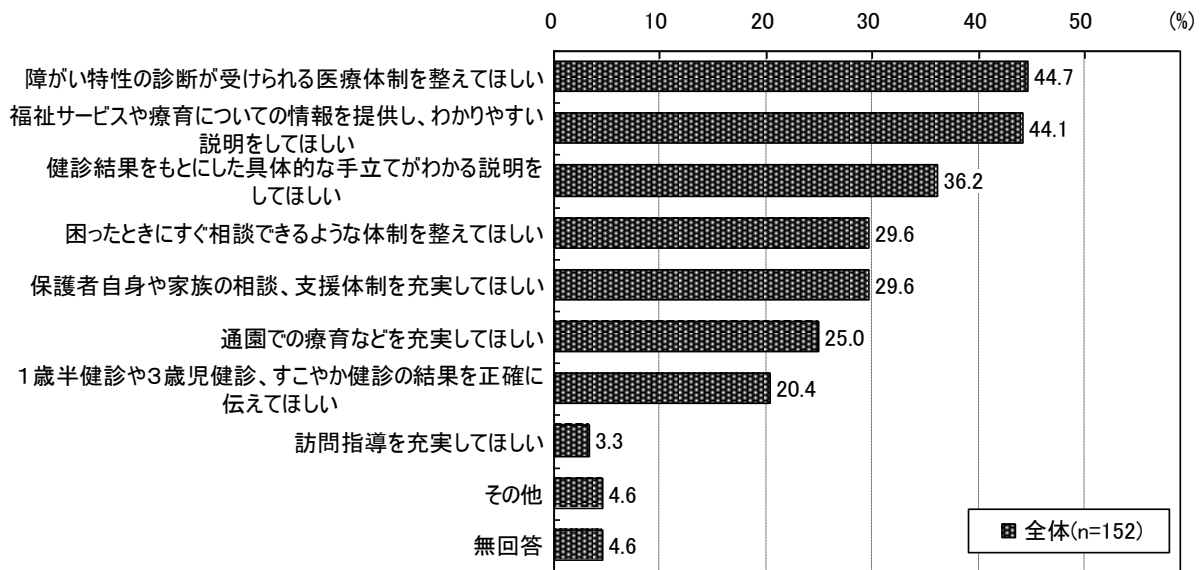
単位：%	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
具体的な子供の特性に合わせた対応の仕方をわかりやすく教えてほしい	60.5	61.0	59.4	61.9	59.8	61.5	72.7
専門的な相談機関を充実してほしい	45.4	43.9	49.3	40.5	46.0	44.6	36.4
困ったときにすぐ相談できるような体制を整えてほしい	40.1	46.3	37.7	38.1	44.8	33.8	36.4
相談機関の情報を提供してほしい	30.9	53.7	20.3	26.2	27.6	35.4	27.3
1か所で相談できるようにしてほしい	22.4	26.8	21.7	19.0	28.7	13.8	9.1
その他	5.3	4.9	5.8	4.8	3.4	7.7	9.1
無回答	6.6	4.9	7.2	7.1	6.9	6.2	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
具体的な子供の特性に合わせた対応の仕方をわかりやすく教えてほしい	60.5	36.8	68.2	45.5	0.0	1.0	25.0	53.1
専門的な相談機関を充実してほしい	45.4	31.6	48.5	54.5	0.0	2.0	50.0	50.0
困ったときにすぐ相談できるような体制を整えてほしい	40.1	31.6	48.5	36.4	100.0	1.0	25.0	46.9
相談機関の情報を提供してほしい	30.9	21.1	24.2	45.5	100.0	0.0	0.0	34.4
1か所で相談できるようにしてほしい	22.4	15.8	28.8	36.4	100.0	1.0	25.0	21.9
その他	5.3	5.3	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	6.6	15.8	4.5	9.1	0.0	1.0	25.0	9.4

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

問17 乳幼児期の健診や療育に関してどのようなことを望みますか。(あてはまるもの3つまでに○)



- ・「障がい特性の診断が受けられる医療体制を整えてほしい」が44.7%、「福祉サービスや療育についての情報を提供し、わかりやすい説明をしてほしい」が44.1%、「健診結果をもとにした具体的な手立てがわかる説明をしてほしい」が36.2%、「困ったときにすぐ相談できるような体制を整えてほしい」と「保護者自身や家族の相談、支援体制を充実してほしい」がそれぞれ29.6%となっています。
- ・「健診結果をもとにした具体的な手立てがわかる説明をしてほしい」は未就学児や障がい者手帳を持っていない人で、「保護者自身や家族の相談、支援体制を充実してほしい」は中高生で、「通園での療育などを充実してほしい」と「1歳半健診や3歳児健診、すこやか健診の結果を正確に伝えてほしい」は未就学児でそれぞれ多くみられます。

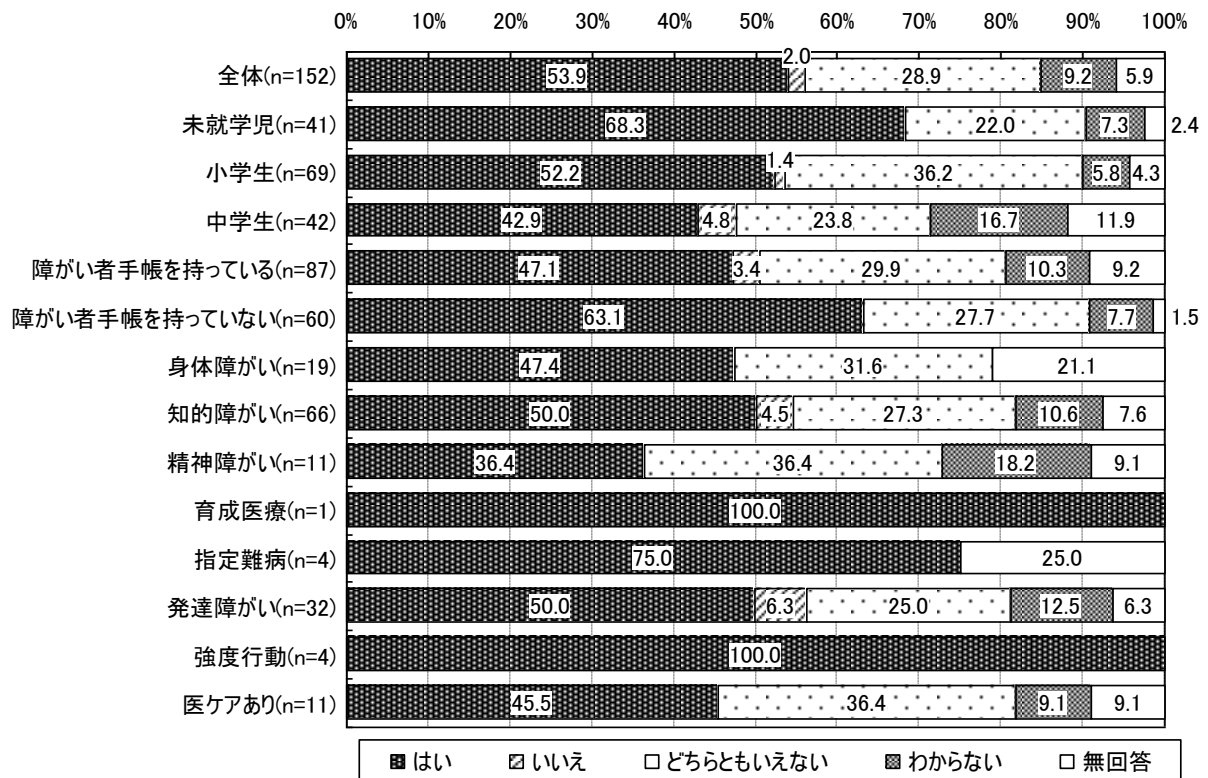
単位：%	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
障がい特性の診断が受けられる医療体制を整えてほしい	44.7	34.1	50.7	45.2	49.4	38.5	27.3
福祉サービスや療育についての情報を提供し、わかりやすい説明をしてほしい	44.1	41.5	46.4	42.9	43.7	44.6	27.3
健診結果をもとにした具体的な手立てがわかる説明をしてほしい	36.2	51.2	34.8	23.8	24.1	52.3	18.2
困ったときにすぐ相談できるような体制を整えてほしい	29.6	31.7	26.1	33.3	28.7	30.8	18.2
保護者自身や家族の相談、支援体制を充実してほしい	29.6	17.1	29.0	42.9	32.2	26.2	18.2
通園での療育などを充実してほしい	25.0	36.6	17.4	26.2	33.3	13.8	18.2
1歳半健診や3歳児健診、すこやか健診の結果を正確に伝えてほしい	20.4	36.6	15.9	11.9	14.9	27.7	18.2
訪問指導を充実してほしい	3.3	2.4	4.3	2.4	4.6	1.5	9.1
その他	4.6	4.9	5.8	2.4	4.6	4.6	9.1
無回答	4.6	2.4	4.3	7.1	5.7	3.1	9.1

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
障がい特性の診断が受けられる医療体制を整えてほしい	44.7	21.1	51.5	72.7	100.0	50.0	50.0	75.0
福祉サービスや療育についての情報を提供し、わかりやすい説明をしてほしい	44.1	21.1	43.9	54.5	100.0	50.0	40.6	0.0
健診結果をもとにした具体的な手立てがわかる説明をしてほしい	36.2	5.3	27.3	18.2	0.0	0.0	25.0	0.0
困ったときにすぐ相談できるような体制を整えてほしい	29.6	21.1	30.3	18.2	100.0	0.0	34.4	75.0
保護者自身や家族の相談、支援体制を充実してほしい	29.6	15.8	33.3	36.4	0.0	0.0	50.0	75.0
通園での療育などを充実してほしい	25.0	47.4	37.9	0.0	0.0	25.0	21.9	0.0
1歳半健診や3歳児健診、すこやか健診の結果を正確に伝えてほしい	20.4	5.3	12.1	36.4	0.0	0.0	18.8	0.0
訪問指導を充実してほしい	3.3	10.5	6.1	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0
その他	4.6	5.3	3.0	9.1	0.0	0.0	6.3	0.0
無回答	4.6	21.1	4.5	0.0	0.0	50.0	3.1	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

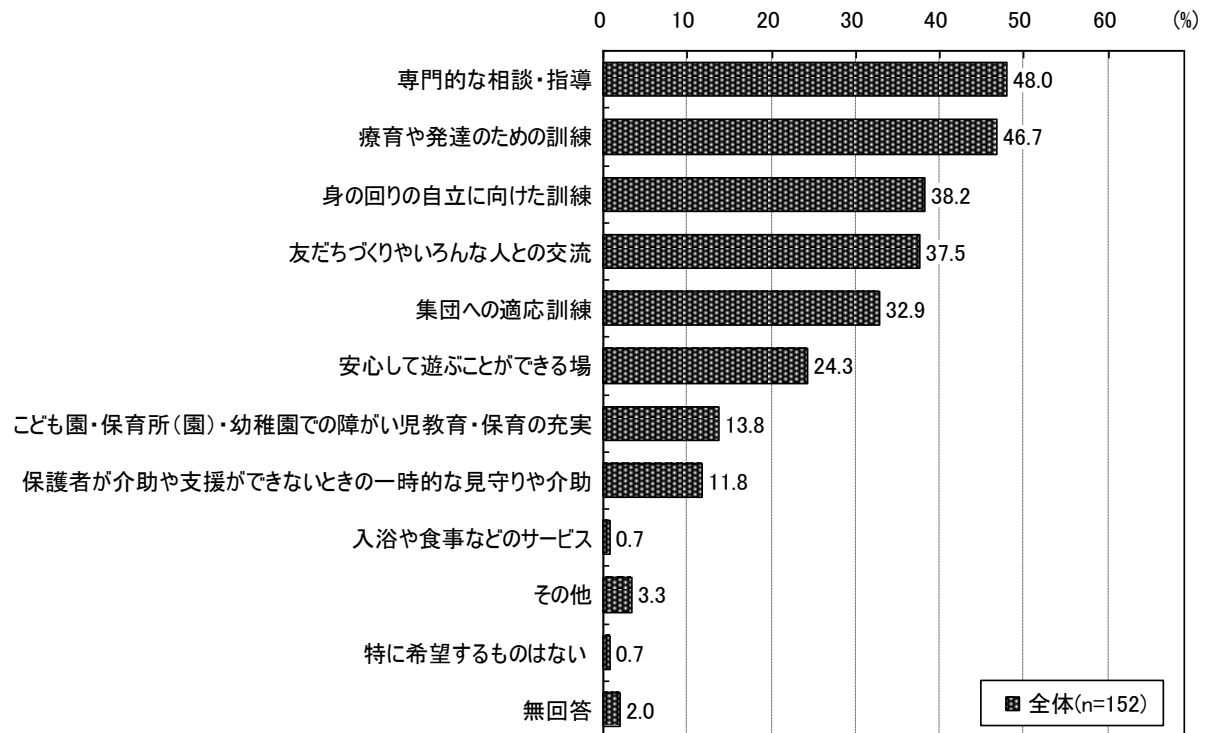
問18 現在、通所で受けている療育の内容に満足していますか。(○は1つ)



※有効回答数が30サンプル未満の属性については参考値です。

- ・療育の内容への満足している人（「はい」）は53.9%で、未就学児や障がい者手帳を持っていない人で多くみられます。

問19 どのような療育やサービスを受けることを希望しますか。(あてはまるもの3つまでに○)



- ・「専門的な相談・指導」が48.0%、「療育や発達のための訓練」が46.7%、「身の回りの自立に向けた訓練」が38.2%、「友だちづくりやいろんな人との交流」が37.5%、「集団への適応訓練」が32.9%などとなっています。
- ・「療育や発達のための訓練」は障がい者手帳を持っていない人で、「身の回りの自立に向けた訓練」は障がい者手帳を持っている人で、「こども園・保育所(園)・幼稚園での障がい児教育・保育の充実」は未就学児で、「保護者が介助や支援ができないときの一時的な見守りや介助」は中高生でそれぞれ多くみられます。

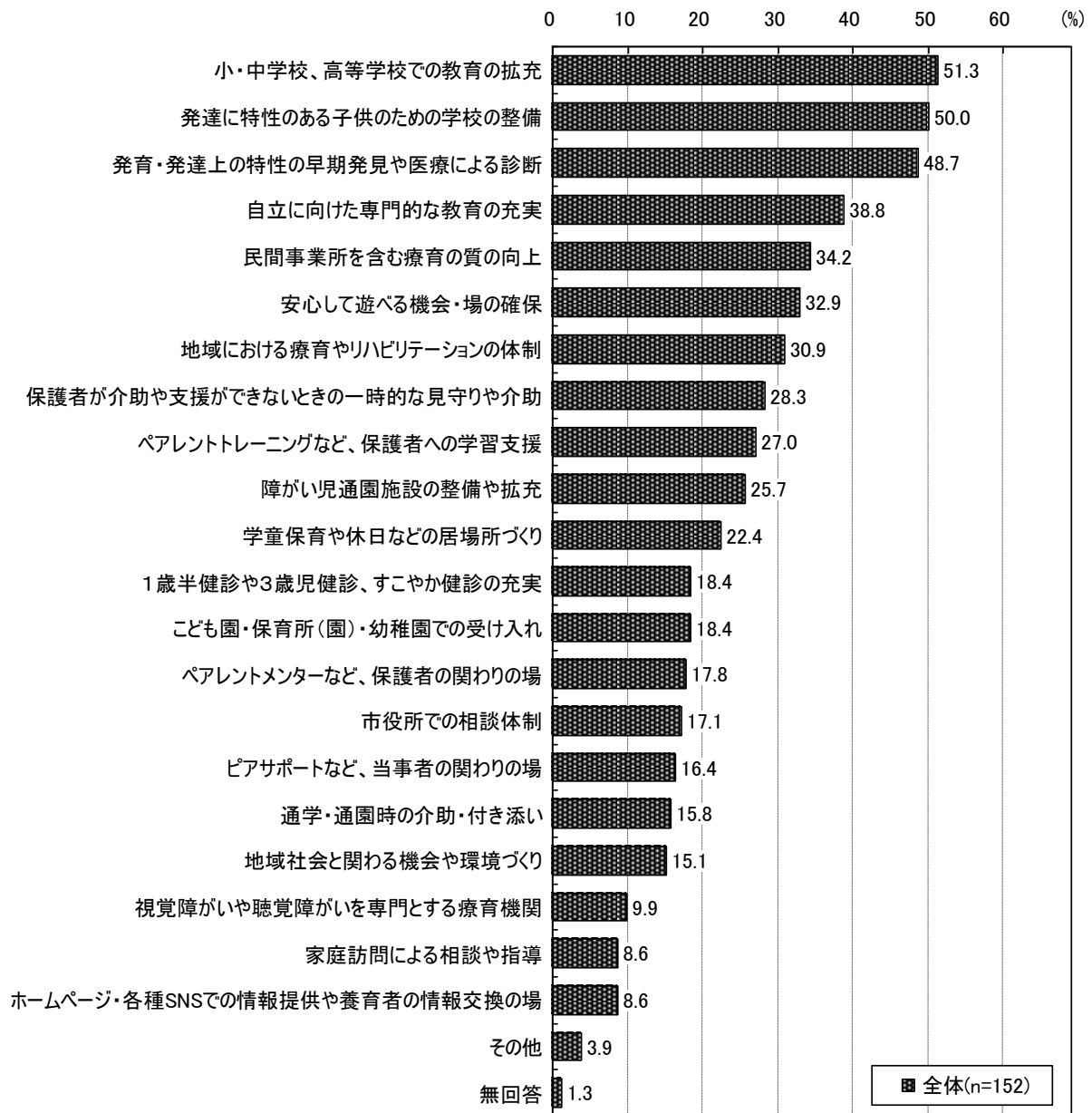
単位：％	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
専門的な相談・指導	48.0	48.8	43.5	54.8	46.0	50.8	27.3
療育や発達のための訓練	46.7	56.1	47.8	35.7	37.9	58.5	18.2
身の回りの自立に向けた訓練	38.2	31.7	40.6	40.5	48.3	24.6	27.3
友だちづくりやいろいろな人との交流	37.5	36.6	34.8	42.9	35.6	40.0	18.2
集団への適応訓練	32.9	34.1	33.3	31.0	28.7	38.5	9.1
安心して遊ぶことができる場	24.3	29.3	26.1	16.7	29.9	16.9	36.4
こども園・保育所（園）・幼稚園での障がい児教育・保育の充実	13.8	34.1	4.3	9.5	16.1	10.8	18.2
保護者が介助や支援ができないときの一時的な見守りや介助	11.8	0.0	11.6	23.8	18.4	3.1	27.3
入浴や食事などのサービス	0.7	0.0	1.4	0.0	1.1	0.0	0.0
その他	3.3	2.4	5.8	0.0	1.1	6.2	18.2
特に希望するものはない	0.7	0.0	1.4	0.0	1.1	0.0	9.1
無回答	2.0	0.0	1.4	4.8	3.4	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
専門的な相談・指導	48.0	42.1	42.4	63.6	100.0	25.0	50.0	0.0
療育や発達のための訓練	46.7	26.3	40.9	36.4	0.0	25.0	40.6	50.0
身の回りの自立に向けた訓練	38.2	36.8	53.0	54.5	100.0	50.0	46.9	50.0
友だちづくりやいろいろな人との交流	37.5	26.3	34.8	45.5	100.0	0.0	34.4	25.0
集団への適応訓練	32.9	15.8	30.3	36.4	0.0	0.0	34.4	50.0
安心して遊ぶことができる場	24.3	21.1	33.3	0.0	0.0	25.0	21.9	25.0
こども園・保育所（園）・幼稚園での障がい児教育・保育の充実	13.8	15.8	16.7	9.1	0.0	25.0	15.6	0.0
保護者が介助や支援ができないときの一時的な見守りや介助	11.8	21.1	18.2	27.3	0.0	25.0	28.1	75.0
入浴や食事などのサービス	0.7	5.3	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	3.3	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特に希望するものはない	0.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.0	15.8	1.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

問20 障がいや発達に特性のある子供のための施策やサービスなどで、特に充実が必要と思うものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- ・「小・中学校、高等学校での教育の拡充」が51.3%、「発達に特性のある子供のための学校の整備」が50.0%、「発育・発達上の特性の早期発見や医療による診断」が48.7%、「自立に向けた専門的な教育の充実」が38.8%、「民間事業所を含む療育の質の向上」が34.2%、「安心して遊べる機会・場の確保」が32.9%、「地域における療育やリハビリテーションの体制」が30.9%などとなっています。
- ・成長段階別にみると、中高生では「発達に特性のある子供のための学校の整備」、「小・中学校、高等学校での教育の拡充」、「自立に向けた専門的な教育の充実」、未就学児では「こども園・保育所（園）・幼稚園での受け入れ」、「1歳半健診や3歳児健診、すこやか健診の充実」でそれぞれ多くみられます。

単位：％	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
小・中学校、高等学校での教育の拡充	51.3	43.9	47.8	64.3	54.0	47.7	36.4
発達に特性のある子供のための学校の整備	50.0	36.6	44.9	71.4	59.8	36.9	27.3
発達・発達上の特性の早期発見や医療による診断	48.7	51.2	49.3	45.2	41.4	58.5	36.4
自立に向けた専門的な教育の充実	38.8	19.5	42.0	52.4	47.1	27.7	36.4
民間事業所を含む療育の質の向上	34.2	29.3	37.7	33.3	37.9	29.2	27.3
安心して遊べる機会・場の確保	32.9	34.1	33.3	31.0	34.5	30.8	27.3
地域における療育やリハビリテーションの体制	30.9	26.8	37.7	23.8	35.6	24.6	9.1
保護者が介助や支援ができないときの一時的な見守りや介助	28.3	24.4	26.1	35.7	37.9	15.4	18.2
ペアレントトレーニングなど、保護者への学習支援	27.0	19.5	27.5	33.3	25.3	29.2	9.1
障がい児通園施設の整備や拡充	25.7	22.0	27.5	26.2	34.5	13.8	18.2
学童保育や休日などの居場所づくり	22.4	19.5	26.1	19.0	26.4	16.9	27.3
1歳半健診や3歳児健診、すこやか健診の充実	18.4	34.1	14.5	9.5	14.9	23.1	9.1
こども園・保育所（園）・幼稚園での受け入れ	18.4	39.0	13.0	7.1	19.5	16.9	27.3
ペアレントメンターなど、保護者の関わり場	17.8	7.3	21.7	21.4	18.4	16.9	18.2
市役所での相談体制	17.1	24.4	11.6	19.0	17.2	16.9	18.2
ピアサポートなど、当事者の関わり場	16.4	14.6	17.4	16.7	12.6	21.5	18.2
通学・通園時の介助・付き添い	15.8	17.1	15.9	14.3	21.8	7.7	18.2
地域社会と関わる機会や環境づくり	15.1	12.2	11.6	23.8	20.7	7.7	0.0
視覚障がいや聴覚障がいを専門とする療育機関	9.9	4.9	10.1	14.3	13.8	4.6	18.2
家庭訪問による相談や指導	8.6	9.8	5.8	11.9	6.9	10.8	9.1
ホームページ・各種SNSでの情報提供や養育者の情報交換の場	8.6	14.6	5.8	7.1	6.9	10.8	9.1
その他	3.9	0.0	4.3	7.1	4.6	3.1	0.0
無回答	1.3	0.0	1.4	2.4	2.3	0.0	0.0

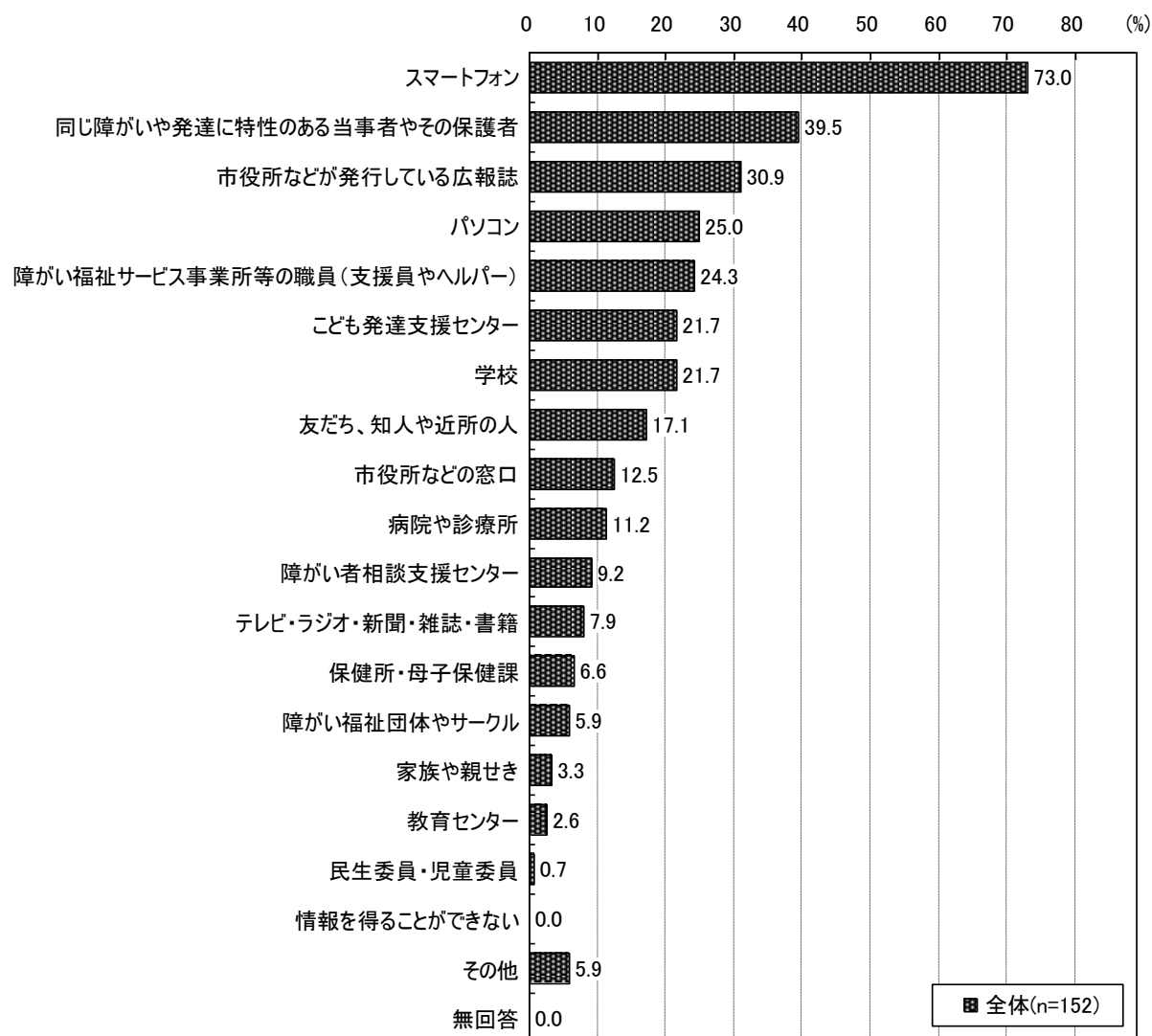
※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
小・中学校、高等学校での教育の拡充	51.3	47.4	50.0	63.6	100.0	25.0	59.4	0.0
発達に特性のある子供のための学校の整備	50.0	26.3	59.1	90.9	100.0	25.0	90.6	75.0
発育・発達上の特性の早期発見や医療による診断	48.7	42.1	40.9	45.5	0.0	25.0	43.8	50.0
自立に向けた専門的な教育の充実	38.8	5.3	51.5	63.6	100.0	25.0	65.6	25.0
民間事業所を含む療育の質の向上	34.2	26.3	37.9	36.4	0.0	25.0	46.9	25.0
安心して遊べる機会・場の確保	32.9	10.5	37.9	36.4	100.0	25.0	40.6	75.0
地域における療育やリハビリテーションの体制	30.9	26.3	37.9	36.4	0.0	25.0	40.6	25.0
保護者が介助や支援ができないときの一時的な見守りや介助	28.3	31.6	39.4	45.5	0.0	25.0	50.0	100.0
ペアレントトレーニングなど、保護者への学習支援	27.0	5.3	27.3	27.3	0.0	0.0	46.9	50.0
障がい児通園施設の整備や拡充	25.7	31.6	36.4	27.3	0.0	25.0	31.3	25.0
学童保育や休日などの居場所づくり	22.4	21.1	24.2	36.4	100.0	25.0	34.4	25.0
1歳半健診や3歳児健診、すこやか健診の充実	18.4	5.3	12.1	36.4	0.0	0.0	21.9	0.0
こども園・保育所（園）・幼稚園での受け入れ	18.4	31.6	15.2	18.2	100.0	25.0	15.6	0.0
ペアレントメンターなど、保護者の関わり場	17.8	5.3	21.2	18.2	0.0	0.0	21.9	25.0
市役所での相談体制	17.1	10.5	15.2	27.3	0.0	0.0	21.9	0.0
ピアサポートなど、当事者の関わり場	16.4	5.3	13.6	9.1	0.0	0.0	15.6	25.0
通学・通園時の介助・付き添い	15.8	47.4	21.2	9.1	0.0	50.0	15.6	25.0
地域社会と関わる機会や環境づくり	15.1	10.5	21.2	18.2	100.0	25.0	15.6	25.0
視覚障がいや聴覚障がいを専門とする療育機関	9.9	47.4	7.6	9.1	0.0	0.0	6.3	0.0
家庭訪問による相談や指導	8.6	5.3	9.1	0.0	0.0	0.0	9.4	0.0
ホームページ・各種SNSでの情報提供や養育者の情報交換の場	8.6	5.3	6.1	9.1	0.0	0.0	9.4	0.0
その他	3.9	5.3	6.1	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0
無回答	1.3	10.5	1.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

5 情報や相談について

問21 あなたは、保健や福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）



・「スマートフォン」が73.0%と最も多く、次いで「同じ障がいや発達に特性のある当事者やその保護者」が39.5%、「市役所などが発行している広報誌」が30.9%、「パソコン」が25.0%、「障がい福祉サービス事業所等の職員（支援員やヘルパー）」が24.3%、「こども発達支援センター」が21.7%の順となっています。

- ・「スマートフォン」は未就学児や障がい者手帳を持っていない人で、「同じ障がいや発達に特性のある当事者やその保護者」は障がい者手帳を持っている人で、「パソコン」は中高生でそれぞれ多くみられます。

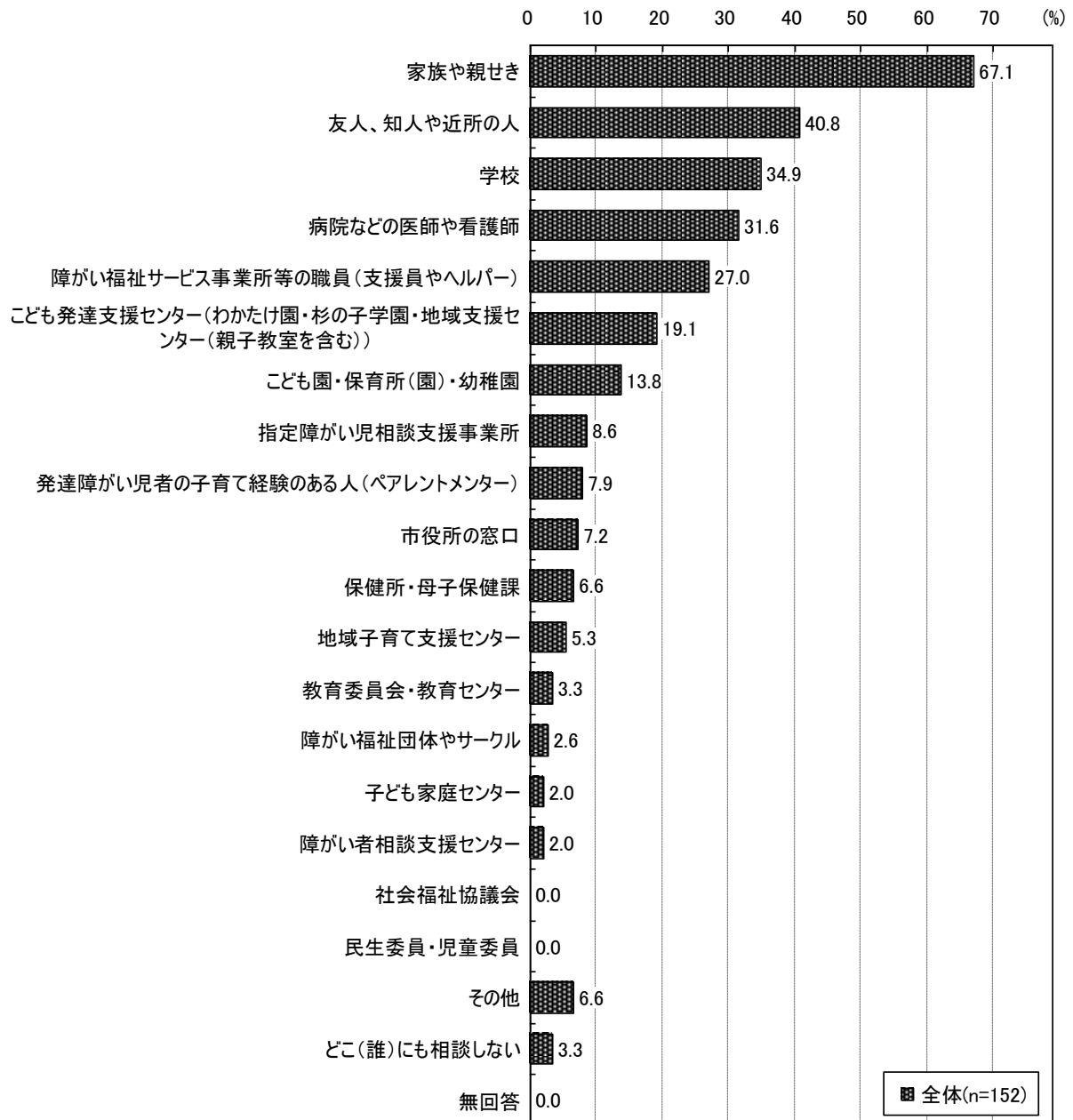
単位：％	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
スマートフォン	73.0	92.7	71.0	57.1	62.1	87.7	54.5
同じ障がいや発達に特性のある当事者やその保護者	39.5	31.7	43.5	40.5	50.6	24.6	18.2
市役所などが発行している広報誌	30.9	26.8	33.3	31.0	28.7	33.8	18.2
パソコン	25.0	22.0	20.3	35.7	25.3	24.6	27.3
障がい福祉サービス事業所等の職員（支援員やヘルパー）	24.3	14.6	29.0	26.2	26.4	21.5	36.4
こども発達支援センター	21.7	29.3	24.6	9.5	18.4	26.2	18.2
学校	21.7	4.9	26.1	31.0	28.7	12.3	9.1
友だち、知人や近所の人	17.1	19.5	17.4	14.3	14.9	20.0	9.1
市役所などの窓口	12.5	12.2	10.1	16.7	16.1	7.7	18.2
病院や診療所	11.2	7.3	13.0	11.9	12.6	9.2	18.2
障がい者相談支援センター	9.2	4.9	14.5	4.8	11.5	6.2	0.0
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・書籍	7.9	7.3	8.7	7.1	4.6	12.3	0.0
保健所・母子保健課	6.6	14.6	2.9	4.8	6.9	6.2	9.1
障がい福祉団体やサークル	5.9	7.3	4.3	7.1	8.0	3.1	9.1
家族や親せき	3.3	4.9	1.4	4.8	1.1	6.2	0.0
教育センター	2.6	0.0	1.4	7.1	2.3	3.1	0.0
民生委員・児童委員	0.7	2.4	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0
情報を得ることができない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.9	4.9	4.3	9.5	3.4	9.2	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
スマートフォン	73.0	52.6	62.1	63.6	0.0	50.0	53.1	25.0
同じ障がいや発達に特性のある当事者やその保護者	39.5	63.2	53.0	36.4	0.0	75.0	40.6	75.0
市役所などが発行している広報誌	30.9	21.1	27.3	27.3	100.0	0.0	31.3	25.0
パソコン	25.0	5.3	27.3	27.3	0.0	0.0	34.4	50.0
障がい福祉サービス事業所等の職員（支援員やヘルパー）	24.3	26.3	27.3	36.4	0.0	50.0	34.4	50.0
こども発達支援センター	21.7	26.3	19.7	18.2	0.0	0.0	21.9	0.0
学校	21.7	21.1	34.8	9.1	0.0	25.0	28.1	50.0
友だち、知人や近所の人	17.1	10.5	18.2	9.1	0.0	0.0	15.6	0.0
市役所などの窓口	12.5	15.8	13.6	27.3	100.0	0.0	18.8	25.0
病院や診療所	11.2	21.1	6.1	36.4	0.0	25.0	18.8	0.0
障がい者相談支援センター	9.2	10.5	9.1	27.3	0.0	0.0	21.9	0.0
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・書籍	7.9	0.0	4.5	9.1	0.0	0.0	9.4	25.0
保健所・母子保健課	6.6	15.8	7.6	0.0	0.0	0.0	3.1	25.0
障がい福祉団体やサークル	5.9	15.8	6.1	0.0	0.0	0.0	6.3	25.0
家族や親せき	3.3	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教育センター	2.6	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
民生委員・児童委員	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
情報を得ることができない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.9	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	6.3	25.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

問22 あなたは、困ったときや相談したいとき、どこ（誰）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）



- ・「家族や親せき」が67.1%と最も多く、次いで「友人、知人や近所の人」が40.8%、「学校」が34.9%、「病院などの医師や看護師」が31.6%、「障がい福祉サービス事業所等の職員（支援員やヘルパー）」が27.0%の順となっています。
- ・「家族や親せき」「こども園・保育所（園）・幼稚園」「こども発達支援センター（わかたけ園・杉の子学園・地域支援センター（親子教室を含む））」は未就学児で、「学校」は小学生、中高生で、「病院などの医師や看護師」は中高生でそれぞれ多くみられます。

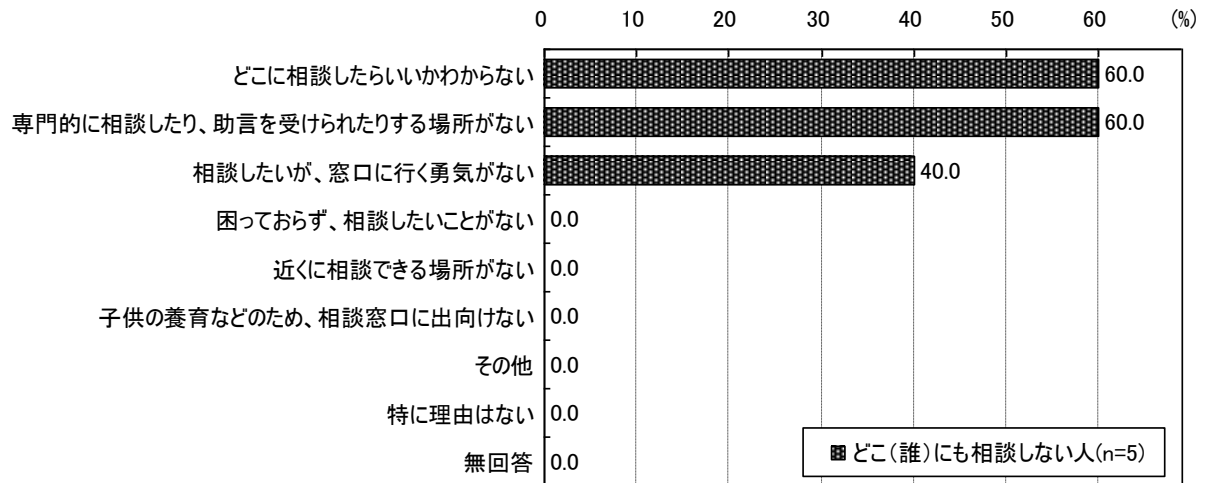
単位：％	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
家族や親せき	67.1	78.0	71.0	50.0	59.8	76.9	63.6
友人、知人や近所の人	40.8	41.5	40.6	40.5	42.5	38.5	36.4
学校	34.9	0.0	49.3	45.2	36.8	32.3	45.5
病院などの医師や看護師	31.6	17.1	30.4	47.6	37.9	23.1	45.5
障がい福祉サービス事業所 等の職員（支援員やヘルパー）	27.0	7.3	36.2	31.0	27.6	26.2	27.3
こども発達支援センター （わかたけ園・杉の子学 園・地域支援センター（親 子教室を含む））	19.1	29.3	17.4	11.9	19.5	18.5	18.2
こども園・保育所（園）・ 幼稚園	13.8	48.8	1.4	0.0	9.2	20.0	18.2
指定障がい児相談支援事業 所	8.6	17.1	5.8	4.8	4.6	13.8	9.1
発達障がい児者の子育て経 験のある人（ペアレントメ ンター）	7.9	4.9	8.7	9.5	10.3	4.6	0.0
市役所の窓口	7.2	7.3	4.3	11.9	5.7	9.2	18.2
保健所・母子保健課	6.6	14.6	4.3	2.4	2.3	12.3	18.2
地域子育て支援センター	5.3	2.4	5.8	7.1	3.4	7.7	9.1
教育委員会・教育センター	3.3	0.0	2.9	7.1	2.3	4.6	0.0
障がい福祉団体やサークル	2.6	4.9	1.4	2.4	3.4	1.5	18.2
子供家庭センター	2.0	0.0	1.4	4.8	2.3	1.5	9.1
障がい者相談支援センター	2.0	0.0	2.9	2.4	2.3	1.5	0.0
社会福祉協議会	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民生委員・児童委員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6.6	4.9	7.2	7.1	5.7	7.7	0.0
どこ（誰）にも相談しない	3.3	2.4	2.9	4.8	5.7	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
家族や親せき	67.1	68.4	59.1	36.4	0.0	25.0	50.0	75.0
友人、知人や近所の人	40.8	42.1	43.9	27.3	0.0	25.0	40.6	25.0
学校	34.9	31.6	36.4	45.5	0.0	25.0	40.6	25.0
病院などの医師や看護師	31.6	63.2	31.8	54.5	100.0	50.0	46.9	50.0
障がい福祉サービス事業所 等の職員（支援員やヘルパー）	27.0	15.8	30.3	36.4	0.0	50.0	37.5	75.0
こども発達支援センター （わかたけ園・杉の子学 園・地域支援センター（親 子教室を含む））	19.1	26.3	22.7	9.1	0.0	0.0	18.8	25.0
こども園・保育所（園）・ 幼稚園	13.8	21.1	6.1	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
指定障がい児相談支援事業 所	8.6	5.3	4.5	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
発達障がい児者の子育て経 験のある人（ペアレントメ ンター）	7.9	5.3	12.1	9.1	0.0	25.0	18.8	25.0
市役所の窓口	7.2	5.3	4.5	9.1	0.0	0.0	6.3	0.0
保健所・母子保健課	6.6	10.5	1.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
地域子育て支援センター	5.3	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
教育委員会・教育センター	3.3	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
障がい福祉団体やサークル	2.6	10.5	6.1	0.0	0.0	25.0	3.1	0.0
子供家庭センター	2.0	10.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障がい者相談支援センター	2.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
社会福祉協議会	0.0	0.0	1.5	9.1	0.0	0.0	3.1	0.0
民生委員・児童委員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どこ（誰）にも相談しない	3.3	0.0	7.6	0.0	0.0	0.0	6.3	25.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

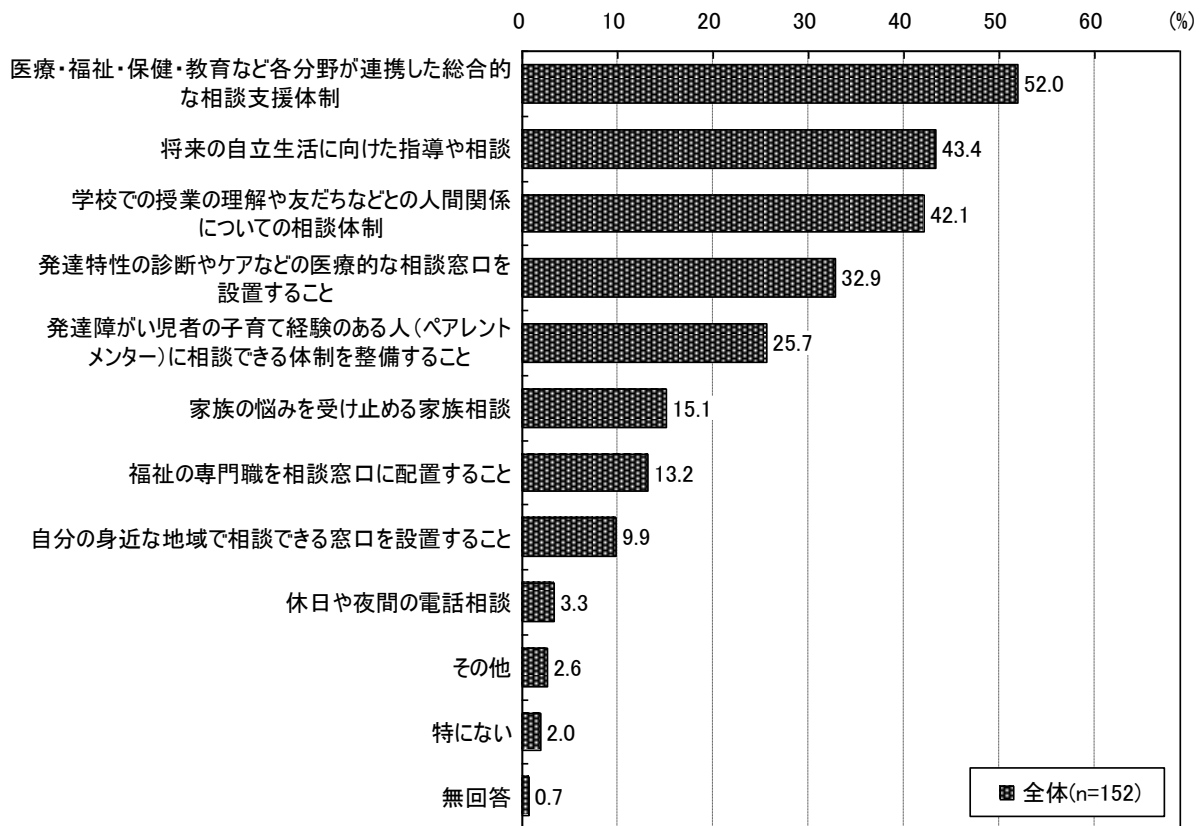
※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

問23 （問22で「19 どこ（誰）にも相談しない」と回答した人）相談したことがない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



・「どこに相談したらいいかわからない」と「専門的に相談したり、助言を受けられたりする場所がない」がそれぞれ60.0%、「相談したいが、窓口に行く勇気がない」が40.0%となっています。

問24 あなたが、相談支援体制について、希望することは何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）



- ・「医療・福祉・保健・教育など各分野が連携した総合的な相談支援体制」が52.0%と最も多く、次いで「将来の自立生活に向けた指導や相談」が43.4%、「学校での授業の理解や友だちなどとの人間関係についての相談体制」が42.1%、「発達特性の診断やケアなどの医療的な相談窓口を設置すること」が32.9%、「発達障がい児者の子育て経験のある人（ペアレントメンター）に相談できる体制を整備すること」が25.7%の順となっています。
- ・「医療・福祉・保健・教育など各分野が連携した総合的な相談支援体制」は障がい者手帳を持っている人で、「将来の自立生活に向けた指導や相談」や「発達障がい児者の子育て経験のある人（ペアレントメンター）に相談できる体制を整備すること」は中高生で、「学校での授業の理解や友だちなどとの人間関係についての相談体制」は障がい者手帳を持っていない人で、「発達特性の診断やケアなどの医療的な相談窓口を設置すること」は未就学児でそれぞれ多くみられます。

単位：％	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
医療・福祉・保健・教育など各分野 が連携した総合的な相談支援体制	52.0	61.0	44.9	54.8	62.1	38.5	45.5
将来の自立生活に向けた指 導や相談	43.4	31.7	42.0	57.1	52.9	30.8	36.4
学校での授業の理解や友だちなど との人間関係についての相談体制	42.1	51.2	42.0	33.3	31.0	56.9	36.4
発達特性の診断やケアなどの医療 的な相談窓口を設置すること	32.9	46.3	27.5	28.6	26.4	41.5	27.3
発達障がい児者の子育て経験のある 人（ペアレントメンター）に相談で きる体制を整備すること	25.7	12.2	27.5	35.7	25.3	26.2	18.2
家族の悩みを受け止める家 族相談	15.1	12.2	13.0	21.4	16.1	13.8	9.1
福祉の専門職を相談窓口 に配置すること	13.2	12.2	15.9	9.5	16.1	9.2	18.2
自分の身近な地域で相談で きる窓口を設置すること	9.9	19.5	5.8	7.1	8.0	12.3	0.0
休日や夜間の電話相談	3.3	0.0	4.3	4.8	4.6	1.5	9.1
その他	2.6	0.0	5.8	0.0	2.3	3.1	0.0
特になし	2.0	0.0	1.4	4.8	3.4	0.0	9.1
無回答	0.7	2.4	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

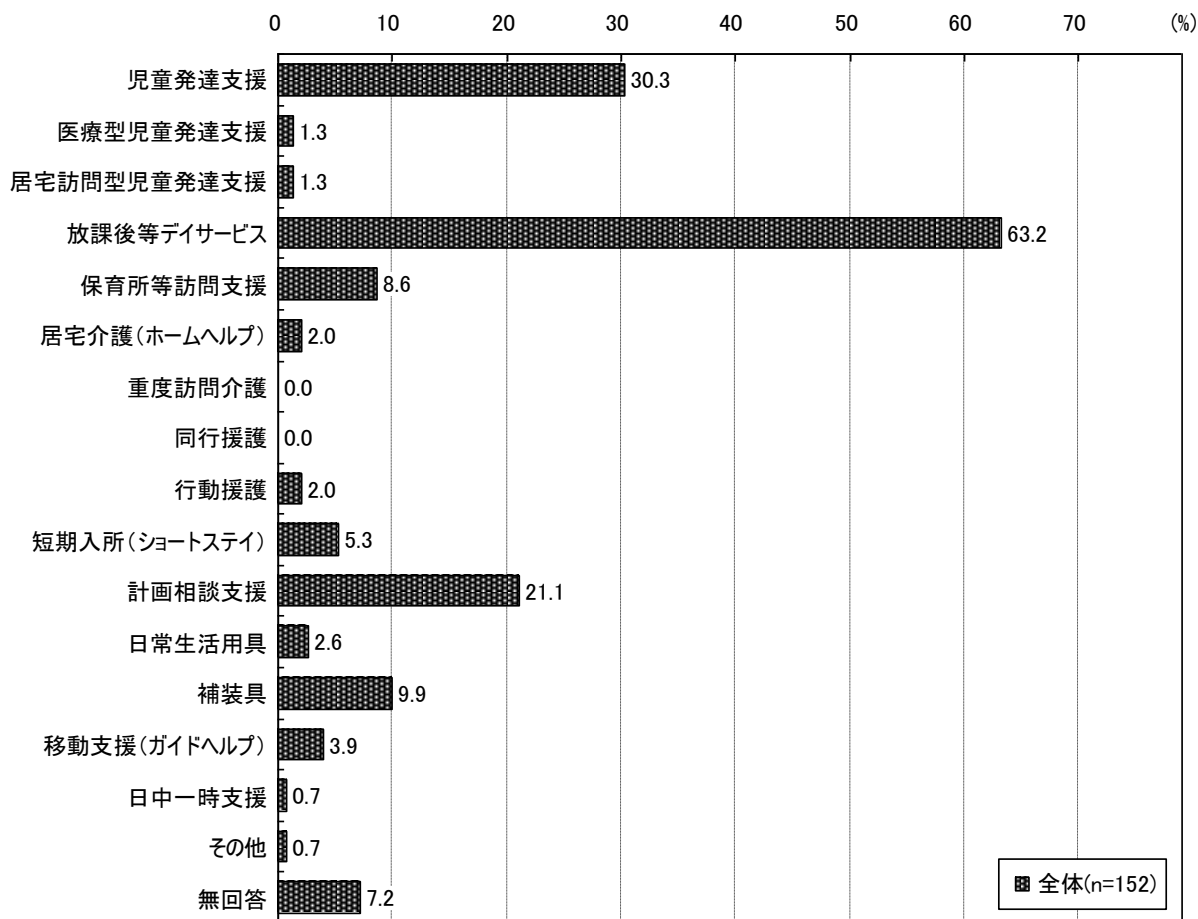
単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
医療・福祉・保健・教育など各分野 が連携した総合的な相談支援体制	52.0	52.6	65.2	54.5	100.0	100.0	56.3	52.6
将来の自立生活に向けた指 導や相談	43.4	36.8	60.6	45.5	0.0	25.0	56.3	36.8
学校での授業の理解や友だちなど との人間関係についての相談体制	42.1	31.6	27.3	36.4	100.0	25.0	34.4	31.6
発達特性の診断やケアなどの医療 的な相談窓口を設置すること	32.9	15.8	27.3	36.4	100.0	25.0	37.5	15.8
発達障がい児者の子育て経験のある 人（ペアレントメンター）に相談で きる体制を整備すること	25.7	10.5	28.8	18.2	0.0	0.0	28.1	10.5
家族の悩みを受け止める家 族相談	15.1	10.5	16.7	18.2	0.0	25.0	25.0	10.5
福祉の専門職を相談窓口 に配置すること	13.2	26.3	12.1	27.3	0.0	0.0	15.6	26.3
自分の身近な地域で相談で きる窓口を設置すること	9.9	5.3	7.6	9.1	0.0	0.0	6.3	5.3
休日や夜間の電話相談	3.3	5.3	4.5	9.1	0.0	0.0	6.3	5.3
その他	2.6	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	2.0	10.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5
無回答	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

6 障がい福祉のサービスについて

問25 障がい福祉サービス等について、①から③にお答えください。

①現在の利用の有無（障がい福祉サービスから利用しているサービスに○）



- ・ 現在利用しているサービスは多い順に、「放課後等デイサービス」が63.2%、「児童発達支援」が30.3%、「計画相談支援」が21.1%となっています。
- ・ 「児童発達支援」は未就学児の78.0%、障がい者手帳を持っていない人の41.5%が利用しています。また、「放課後等デイサービス」は小学生の84.1%、中高生の81.0%が利用しています。

単位：％	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
児童発達支援	30.3	78.0	15.9	7.1	21.8	41.5	36.4
医療型児童発達支援	1.3	2.4	0.0	2.4	2.3	0.0	0.0
居宅訪問型児童発達支援	1.3	0.0	1.4	2.4	2.3	0.0	0.0
放課後等デイサービス	63.2	9.8	84.1	81.0	66.7	58.5	45.5
保育所等訪問支援	8.6	14.6	7.2	4.8	9.2	7.7	0.0
居宅介護（ホームヘルプ）	2.0	0.0	2.9	2.4	3.4	0.0	9.1
重度訪問介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同行援護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
行動援護	2.0	0.0	1.4	4.8	3.4	0.0	0.0
短期入所（ショートステイ）	5.3	2.4	4.3	9.5	9.2	0.0	9.1
計画相談支援	21.1	14.6	24.6	21.4	27.6	12.3	18.2
日常生活用具	2.6	2.4	4.3	0.0	4.6	0.0	18.2
補装具	9.9	9.8	8.7	11.9	16.1	1.5	18.2
移動支援（ガイドヘルプ）	3.9	0.0	2.9	9.5	6.9	0.0	0.0
日中一時支援	0.7	0.0	1.4	0.0	1.1	0.0	0.0
その他	0.7	0.0	1.4	0.0	1.1	0.0	0.0
無回答	7.2	4.9	5.8	11.9	9.2	4.6	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
児童発達支援	30.3	10.5	24.2	9.1	0.0	0.0	25.0	50.0
医療型児童発達支援	1.3	10.5	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型児童発達支援	1.3	5.3	1.5	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0
放課後等デイサービス	63.2	57.9	71.2	72.7	100.0	50.0	65.6	75.0
保育所等訪問支援	8.6	15.8	7.6	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
居宅介護（ホームヘルプ）	2.0	10.5	3.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
重度訪問介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同行援護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
行動援護	2.0	0.0	3.0	9.1	0.0	0.0	9.4	25.0
短期入所（ショートステイ）	5.3	15.8	12.1	0.0	0.0	25.0	12.5	50.0
計画相談支援	21.1	31.6	31.8	18.2	0.0	50.0	18.8	25.0
日常生活用具	2.6	21.1	4.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
補装具	9.9	63.2	12.1	0.0	0.0	25.0	3.1	25.0
移動支援（ガイドヘルプ）	3.9	5.3	7.6	9.1	0.0	0.0	6.3	25.0
日中一時支援	0.7	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	3.1	25.0
その他	0.7	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	3.1	0.0
無回答	7.2	10.5	9.1	9.1	0.0	25.0	9.4	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

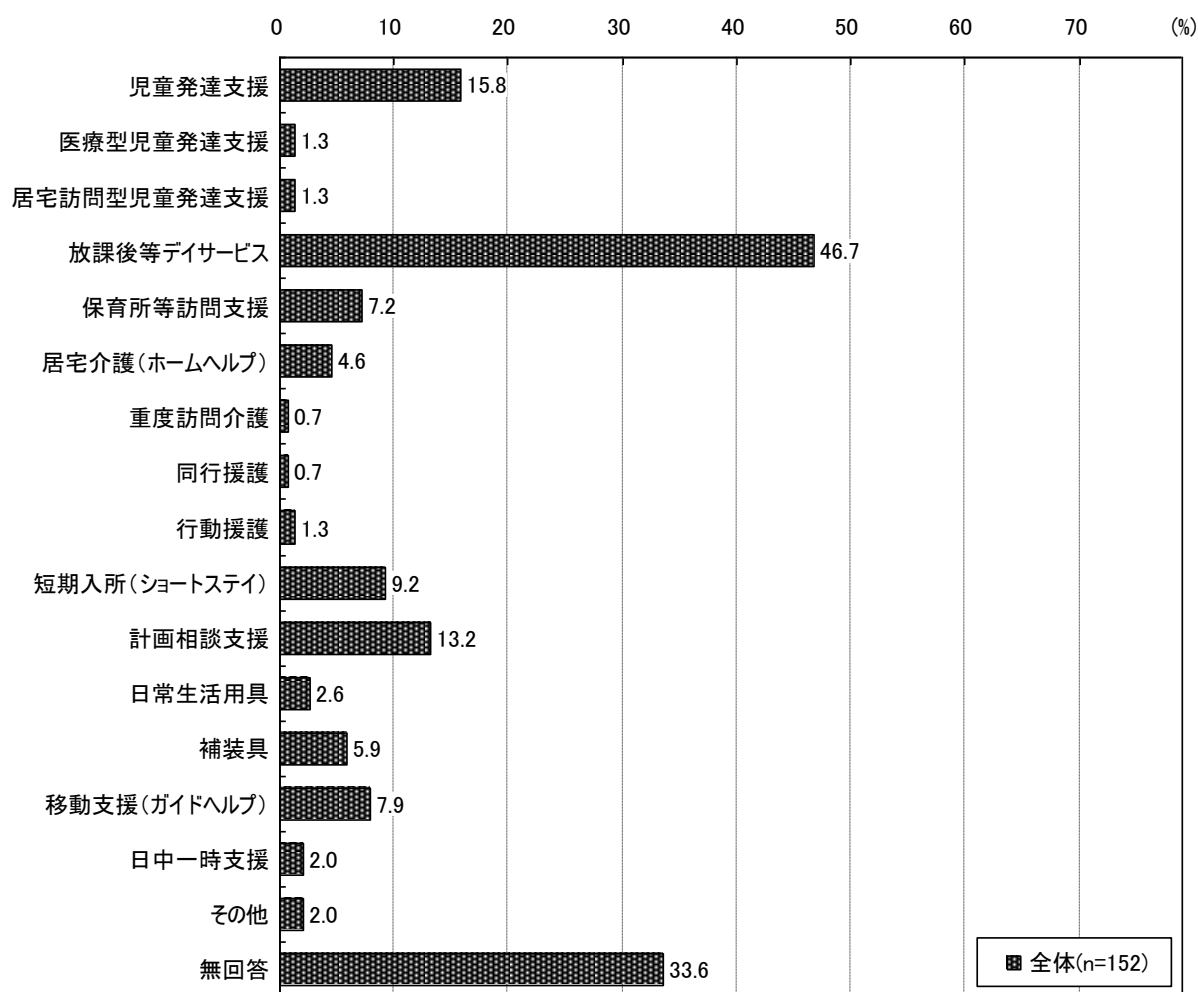
②利用していて気になるところ（あてはまるもの3つまで番号を記入）

単位：％	n	子供の発達状況や障がい特性に対応したサービスがない	利用したい日や時間に利用できない	サービスの量（時間や日数）が足りない	利用するための費用が高い	事業所の設備が配慮されていない	利用したいサービスに空きがない	利用するための手続きが面倒である	近くでサービスを利用できない	サービス内容に関する情報が少ない	支援者の知識・経験が不足している	その他
児童発達支援	46	6.5	19.6	15.2	8.7	4.3	6.5	6.5	19.6	23.9	17.4	2.2
医療型児童発達支援	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型児童発達支援	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後等デイサービス	96	14.6	13.5	10.4	10.4	6.3	17.7	11.5	11.5	11.5	12.5	9.4
保育所等訪問支援	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0
居宅介護	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
重度訪問介護	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
同行援護	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
行動援護	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所	8	12.5	37.5	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0
計画相談支援	32	3.1	3.1	3.1	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	12.5	6.3	6.3
日常生活用具	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0
補装具	15	6.74	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	26.7	6.7	20.0	0.0	0.0
移動支援	6	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
日中一時支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

※無回答の割合は表記を割愛しています。

- ・ 回答者数が20件以上のサービスで割合の高いものをみると、放課後等デイサービスで「利用したいサービスに空きがない」が17.7%、「子供の発達状況や障がい特性に対応したサービスがない」が14.6%、「利用したい日や時間に利用できない」が13.5%などとなっています。
- ・ 児童発達支援では「サービス内容に関する情報が少ない」が23.9%、「利用したい日や時間に利用できない」と「近くでサービスを利用できない」がそれぞれ19.6%、「支援者の知識・経験が不足している」が17.4%、「サービスの量（時間や日数）が足りない」が15.2%などとなっています。
- ・ 計画相談支援では「サービス内容に関する情報が少ない」が12.5%となっています。

③今後3年以内の利用について（今後3年以内に利用するサービスに○）



- ・ 今後3年以内に利用したいサービスは多い順に、「放課後等デイサービス」が46.7%、「児童発達支援」が15.8%、「計画相談支援」が13.2%、「短期入所（ショートステイ）」が9.2%などとなっています。
- ・ 「児童発達支援」は未就学児で36.6%となっています。

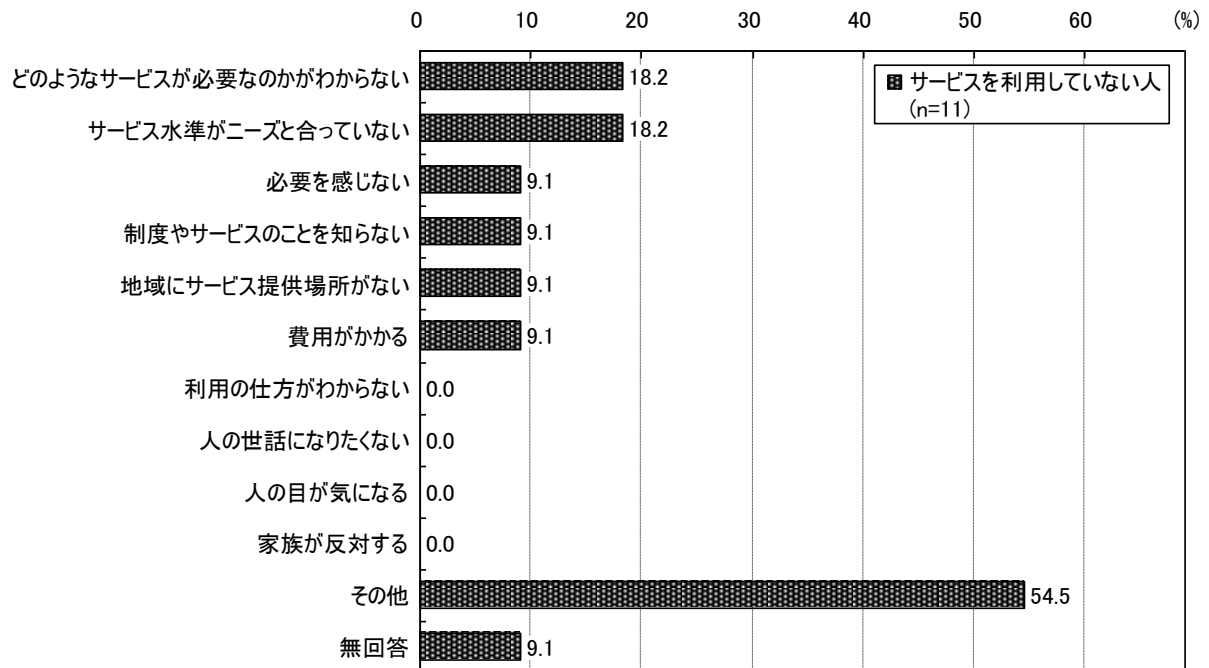
単位：％	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
児童発達支援	15.8	36.6	10.1	4.8	9.2	24.6	27.3
医療型児童発達支援	1.3	2.4	0.0	2.4	2.3	0.0	0.0
居宅訪問型児童発達支援	1.3	0.0	0.0	4.8	1.1	1.5	0.0
放課後等デイサービス	46.7	46.3	56.5	31.0	48.3	44.6	27.3
保育所等訪問支援	7.2	12.2	7.2	2.4	4.6	10.8	9.1
居宅介護（ホームヘルプ）	4.6	0.0	7.2	4.8	8.0	0.0	9.1
重度訪問介護	0.7	0.0	0.0	2.4	1.1	0.0	0.0
同行援護	0.7	0.0	0.0	2.4	1.1	0.0	0.0
行動援護	1.3	0.0	1.4	2.4	2.3	0.0	0.0
短期入所（ショートステイ）	9.2	2.4	8.7	16.7	14.9	1.5	9.1
計画相談支援	13.2	0.0	20.3	14.3	17.2	7.7	9.1
日常生活用具	2.6	2.4	2.9	2.4	4.6	0.0	18.2
補装具	5.9	4.9	7.2	4.8	10.3	0.0	18.2
移動支援（ガイドヘルプ）	7.9	0.0	7.2	16.7	13.8	0.0	0.0
日中一時支援	2.0	0.0	2.9	2.4	3.4	0.0	0.0
その他	2.0	4.9	0.0	2.4	1.1	3.1	9.1
無回答	33.6	17.1	31.9	52.4	34.5	32.3	27.3

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
児童発達支援	15.8	5.3	10.6	0.0	0.0	0.0	9.4	0.0
医療型児童発達支援	1.3	5.3	1.5	9.1	0.0	0.0	3.1	25.0
居宅訪問型児童発達支援	1.3	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	3.1	25.0
放課後等デイサービス	46.7	42.1	54.5	27.3	0.0	100.0	37.5	50.0
保育所等訪問支援	7.2	10.5	1.5	9.1	0.0	0.0	3.1	25.0
居宅介護（ホームヘルプ）	4.6	21.1	7.6	9.1	0.0	25.0	6.3	25.0
重度訪問介護	0.7	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	3.1	25.0
同行援護	0.7	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	3.1	25.0
行動援護	1.3	0.0	1.5	9.1	0.0	0.0	3.1	25.0
短期入所（ショートステイ）	9.2	26.3	18.2	9.1	0.0	25.0	15.6	50.0
計画相談支援	13.2	15.8	19.7	18.2	0.0	25.0	12.5	50.0
日常生活用具	2.6	15.8	3.0	9.1	0.0	25.0	3.1	25.0
補装具	5.9	42.1	4.5	9.1	0.0	25.0	3.1	25.0
移動支援（ガイドヘルプ）	7.9	15.8	16.7	9.1	0.0	0.0	15.6	25.0
日中一時支援	2.0	0.0	3.0	9.1	0.0	0.0	6.3	50.0
その他	2.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	3.1	25.0
無回答	33.6	26.3	30.3	63.6	100.0	0.0	50.0	25.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

問26 （問25の「利用の有無」欄に1つも○がない人）障がい福祉サービス等を利用しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- ・「どのようなサービスが必要なのかがわからない」と「サービス水準がニーズと合っていない」がそれぞれ18.2%などとなっています。

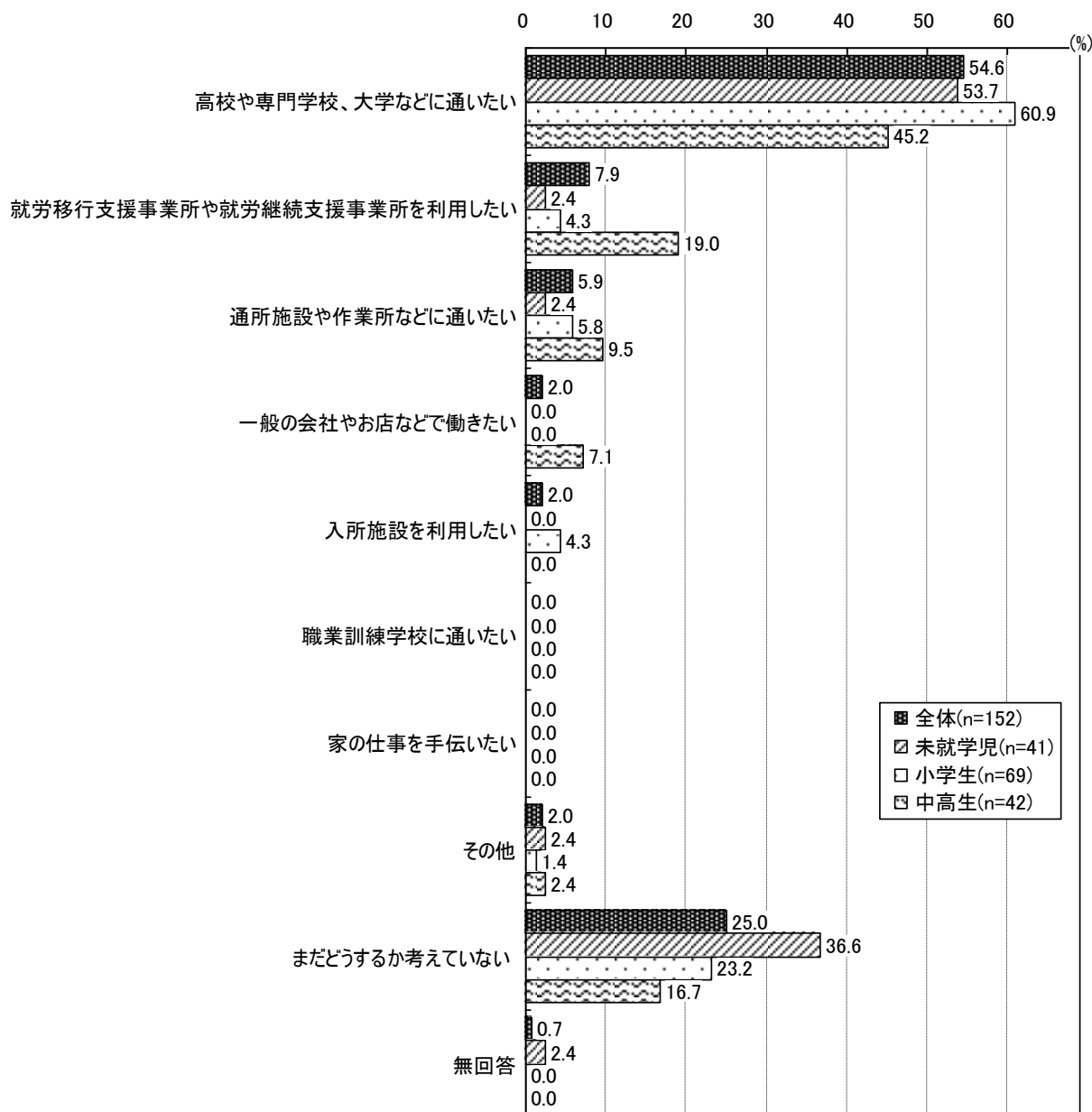
【選択肢「その他」の記述内容】

[身体障がいと知的障がいと指定難病]
 ・利用する予定
 [知的障がいと発達障がい]
 ・子供が他人とかかわることを嫌がった。

[障がい者手帳は持っていない]
 ・本人が嫌がるため
 ・今は特に利用しなくても家族でサポートできると感じたので
 ・一旦サービス利用停止して、発育状況を見てみようと思いました。過去の通所の効果があったように思います。

7 将来の暮らしについて

問27 お子さん（ご本人）は卒業後（義務教育期間の終了後）の進路をどのように考えていますか。（〇は1つ）



- ・「高校や専門学校、大学などに通いたい」が54.6%と最も多く、次いで「まだどうするか考えていない」が25.0%、「就労移行支援事業所や就労継続支援事業所を利用したい」が7.9%、「通所施設や作業所などに通いたい」が5.9%となっています。
- ・成長段階別にみると、未就学児では「まだどうするか考えていない」が36.6%、小学生では「高校や専門学校、大学などに通いたい」が60.9%、中高生では「就労移行支援事業所や就労継続支援事業所を利用したい」が19.0%とそれぞれ多くみられます。

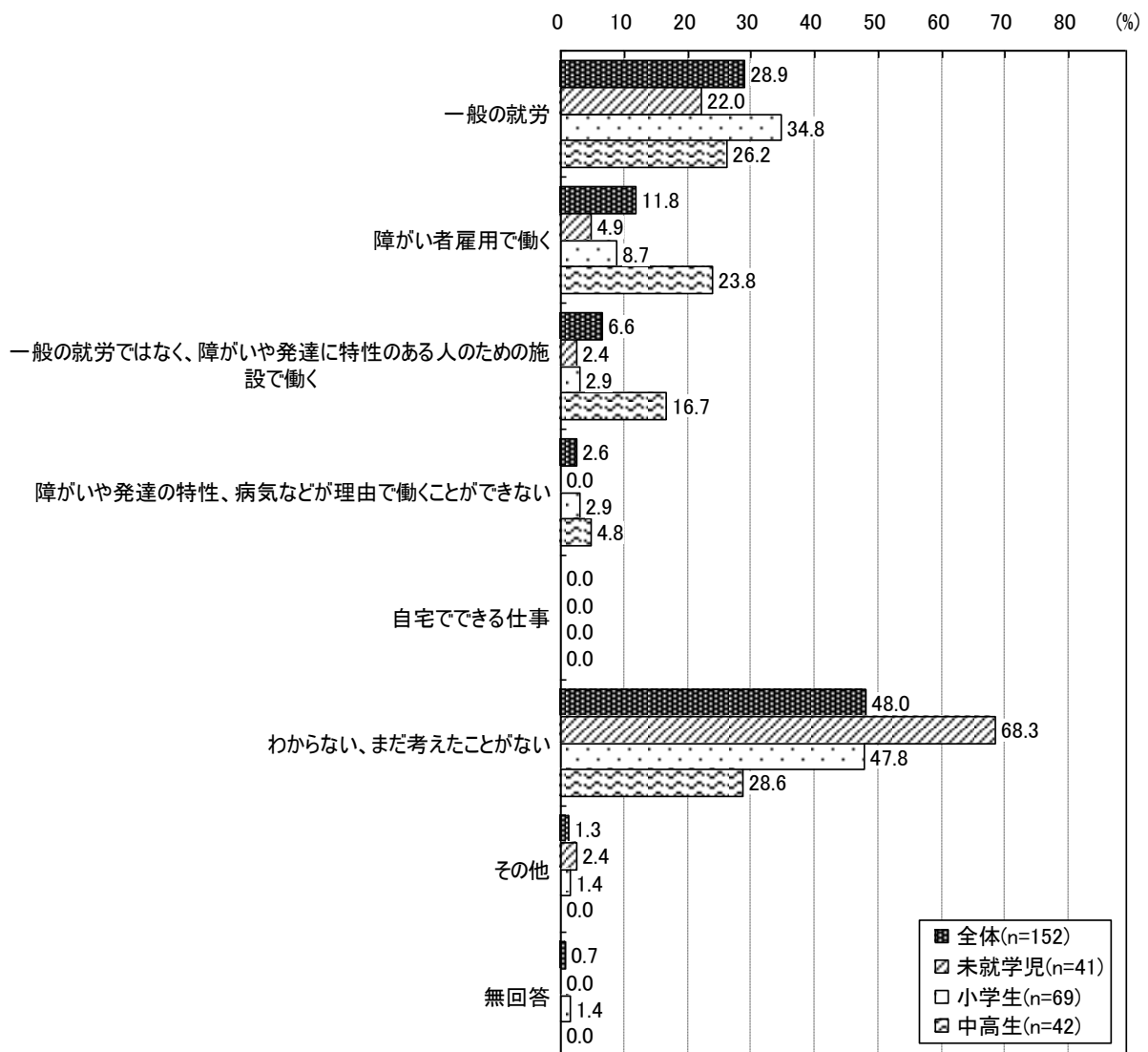
単位：％	全体 (n=152)	0～2歳児 (n=5)	3～5歳児 (n=36)	小学1～3年生 (n=41)	小学4～6年生 (n=28)	中学生 (n=24)	高校生 (n=18)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
高校や専門学校、大学などに通いたい	54.6	60.0	52.8	63.4	57.1	50.0	38.9	37.9	76.9	45.5
就労移行支援事業所や就労継続支援事業所を利用したい	7.9	0.0	2.8	4.9	3.6	16.7	22.2	10.3	4.6	9.1
通所施設や作業所などに通いたい	5.9	0.0	2.8	2.4	10.7	8.3	11.1	10.3	0.0	0.0
一般の会社やお店などで働きたい	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	11.1	3.4	0.0	0.0
入所施設を利用したい	2.0	0.0	0.0	7.3	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	9.1
職業訓練学校に通いたい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家の仕事を手伝いたい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2.0	0.0	2.8	0.0	3.6	4.2	0.0	2.3	1.5	9.1
まだどうするか考えていない	25.0	40.0	36.1	22.0	25.0	16.7	16.7	31.0	16.9	27.3
無回答	0.7	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
高校や専門学校、大学などに通いたい	54.6	52.6	24.2	72.7	100.0	25.0	40.6	25.0
就労移行支援事業所や就労継続支援事業所を利用したい	7.9	10.5	10.6	18.2	0.0	0.0	12.5	0.0
通所施設や作業所などに通いたい	5.9	21.1	13.6	0.0	0.0	25.0	6.3	25.0
一般の会社やお店などで働きたい	2.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
入所施設を利用したい	2.0	5.3	4.5	0.0	0.0	25.0	6.3	25.0
職業訓練学校に通いたい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家の仕事を手伝いたい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2.0	5.3	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
まだどうするか考えていない	25.0	5.3	37.9	9.1	0.0	25.0	25.0	25.0
無回答	0.7	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

問28 お子さん（ご本人）は、将来、働くことについて、どのように考えていますか。
（○は1つ）



- ・「わからない、まだ考えたことがない」が48.0%と最も多く、次いで「一般の就労」が28.9%、「障がい者雇用で働く」が11.8%、「一般の就労ではなく、障がいや発達に特性のある人のための施設で働く」が6.6%となっています。
- ・成長段階別にみると、「わからない、まだ考えたことがない」は未就学児、「一般の就労」は小学生、「障がい者雇用で働く」と「一般の就労ではなく、障がいや発達に特性のある人のための施設で働く」は中高生でそれぞれ多くみられます。

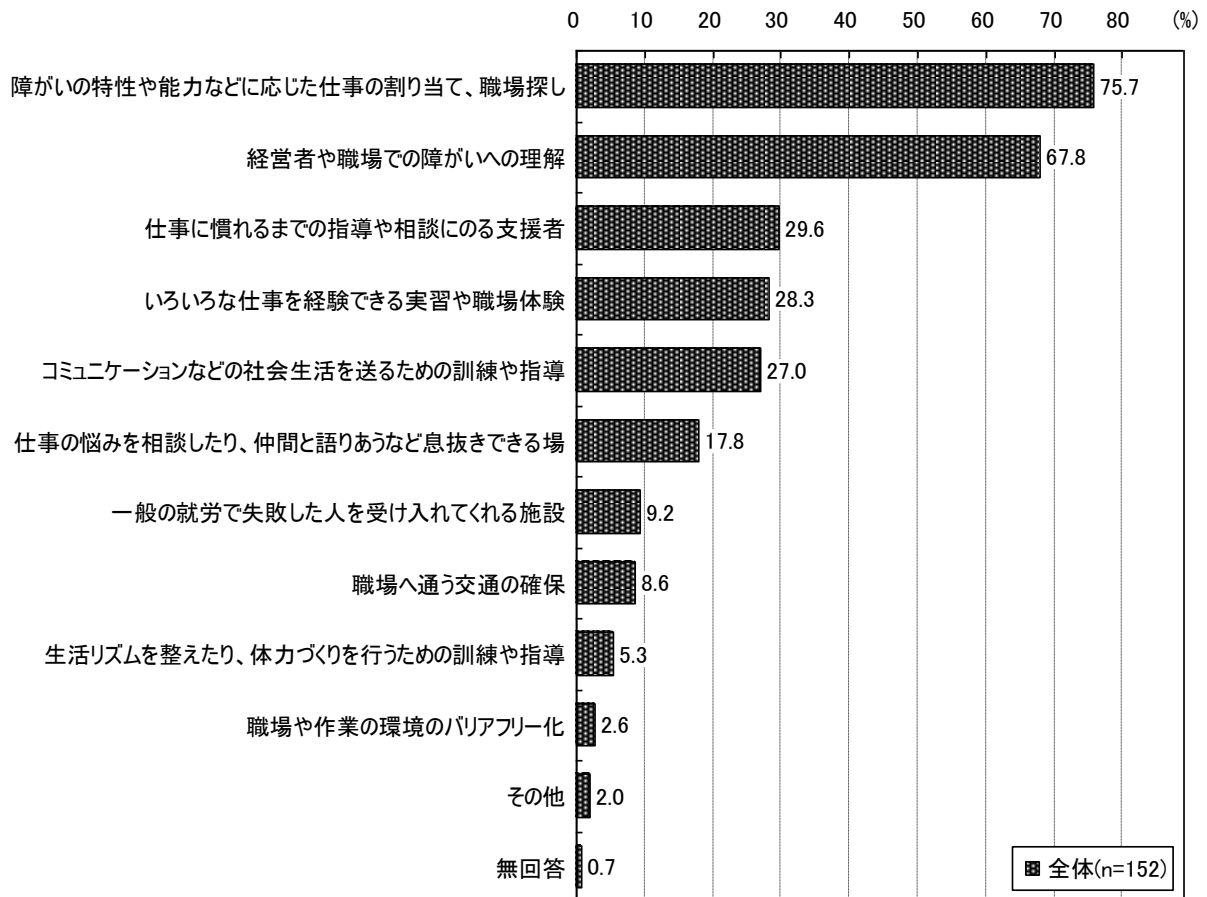
単位：％	全体 (n=152)	0～2歳児 (n=5)	3～5歳児 (n=36)	小学1～3年生 (n=41)	小学4～6年生 (n=28)	中学生 (n=24)	高校生 (n=18)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
一般の就労	28.9	20.0	22.2	41.5	25.0	16.7	38.9	18.4	43.1	36.4
障がい者雇用で働く	11.8	0.0	5.6	4.9	14.3	33.3	11.1	13.8	9.2	0.0
一般の就労ではなく、障がいや発達に特性のある人のための施設で働く	6.6	0.0	2.8	2.4	3.6	8.3	27.8	10.3	1.5	0.0
障がいや発達の特性、病気などが理由で働くことができない	2.6	0.0	0.0	4.9	0.0	8.3	0.0	4.6	0.0	9.1
自宅でできる仕事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない、まだ考えたことがない	48.0	80.0	66.7	46.3	50.0	33.3	22.2	52.9	41.5	54.5
その他	1.3	0.0	2.8	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0
無回答	0.7	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
一般の就労	28.9	31.6	9.1	36.4	100.0	0.0	18.8	25.0
障がい者雇用で働く	11.8	10.5	18.2	0.0	0.0	25.0	15.6	0.0
一般の就労ではなく、障がいや発達に特性のある人のための施設で働く	6.6	5.3	12.1	9.1	0.0	0.0	18.8	25.0
障がいや発達の特性、病気などが理由で働くことができない	2.6	10.5	6.1	0.0	0.0	25.0	6.3	25.0
自宅でできる仕事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない、まだ考えたことがない	48.0	42.1	54.5	54.5	0.0	50.0	40.6	25.0
その他	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

問29 障がいや発達に特性がある人が一般の就労で働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）



- ・「障がいの特性や能力などに応じた仕事の割り当て、職場探し」が75.7%と最も多く、次いで「経営者や職場での障がいへの理解」が67.8%、「仕事に慣れるまでの指導や相談にのる支援者」が29.6%、「いろいろな仕事を体験できる実習や職場体験」が28.3%、「コミュニケーションなどの社会生活を送るための訓練や指導」が27.0%などとなっています。

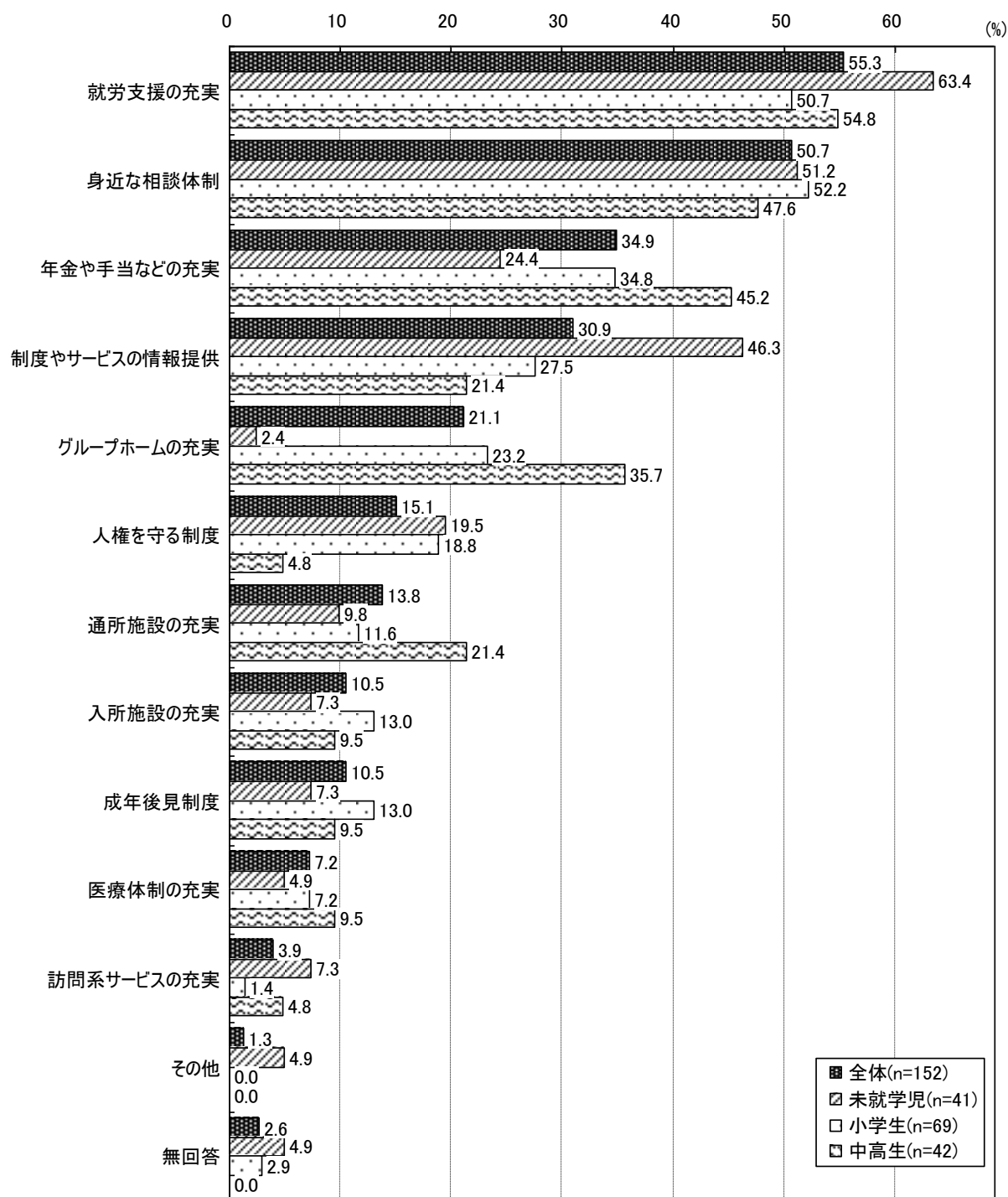
単位：％	全体 (n=152)	0～2歳児 (n=5)	3～5歳児 (n=36)	小学1～3年生 (n=41)	小学4～6年生 (n=28)	中学生 (n=24)	高校生 (n=18)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
障がいの特性や能力などに応じた仕事の割り当て、職場探し	75.7	100.0	77.8	58.5	89.3	83.3	72.2	79.3	70.8	54.5
経営者や職場での障がいへの理解	67.8	60.0	66.7	53.7	82.1	83.3	61.1	75.9	56.9	54.5
仕事に慣れるまでの指導や相談にのる支援者	29.6	0.0	22.2	31.7	32.1	41.7	27.8	32.2	26.2	27.3
いろいろな仕事を経験できる実習や職場体験	28.3	20.0	36.1	19.5	32.1	33.3	22.2	23.0	35.4	27.3
コミュニケーションなどの社会生活を送るための訓練や指導	27.0	20.0	22.2	39.0	28.6	4.2	38.9	26.4	27.7	45.5
仕事の悩みを相談したり、仲間と語りあうなど息抜きできる場	17.8	0.0	16.7	24.4	10.7	20.8	16.7	11.5	26.2	9.1
一般の就労で失敗した人を受け入れてくれる施設	9.2	0.0	19.4	4.9	3.6	4.2	16.7	8.0	10.8	27.3
職場へ通う交通の確保	8.6	0.0	5.6	14.6	7.1	12.5	0.0	11.5	4.6	9.1
生活リズムを整えたり、体力づくりを行うための訓練や指導	5.3	0.0	2.8	7.3	0.0	8.3	11.1	2.3	9.2	9.1
職場や作業の環境のバリアフリー化	2.6	0.0	0.0	7.3	3.6	0.0	0.0	3.4	1.5	9.1
その他	2.0	0.0	2.8	0.0	3.6	4.2	0.0	3.4	0.0	0.0
無回答	0.7	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
障がいの特性や能力などに応じた仕事の割り当て、職場探し	75.7	63.2	80.3	90.9	100.0	75.0	78.1	75.0
経営者や職場での障がいへの理解	67.8	73.7	75.8	81.8	100.0	100.0	75.0	75.0
仕事に慣れるまでの指導や相談にのる支援者	29.6	21.1	36.4	27.3	0.0	50.0	40.6	25.0
いろいろな仕事を経験できる実習や職場体験	28.3	21.1	22.7	18.2	100.0	25.0	21.9	0.0
コミュニケーションなどの社会生活を送るための訓練や指導	27.0	36.8	25.8	36.4	0.0	50.0	28.1	25.0
仕事の悩みを相談したり、仲間と語りあうなど息抜きできる場	17.8	0.0	15.2	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0
一般の就労で失敗した人を受け入れてくれる施設	9.2	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	9.4	0.0
職場へ通う交通の確保	8.6	26.3	10.6	9.1	0.0	0.0	12.5	0.0
生活リズムを整えたり、体力づくりを行うための訓練や指導	5.3	0.0	1.5	9.1	0.0	0.0	6.3	0.0
職場や作業の環境のバリアフリー化	2.6	15.8	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2.0	0.0	3.0	9.1	0.0	0.0	3.1	25.0
無回答	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

問30 お子さん（ご本人）の将来の暮らしのために、必要なことは何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）



- ・「就労支援の充実」が55.3%と最も多く、次いで「身近な相談体制」が50.7%、「年金や手当などの充実」が34.9%、「制度やサービスの情報提供」が30.9%、「グループホームの充実」が21.1%となっています。
- ・成長段階別にみると、未就学児は「就労支援の充実」や「制度やサービスの情報提供」、中高生は「年金や手当などの充実」や「グループホームの充実」、「通所施設の充実」がそれぞれ多くみられます。

単位：％	全体 (n=152)	0～2歳児 (n=5)	3～5歳児 (n=36)	小学1～3年生 (n=41)	小学4～6年生 (n=28)	中学生 (n=24)	高校生 (n=18)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
就労支援の充実	55.3	20.0	69.4	43.9	60.7	58.3	50.0	49.4	63.1	72.7
身近な相談体制	50.7	20.0	55.6	61.0	39.3	54.2	38.9	40.2	64.6	27.3
年金や手当などの充実	34.9	20.0	25.0	22.0	53.6	50.0	38.9	44.8	21.5	27.3
制度やサービスの情報提供	30.9	60.0	44.4	34.1	17.9	25.0	16.7	24.1	40.0	27.3
グループホームの充実	21.1	0.0	2.8	19.5	28.6	29.2	44.4	33.3	4.6	18.2
人権を守る制度	15.1	40.0	16.7	19.5	17.9	4.2	5.6	17.2	12.3	18.2
通所施設の充実	13.8	0.0	11.1	12.2	10.7	16.7	27.8	19.5	6.2	9.1
入所施設の充実	10.5	0.0	8.3	12.2	14.3	4.2	16.7	14.9	4.6	9.1
成年後見制度	10.5	0.0	8.3	9.8	17.9	12.5	5.6	12.6	7.7	18.2
医療体制の充実	7.2	20.0	2.8	7.3	7.1	12.5	5.6	9.2	4.6	18.2
訪問系サービスの充実	3.9	0.0	8.3	2.4	0.0	8.3	0.0	3.4	4.6	9.1
その他	1.3	20.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0
無回答	2.6	0.0	5.6	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2	0.0

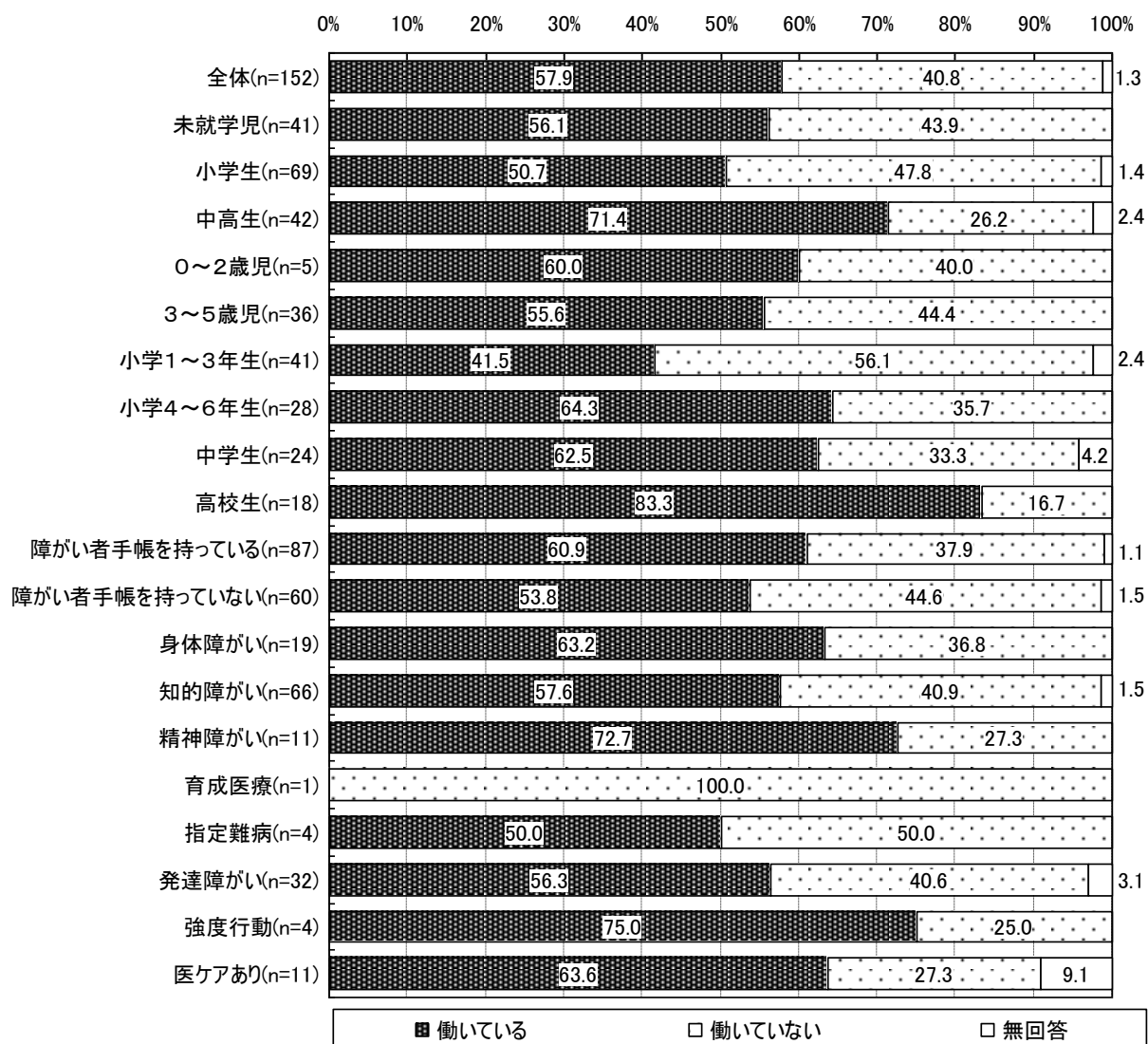
※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
就労支援の充実	55.3	47.4	53.0	36.4	0.0	25.0	40.6	25.0
身近な相談体制	50.7	36.8	40.9	36.4	100.0	75.0	37.5	25.0
年金や手当などの充実	34.9	36.8	40.9	63.6	0.0	25.0	59.4	0.0
制度やサービスの情報提供	30.9	31.6	16.7	45.5	100.0	50.0	25.0	0.0
グループホームの充実	21.1	26.3	36.4	45.5	100.0	50.0	43.8	25.0
人権を守る制度	15.1	15.8	15.2	18.2	0.0	0.0	15.6	25.0
通所施設の充実	13.8	21.1	24.2	9.1	0.0	0.0	12.5	25.0
入所施設の充実	10.5	15.8	18.2	9.1	0.0	25.0	15.6	75.0
成年後見制度	10.5	0.0	15.2	9.1	0.0	0.0	18.8	50.0
医療体制の充実	7.2	26.3	7.6	0.0	0.0	0.0	3.1	25.0
訪問系サービスの充実	3.9	5.3	3.0	9.1	0.0	0.0	6.3	0.0
その他	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

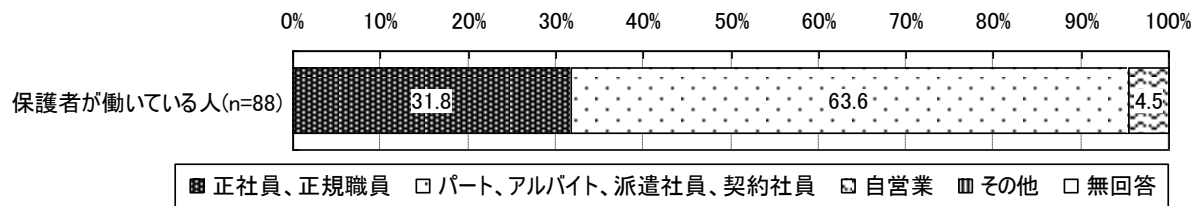
8 保護者の社会参加の状況について

問31 あなた（保護者）は現在、働いていますか。（○は1つ）



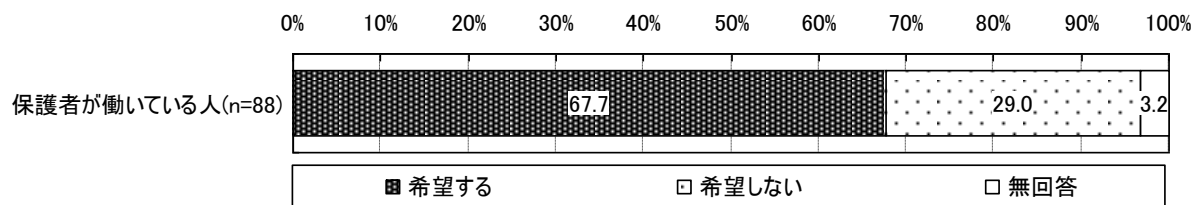
・「働いている」が57.9%、「働いていない」が40.8%となっています。

問32 （問31で「1 働いている」と回答した人）どのような勤務形態ですか。（〇は1つ）



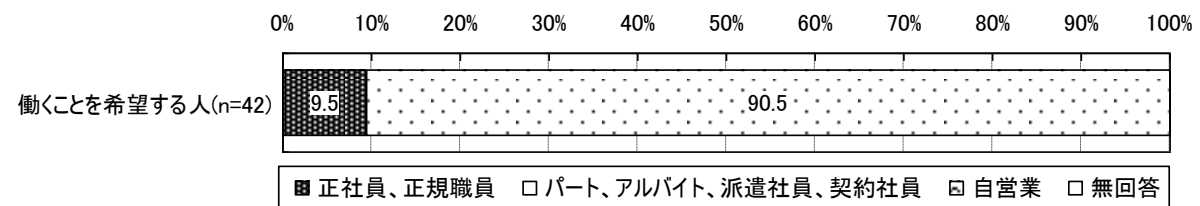
・「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」が63.6%と最も多く、次いで「正社員、正規職員」が31.8%、「自営業」が4.5%となっています。

問33 （問31で「2 働いていない」と回答した人）あなたは、働くことを希望しますか。（〇は1つ）



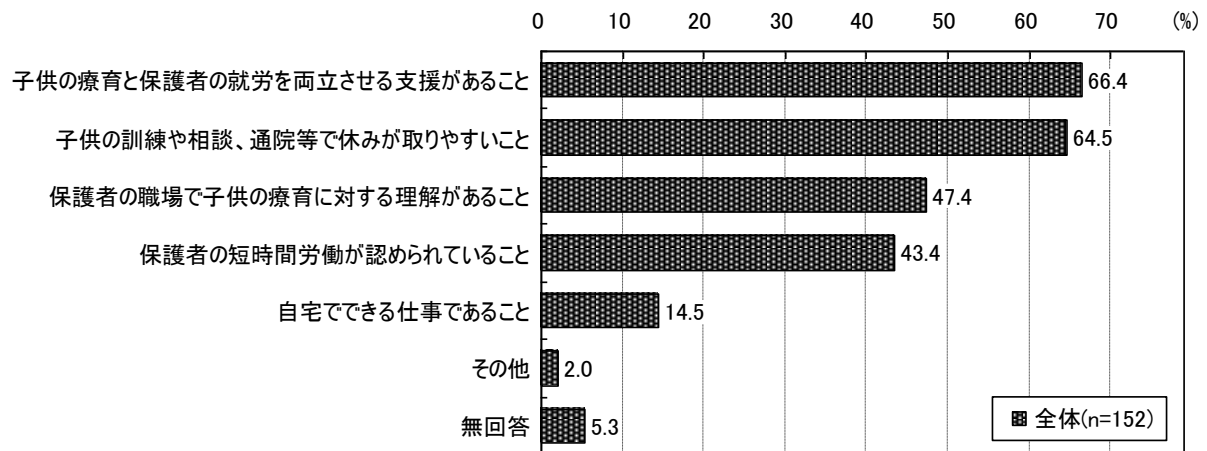
・働くことを希望すると答えた人は67.7%となっています。

問34 （問33で「1 希望する」と回答した人）あなたは、どのような勤務形態を希望しますか。（〇は1つ）



・「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」が90.5%となっています。

問35 保護者の就労に関して、必要な支援とは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)



- ・「子供の療育と保護者の就労を両立させる支援があること」が66.4%と最も多く、次いで「子供の訓練や相談、通院等で休みが取りやすいこと」が64.5%、「保護者の職場で子供の療育に対する理解があること」が47.4%、「保護者の短時間労働が認められていること」が43.4%となっています。
- ・成長段階別にみると、「子供の療育と保護者の就労を両立させる支援があること」は未就学児で78.0%となっています。

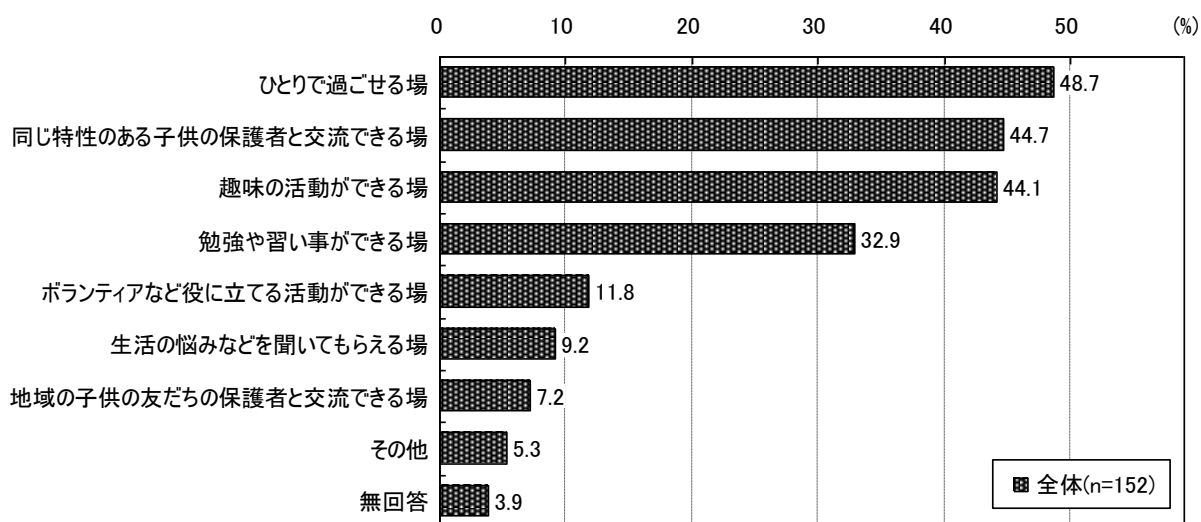
単位：%	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
子供の療育と保護者の就労を両立させる支援があること	66.4	78.0	63.8	59.5	66.7	66.2	54.5
子供の訓練や相談、通院等で休みが取りやすいこと	64.5	56.1	69.6	64.3	70.1	56.9	54.5
保護者の職場で子供の療育に対する理解があること	47.4	26.8	53.6	57.1	56.3	35.4	45.5
保護者の短時間労働が認められていること	43.4	43.9	43.5	42.9	39.1	49.2	45.5
自宅でできる仕事であること	14.5	24.4	13.0	7.1	14.9	13.8	9.1
その他	2.0	0.0	1.4	4.8	2.3	1.5	0.0
無回答	5.3	2.4	8.7	2.4	3.4	7.7	18.2

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
子供の療育と保護者の就労を 両立させる支援があること	66.4	57.9	69.7	54.5	0.0	100.0	68.8	100.0
子供の訓練や相談、通院等 で休みが取りやすいこと	64.5	73.7	71.2	63.6	0.0	100.0	65.6	75.0
保護者の職場で子供の療育 に対する理解があること	47.4	52.6	59.1	45.5	0.0	75.0	50.0	75.0
保護者の短時間労働が認め られていること	43.4	47.4	37.9	45.5	100.0	25.0	46.9	25.0
自宅でできる仕事であること	14.5	21.1	16.7	9.1	0.0	0.0	12.5	0.0
その他	2.0	0.0	1.5	9.1	0.0	0.0	6.3	0.0
無回答	5.3	10.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

問36 あなたは、お休みの日などにどのような場に行ってみたいですか。（あてはまるもの3つまでに○）



- ・「ひとりで過ごせる場」が48.7%と最も多く、次いで「同じ特性のある子供の保護者と交流できる場」が44.7%、「趣味の活動ができる場」が44.1%、「勉強や習い事ができる場」が32.9%などとなっています。
- ・成長段階別にみると、「同じ特性のある子供の保護者と交流できる場」は未就学児で56.1%となっています。

単位：％	全体 (n=152)	未就学児 (n=41)	小学生 (n=69)	中高生 (n=42)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
ひとりで過ごせる場	48.7	51.2	43.5	54.8	52.9	43.1	63.6
同じ特性のある子供の保護者と交流できる場	44.7	56.1	40.6	40.5	44.8	44.6	54.5
趣味の活動ができる場	44.1	39.0	43.5	50.0	46.0	41.5	9.1
勉強や習い事ができる場	32.9	26.8	31.9	40.5	29.9	36.9	45.5
ボランティアなど役に立てる活動ができる場	11.8	12.2	10.1	14.3	10.3	13.8	0.0
生活の悩みなどを聞いてもらえる場	9.2	4.9	7.2	16.7	11.5	6.2	0.0
地域の子供の友だちの保護者と交流できる場	7.2	14.6	7.2	0.0	2.3	13.8	9.1
その他	5.3	9.8	2.9	4.8	5.7	4.6	0.0
無回答	3.9	0.0	4.3	7.1	3.4	4.6	9.1

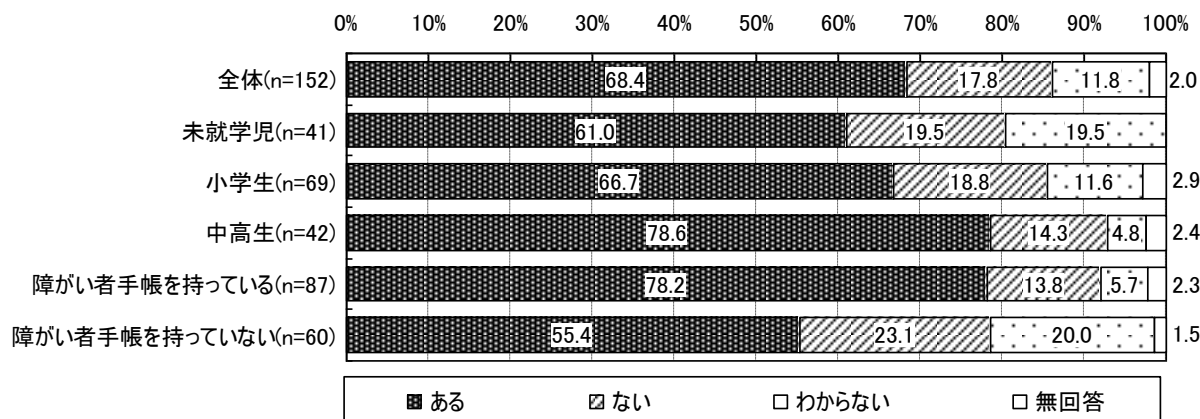
※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
ひとりで過ごせる場	48.7	52.6	56.1	45.5	0.0	75.0	68.8	50.0
同じ特性のある子供の保護者と交流できる場	44.7	31.6	50.0	27.3	0.0	25.0	34.4	50.0
趣味の活動ができる場	44.1	63.2	42.4	54.5	100.0	25.0	43.8	50.0
勉強や習い事ができる場	32.9	26.3	28.8	36.4	0.0	0.0	46.9	0.0
ボランティアなど役に立てる活動ができる場	11.8	10.5	9.1	27.3	100.0	25.0	9.4	0.0
生活の悩みなどを聞いてもらえる場	9.2	5.3	12.1	9.1	100.0	0.0	18.8	25.0
地域の子供の友だちの保護者と交流できる場	7.2	5.3	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.3	0.0	6.1	9.1	0.0	0.0	6.3	0.0
無回答	3.9	5.3	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

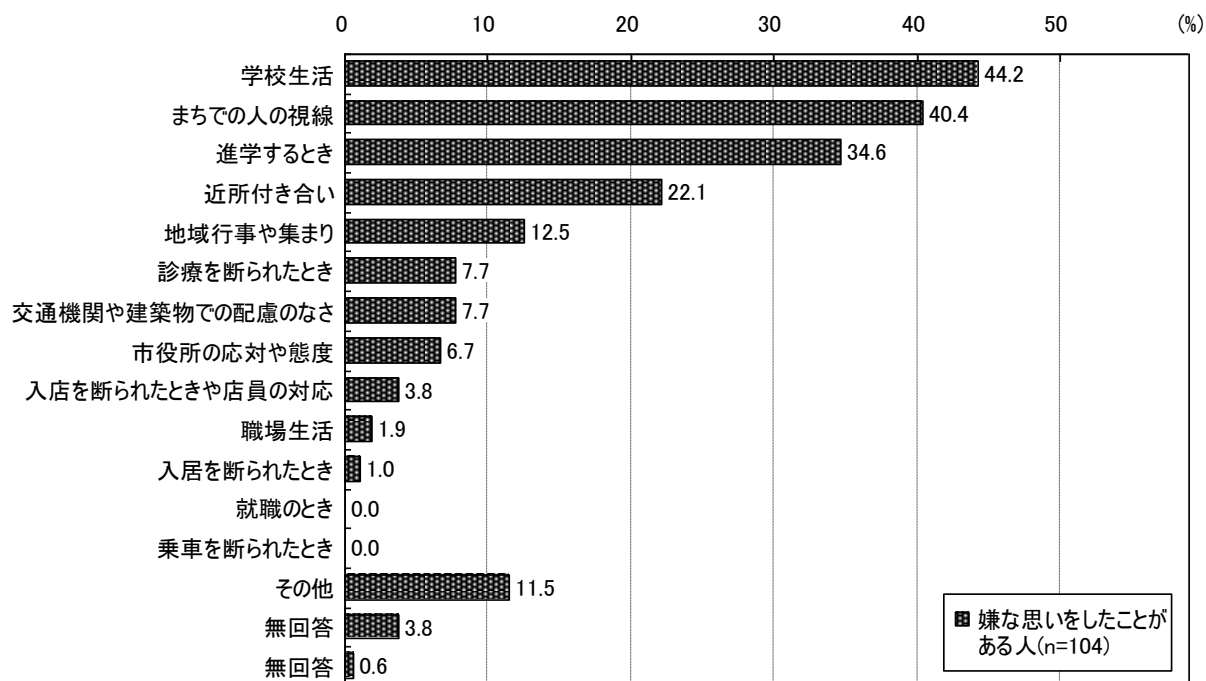
9 障がい児・者の人権や障がい児・者理解について

問37 お子さん（ご本人）に障がいや発達に特性があることで、嫌な思いをしたことがありますか。（〇は1つ）



- ・嫌な思いをしたことが「ある」と答えた人は68.4%となっています。
- ・成長段階別にみると、成長段階が上がるにつれて「ある」と答えた人が増える傾向にあり、障がい者手帳の有無別には、手帳を持っている人で「ある」と答えた人が78.2%を占めています。

問38 （問37で「1 ある」と回答した人）嫌な思いをしたのは、どのようなときですか。（あてはまるものすべてに〇）



- ・「学校生活」が44.2%と最も多く、次いで「まちでの人の視線」が40.4%、「進学するとき」が34.6%、「近所付き合い」が22.1%などとなっています。

単位：％	全体 (n=104)	0～2歳児 (n=2)	3～5歳児 (n=23)	小学1～3年生 (n=26)	小学4～6年生 (n=20)	中学生 (n=18)	高校生 (n=15)	手帳あり (n=68)	手帳なし (n=36)	医ケアあり (n=7)
学校生活	44.2	44.2	0.0	13.0	53.8	50.0	38.9	38.2	55.6	42.9
まちでの人の視線	40.4	40.4	50.0	39.1	38.5	40.0	50.0	41.2	38.9	28.6
進学するとき	34.6	34.6	50.0	39.1	26.9	30.0	38.9	39.7	25.0	14.3
近所付き合い	22.1	22.1	0.0	13.0	34.6	25.0	22.2	19.1	27.8	28.6
地域行事や集まり	12.5	12.5	0.0	4.3	15.4	20.0	11.1	14.7	8.3	14.3
診療を断られたとき	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	10.0	11.1	8.8	5.6	0.0
交通機関や建築物での配慮 のなさ	7.7	7.7	0.0	0.0	11.5	10.0	5.6	8.8	5.6	0.0
市役所の対応や態度	6.7	6.7	0.0	8.7	0.0	15.0	0.0	10.3	0.0	14.3
入店を断られたときや店員の 対応	3.8	3.8	0.0	4.3	3.8	5.0	0.0	5.9	0.0	0.0
職場生活	1.9	1.9	0.0	4.3	0.0	0.0	5.6	2.9	0.0	0.0
入居を断られたとき	1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	1.5	0.0	14.3
就職のとき	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
乗車を断られたとき	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	11.5	11.5	0.0	30.4	7.7	10.0	0.0	11.8	11.1	0.0
無回答	3.8	3.8	0.0	0.0	3.8	5.0	11.1	5.9	0.0	0.0

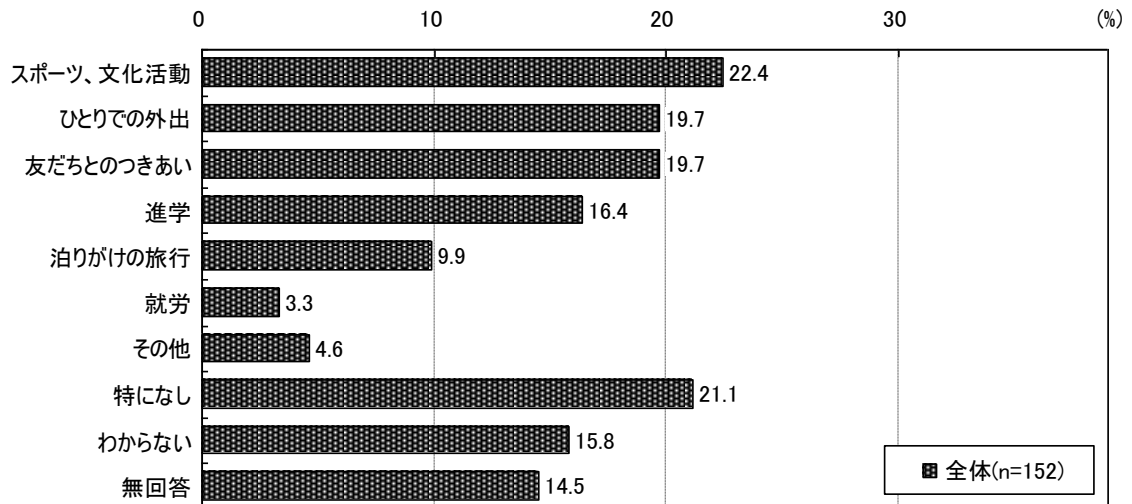
※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=104)	身体障がい (n=12)	知的障がい (n=52)	精神障がい (n=10)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=3)	発達障がい (n=29)	強度行動 (n=4)
職場生活	44.2	8.3	36.5	70.0	100.0	33.3	55.2	0.0
入居を断られたとき	40.4	33.3	42.3	50.0	0.0	33.3	51.7	75.0
就職のとき	34.6	41.7	40.4	30.0	0.0	66.7	34.5	50.0
乗車を断られたとき	22.1	8.3	19.2	30.0	0.0	33.3	20.7	0.0
その他	12.5	0.0	9.6	50.0	0.0	0.0	20.7	0.0
無回答	7.7	0.0	11.5	0.0	0.0	0.0	13.8	25.0
市役所の対応や態度	7.7	25.0	7.7	10.0	0.0	0.0	6.9	0.0
学校生活	6.7	16.7	11.5	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0
まちでの人の視線	3.8	0.0	1.9	30.0	0.0	0.0	13.8	25.0
進学するとき	1.9	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所付き合い	1	8.3	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域行事や集まり	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
診療を断られたとき	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職場生活	11.5	8.3	9.6	20.0	0.0	0.0	13.8	25.0
入居を断られたとき	3.8	8.3	7.7	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

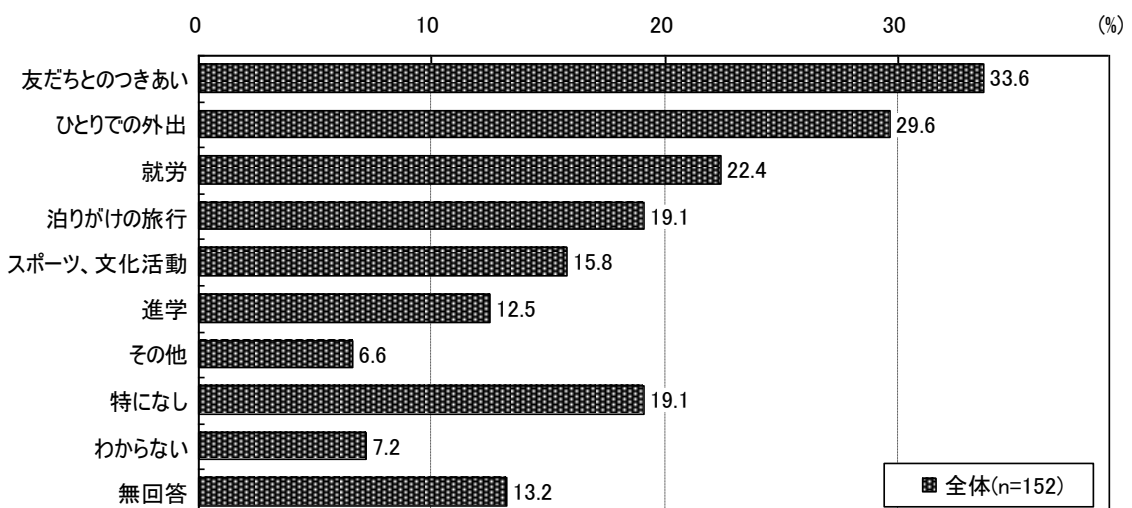
問40 お子さん（ご本人）に障がいや発達に特性があるために、お子さん（ご本人）やあなたが、あきらめたり、仕方なくがまんしたりしたことがありますか。（あてはまるものの欄すべてに○）

①お子さん（ご本人）



- ・「特になし」「わからない」と無回答を除いて、障がいや発達に特性があるためにあきらめたり、仕方なくがまんしたりしたことがあるという人は、お子さん（ご本人）では48.6%となっています。
- ・内容別には、「スポーツ、文化活動」が22.4%、「ひとりでの外出」と「友だちとのつきあい」がそれぞれ19.7%、「進学」が16.4%となっています。

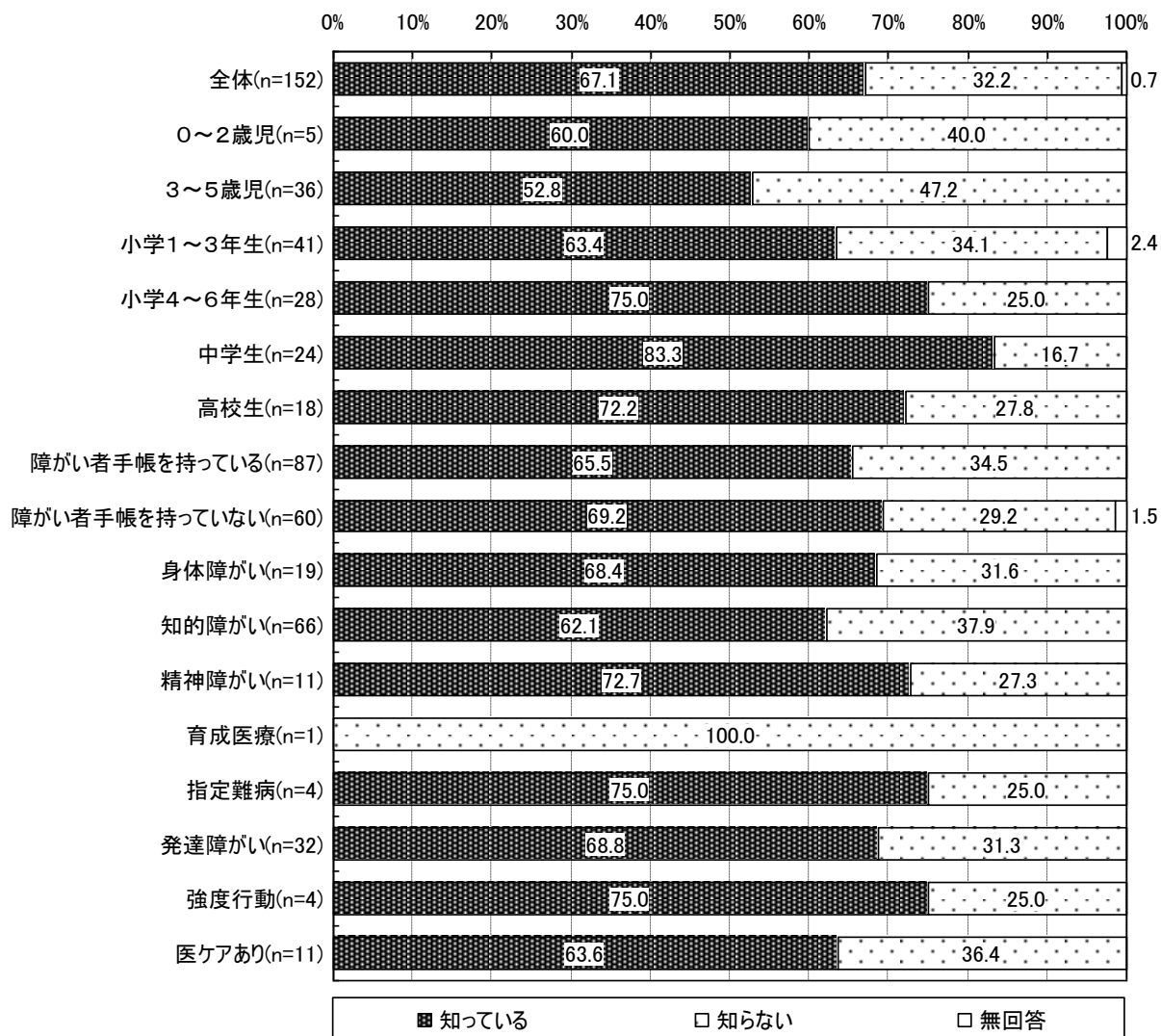
②あなた



- ・「特になし」「わからない」と無回答を除いて、障がいや発達に特性があるためにあきらめたり、仕方なくがまんしたりしたことがあるという人は、保護者の60.5%となっています。
- ・内容別には、「友だちとのつきあい」が33.6%と最も多く、次いで「ひとりでの外出」が29.6%、「就労」が22.4%、「泊りがけの旅行」が19.1%、「スポーツ、文化活動」が15.8%などとなっています。

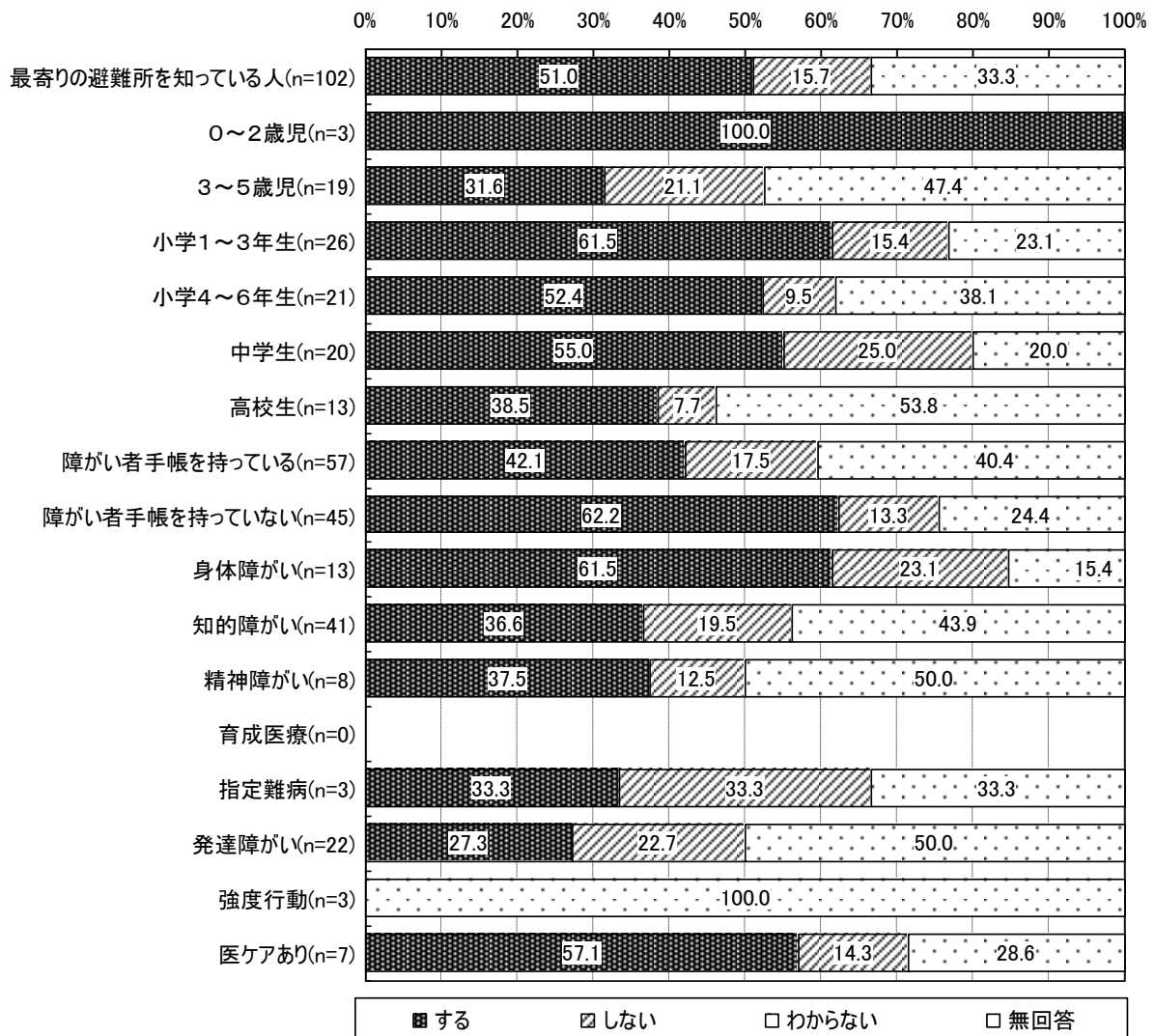
10 災害について

問41 あなた、お子さん（ご本人）は、地震などの災害時の、最寄りの避難所を知っていますか。（〇は1つ）



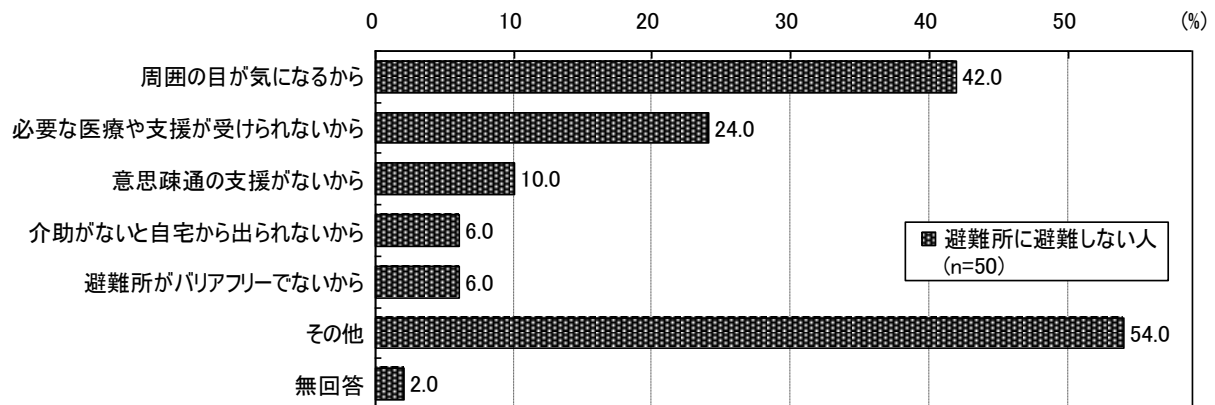
・最寄りの避難所を「知っている」人は67.1%となっています。

問42 (問41で「1 知っている」と回答した人) 災害が発生した時、あなたは避難所に避難しますか。(〇は1つ)



・避難所への避難を「する」と答えた人は51.0%となっています。

問43 (問42で「2 しない」または「3 わからない」と回答した人) 避難所に避難しない理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)



・「周囲の目が気になるから」が42.0%、「必要な医療や支援が受けられないから」が24.0%となっています。

単位：%	全体 (n=50)	0~2歳児 (n=0)	3~5歳児 (n=13)	小1~3年生 (n=10)	小4~6年生 (n=10)	中学生 (n=9)	高校生 (n=8)	手帳あり (n=33)	手帳なし (n=17)	医カあり (n=7)
周囲の目が気になるから	42.0	0.0	30.8	60.0	30.0	66.7	25.0	36.4	52.9	33.3
必要な医療や支援が受けられないから	24.0	0.0	15.4	10.0	30.0	44.4	25.0	30.3	11.8	33.3
意思疎通の支援がないから	10.0	0.0	7.7	20.0	0.0	22.2	0.0	12.1	5.9	33.3
介助がないと自宅から出られないから	6.0	0.0	0.0	10.0	10.0	11.1	0.0	6.1	5.9	0.0
避難所がバリアフリーでないから	6.0	0.0	0.0	0.0	20.0	11.1	0.0	9.1	0.0	33.3
その他	54.0	0.0	53.8	50.0	60.0	44.4	62.5	54.5	52.9	66.7
無回答	2.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：%	全体 (n=104)	身体障がい (n=5)	知的障がい (n=26)	精神障がい (n=5)	育成医療 (n=0)	指定難病 (n=2)	発達障がい (n=16)	強度行動 (n=3)
周囲の目が気になるから	42.0	20.0	34.6	60.0	0.0	0.0	56.3	66.7
必要な医療や支援が受けられないから	24.0	40.0	26.9	60.0	0.0	50.0	37.5	66.7
意思疎通の支援がないから	10.0	20.0	11.5	20.0	0.0	0.0	18.8	33.3
介助がないと自宅から出られないから	6.0	40.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
避難所がバリアフリーでないから	6.0	40.0	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	54.0	40.0	57.7	20.0	0.0	50.0	50.0	33.3
無回答	2.0	20.0	34.6	60.0	0.0	0.0	56.3	66.7

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

【選択肢「その他」の記述内容】

[知的障がい]

- ・できない。勝手に離れてしまうので、そのまま戻らず命の危険があるので、鍵のかかる場所に一緒にいるしかない。
- ・子供本人が嫌がりそう。

[知的障がいと発達障がい]

- ・災害の度合いによる。自宅の方が安全な場合もあるのでは。
- ・大きな声でしゃべり続けたりするため、それを止めさせると本人のストレスが溜まると思う。

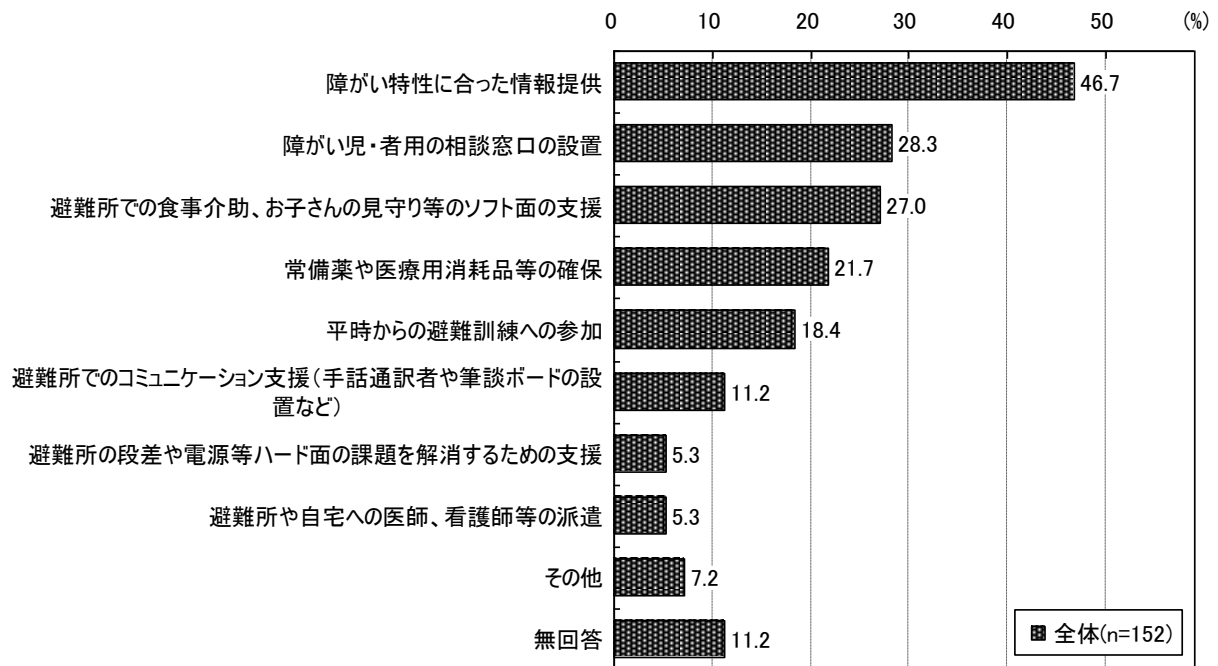
[精神障がいと発達障がい]

- ・子供が音に敏感、人の目を気にするため。

[障がい者手帳は持っていない]

- ・慣れた環境でないと落ち着かないから。
- ・人がたくさんいる所が苦手。普段と違う環境が苦手。
- ・避難所生活の不自由さ。

問44 あなた、お子さん（ご本人）にとって、地震などの災害時に必要な支援は何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）



- ・「障がい特性に合った情報提供」が46.7%と最も多く、次いで「障がい児・者用の相談窓口の設置」が28.3%、「避難所での食事介助、お子さんの見守り等のソフト面の支援」が27.0%、「常備薬や医療用消耗品等の確保」が21.7%、「平時からの避難訓練への参加」が18.4%などとなっています。

単位：%	全体 (n=152)	0～2歳児 (n=5)	3～5歳児 (n=36)	小学1～3年生 (n=41)	小学4～6年生 (n=28)	中学生 (n=24)	高校生 (n=18)	手帳あり (n=87)	手帳なし (n=65)	医ケアあり (n=11)
障がい特性に合った情報提供	46.7	40.0	44.4	39.0	53.6	45.8	61.1	49.4	43.1	45.5
障がい児・者用の相談窓口の設置	28.3	0.0	16.7	24.4	32.1	41.7	44.4	39.1	13.8	9.1
避難所での食事介助、お子さんの見守り等のソフト面の支援	27.0	0.0	30.6	43.9	17.9	16.7	16.7	32.2	20.0	36.4
常備薬や医療用消耗品等の確保	21.7	0.0	22.2	17.1	35.7	25.0	11.1	26.4	15.4	63.6
平時からの避難訓練への参加	18.4	20.0	25.0	24.4	14.3	12.5	5.6	13.8	24.6	27.3
避難所でのコミュニケーション支援（手話通訳者や筆談ボードの設置など）	11.2	40.0	11.1	12.2	7.1	8.3	11.1	12.6	9.2	0.0
避難所の段差や電源等ハード面の課題を解消するための支援	5.3	0.0	0.0	9.8	7.1	8.3	0.0	8.0	1.5	0.0
避難所や自宅への医師、看護師等の派遣	5.3	40.0	0.0	4.9	7.1	8.3	0.0	5.7	4.6	18.2
その他	7.2	20.0	5.6	2.4	3.6	8.3	22.2	8.0	6.2	9.1
無回答	11.2	20.0	13.9	14.6	7.1	12.5	0.0	5.7	18.5	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=152)	身体障がい (n=19)	知的障がい (n=66)	精神障がい (n=11)	育成医療 (n=1)	指定難病 (n=4)	発達障がい (n=32)	強度行動 (n=4)
障がい特性に合った情報提供	46.7	21.1	53.0	54.5	0.0	50.0	65.6	50.0
障がい児・者用の相談窓口の設置	28.3	5.3	43.9	45.5	0.0	50.0	53.1	25.0
避難所での食事介助、お子さんの見守り等のソフト面の支援	27.0	26.3	36.4	27.3	0.0	75.0	34.4	50.0
常備薬や医療用消耗品等の確保	21.7	42.1	25.8	27.3	0.0	50.0	25.0	50.0
平時からの避難訓練への参加	18.4	10.5	10.6	27.3	100.0	0.0	18.8	0.0
避難所でのコミュニケーション支援（手話通訳者や筆談ボードの設置など）	11.2	21.1	10.6	0.0	0.0	25.0	6.3	25.0
避難所の段差や電源等ハード面の課題を解消するための支援	5.3	15.8	7.6	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0
避難所や自宅への医師、看護師等の派遣	5.3	15.8	7.6	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
その他	7.2	10.5	6.1	9.1	0.0	0.0	6.3	25.0
無回答	11.2	0.0	6.1	9.1	0.0	0.0	6.3	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

その他回答

問6 お子さん（ご本人）の通園先、通学先を教えてください。

- ・家庭内保育
- ・高等支援学校
- ・児童発達支援事業所
- ・通園・通学はまだしていない
- ・高等専修学校支援級在席

問8 お子さん（ご本人）が自宅で日常的に行っている医療的ケアはありますか。

- ・アレルギー予防による飲み薬、塗布薬
- ・メガネ、サングラス
- ・睡眠導入剤 服薬
- ・入眠薬

問9 お子さん（ご本人）を主に養育しているのはどなたですか。

- ・父・母

問10 お子さん（ご本人）のことで、気にかかっていることはどのようなことですか。

- ・学校に行けてないこと
- ・学校や園での配慮の内容
- ・交通手段 移動手段 自転車問題
- ・保護者が亡くなった後、グループホームや施設へ入れるのか

問11 お子さん（ご本人）は、どれくらい外出しますか。

- ・学校以外殆どない

問12 お子さん（ご本人）と外出するとき、どのようなことに困っていますか。

- ・エレベーター
- ・お金の支払いが一人ではできない。
- ・こだわりが強いので、ルールを守れない人に対し注意しに行こうとする。
- ・こだわりが強く、前に進むのが難しいと感じる。
- ・タクシーを利用する時、車いすが乗らないことが多い。
- ・トイレが近いので、外出先でお手洗いの場所を常に気にしていないといけないこと。
- ・におい

- ・雨（防水じゃないため）
- ・外出時には特に困りごとはありません。
- ・街灯が少なく、夜外出できない。
- ・公園で遊んでるぐらいで特に心配することないです。
- ・行って帰って来れるか。目的地に辿り着けるか。
- ・今のところない
- ・混雑状況等で本人がイライラしてしまう
- ・座り込んで歩いてくれないことがある。
- ・私（母親）に対して悪口を言ってきて私がイライラしてしまう。
- ・時間通りに帰ってくるか
- ・自転車で出かけるのが好きでいるが、交通に迷惑をかけていないか？マナーは守れているか？親が注意しても全くきかず。
- ・順番が待てない。じっとしていられない。奇声を大声で発する。
- ・勝手にいなくなったり、いろんな物に触ってしまう
- ・状況を把握できずに起こる事故
- ・食事の確保、障がい特性で歩けない
- ・線路をまたぐ地下道が狭い、少ない。体重オーバーで自転車に乗せることができない。重たい障がい児用の自転車を開発して欲しい。そうすると、タイヤはめこみ式？の駐輪場の駐輪も難しくなりそう。
- ・待ち時間が長いと立っていられない。あまり出かけたがらない。
- ・大人のトイレ（子供が大人しく待っていられないので）
- ・通学なども一人では不安で、誰か付き添いが必要。
- ・本人の特性により予定していた外出を急に嫌がる
- ・特にありません

問13 お子さん（ご本人）は、平日の昼間の時間帯は、どのように過ごしていますか。

- ・デイサービス
- ・家で動画鑑賞やゲーム
- ・家にいる
- ・学童保育や放課後等デイサービス
- ・最近是不登校で家にいることが多い
- ・週3回学校以外の日は自宅
- ・寝ている
- ・不登校時は自宅で一人で過ごしている

問14 平日の夕方（親子教室や通園施設、学校が終わった後）やお休みの日に、お子さん（ご本人）はどのように過ごしていますか。

- ・ アルバイト
- ・ 家にいる
- ・ 家族で外出
- ・ 学校
- ・ 日中とおなじ

問15 あなたが、その希望する暮らし方を実現するために、必要なことは何ですか。

- ・ パートアルバイトをしている母親の支援
- ・ 家族で出かけるのに気を使うので、いろいろ使えるサービスが増えればいいなと思います。
- ・ 学校などの先生方が障がいについて理解を深めること
- ・ 近くに聾学校がない。障がいを持つ子の親の仕事サポート（送迎が必要で短時間抜けられたり、有休多めにももらえたり、在宅できたり等）。
- ・ 手話
- ・ 心臓、肺高血圧があり、それですべてのショートを断られてしまった。親が入院とかした時に預けるところがないため、探しましたが心臓って言うだけでダメ。レスパイト入院も寝たきりじゃないとダメと言われ、悲しく思います。私も病気があるため、でも入院できない状態です。
- ・ 世間の理解
- ・ 同じ障がいを持っている保護者同士とコミュニティ
- ・ 不登校児童への支援、母子家庭への助成金を増やす。
- ・ 勉強会

問16 療育に関する相談について望むことがありますか。

- ・ 10代で精神障がいのため、周りに相談する人がいない。家族会とかあれば良い。
- ・ 市内各地に相談場所を設置してほしい
- ・ 相談機関が予約いっぱいでは相談できない現状を改善してほしい。
- ・ 通院、通学、リハビリ先等が、親抜きで連携をとってほしい。
- ・ 通常学級の子供たちへ療育についての理解を促す取り組みを行ってほしい。
- ・ 定員を厳格にし過ぎず、通いたい時に行けるようになってほしい。
- ・ 土日なども相談できる、事前に学校の様子を見に行ってくれ、ふだんの様子を含めて相談できるなど、柔軟に対応してほしい。

問17 乳幼児期の健診や療育に関してどのようなことを望みますか。

- ・ 1歳半や3歳児健診(集団)に行かなくても良い選択肢を提示して欲しかったです。
- ・ K式やTASPなど結果を数値で教えてほしい

- ・ 杉の子を大きくしてほしい。入園の数に限りがあるので、うちの末っ子は入れずでした。入れていたら今頃、もう少し成長していたのにと感じます。（長男が杉の子でお世話になり、とても良かったので）
- ・ 早期発見をしてほしい
- ・ 病院も療育も建物がみんな遠い。
- ・ 父や母の就労や負担を考えてアドバイスしてほしい。特に市と保育園。
- ・ 保育園や学校と連携してほしい

問19 どのような療育やサービスを受けることを希望しますか。

- ・ 1日に複数か所利用できるようにしてほしい。
- ・ 学習面
- ・ 学習面のフォロー
- ・ 仕事におれる所
- ・ 保護者同伴交通ルール教室

問20 障がいや発達に特性のある子供のための施策やサービスなどで、特に充実が必要と思うものは何ですか。

- ・ ベビーシッター制度の充実
- ・ 安心できるグループホーム、施設
- ・ 教育現場の人手不足解消、人手の充実（質の向上）。
- ・ 支援学級で働いている先生の質の向上
- ・ 通常級の先生へ、発達障がいがある児童への接し方や学習
- ・ 保護者の生命、健康を維持するため、受給者証の日数を最大28日/月まで引き上げ、また今後の改定にこれを引き下げることを含めないこと。日数をいちいち決めなければならないこと。あちこちに行かないとできないこと。これらは健常児を連れて出かけるのでさえ大変であるにも関わらず、親にかかる負担が大きすぎることを一切考えつかないような不便さである。

問21 あなたは、保健や福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

- ・ ケアマネジャー
- ・ こども園
- ・ 指定障がい児相談支援事業所
- ・ 障がい児相談支援
- ・ 相談支援員
- ・ 補聴器屋さん
- ・ 訪問リハビリの先生

問22 あなたは、困ったときや相談したいとき、どこ（誰）に相談しますか。

- ・ ケースによる
- ・ デイやリハビリの先生
- ・ 学童の先生
- ・ 相談員さん
- ・ 放課後等デイサービス
- ・ 民間療育先
- ・ 療育、幼稚園
- ・ 療育先の職員・学校に来ているSSW

問24 あなたが、相談支援体制について、希望することは何ですか。

- ・ 相談だけで終わってしまい支援してもらえなかったことがあったので、親が子供の命に関わると判断して、行政への救いを求めた時に、子供をすぐに保護してくれる体制（一時的な受け入れの枠）をきちんとしてほしい。電話をかけてまわり、病院で子供2人を離しながら個別に相手しつつ、自分の病気がうつらないように治すなど不可能である。そのうえ、相談の時間は数時間取られて説明だけでも疲れるのに、何ひとつ解決しなかったもので、こんなことなら子供に病気がうつって死ぬと覚悟して、一緒に何もせず、その場だけでも体を休めれば良かったと思っている。我が家は今後、子供が少し大きくなったこともあり、このような事はないだろうが、同じように追いつめられている母親は絶対にいる。そういう人を一人でも減らしてほしい。
- ・ 土・日・祝の相談支援体制の充実
- ・ 保護者の生活や精神的負担を含めた医療・福祉・保健・教育など各分野が連携した総合的な相談支援体制
- ・ 話を聞いて終わりではなく、中長期的に一緒に問題や課題に取り組んでほしい。希望すればできるのか、無理なお願いをしているのかわからず言いづらい。

問25 障がい福祉サービス等について、①から③にお答えください。

① 利用の有無

- ・ 療育教室

②(1) 利用して気になるところ

- ・ 特になし。今のままで満足

②(4) 利用して気になるところ

- ・ 1日に2か所通いたいが、1か所だけと決まっているのが不便
- ・ サービスに対して困っていることは特にないが、下にも子供がいる為送迎するのがとても大変です。
- ・ 事業所の場所が悪い。車通りが多い場所など。
- ・ 送迎ありの丸1日預かってくれるデイと、親が連れて行く30分で終わる習い事のようなデイがひとくくりにされているのはおかしくないですか。分けるべき。夏休みとかは両方使いたいのに、1日しか使えない。

- ・ 中学校で摂津支援に行く予定。吹田の事業所ではお迎えに行けないと言われ、摂津の事業所を今探しています。困る…、慣れているのに。
- ・ 長期学校休みの際、朝の利用開始が学校より遅く困る
- ・ 得意を伸ばせる（絵画）ことに特化したサービス内容がない
- ・ 本人が行きたがらないので使っていない状況
- ・ 特になし

②(11)利用して気になるところ

- ・ 事業所が少ない。業務内容が明確でない。
- ・ 児童デイを利用したいが本人が外出拒否

問26 （問25の「利用の有無」欄に1つも〇がない人） 障がい福祉サービス等を利用しない理由は何ですか。

- ・ 一旦サービス利用停止して、発育状況を見てみようと思いました。過去の通所の効果があったように思います。
- ・ 今は特に利用しなくても家族でサポートできると感じたので
- ・ 子供が他人とかかわることを嫌がった。
- ・ 忙しい
- ・ 本人が嫌がるため
- ・ 利用する予定

問27 お子さん（ご本人）は卒業後（義務教育期間の終了後）の進路をどのように考えていますか。

- ・ 数年後どうなっているかわからない。どんな選択ができるのかもわかっていない。
- ・ 卒業したら作業所ではなく、20歳位まではデイの延長みたいな遊びながらゆっくり職業を覚える所が吹田にほしい。
- ・ 本人はまだ考えていないが、親としては「1」または「2」

問28 お子さん（ご本人）は、将来、働くことについて、どのように考えていますか。

- ・ できれば①一般の就労、無理であれば③障がいや発達に…施設で働く。
- ・ 聴力、発達に問題はあるが、どちらもグレーゾーンで障がい者手帳もなく、どうすべきか悩んでいる。聴力は60で補聴器は必要だが手帳はなし。

問29 障がいや発達に特性がある人が一般の就労で働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

- ・ 障がい者雇用賃金の向上
- ・ 健常者と同程度の給与体系

問30 お子さん（ご本人）の将来の暮らしのために、必要なことは何ですか。

- ・インクルーシブ教育
- ・わからない

問35 保護者の就労に関して、必要な支援とは何ですか。

- ・就労は希望していません
- ・両立は大変なので充実や補強や支援という言葉で良いと思う。

問36 あなたは、お休みの日などにどのような場に行ってみたいですか。

- ・療育教室、公園、ソフトボール教室
- ・子供・保護者が楽しく安心して過ごせる場
- ・子供が楽しく過ごせる場
- ・子供が迷惑をかけずに思いっきり遊べる場
- ・出かけたくない
- ・職業体験や自然体験など
- ・友人と会う
- ・特になし

問38 （問37で「1 ある」と回答した人）嫌な思いをしたのは、どのようなときですか。

- ・園生活
- ・京都文化博物館「鈴木敏夫とジブリ展」
- ・公園で遊んでいる時
- ・山三保育園での保育士の態度
- ・子供が見知らぬ大人に叱責された
- ・診察をしてもらえなかった
- ・吹田市の児童センターの幼児教室での職員の対応
- ・電車内で子供が何かにびっくりして「あ！」と言っただけで目の前の男性に「うるさい！」とどなられた。怖くてすぐに降車した。
- ・保活
- ・幼稚園に在中

問40 お子さん（ご本人）に障がいや発達に特性があるために、お子さん（ご本人）やあなたが、あきらめたり、仕方なくがまんしたりしたことがありますか。

①お子さん（ご本人）

- ・スーパーや病院
- ・たくさんの人が集まる場所
- ・結婚
- ・習いごと
- ・転園した（民間私立幼稚園→公立こども園）

②あなた

- ・スーパーや病院
- ・たくさんの人が集まる場所
- ・ひたすら話につき合う
- ・外食
- ・帰省
- ・習い事
- ・転園した（民間私立幼稚園→公立こども園）
- ・平日夕方以降の外出（一人で留守番はさせられない）
- ・母親の就労や友だちづくり

問43 （問42で「2 しない」または「3 わからない」と回答した人）
避難所に避難しない理由は何ですか。

- ・その時どうなっているかわからない。
- ・その時の被害状況によるから
- ・その場で障がいの子はずっといる事は不可能。落ち着かず不安になるだけ。
- ・できない。勝手に離れてしまうので、そのまま戻らず命の危険があるので、鍵のかかる場所に一緒にいるしかない。
- ・安全確保と人のたくさんいる場所へ行くことが苦痛なため、ストレスを天秤にかけると思います。
- ・家にいた方が子供が落ち着いてくれると思うから
- ・家の方がいい時もあるから
- ・家の方が安心だと思うから
- ・慣れた環境でないと落ち着かないから
- ・災害の度合いによる。自宅の方が安全な場合もあるのでは。
- ・子供が音に敏感、人の目を気にするため
- ・子供が人の多い所、知らない人がいる所が苦手なので、行ってみると思いますが長い時間はいられないと思います。
- ・子供が落ち着ける場所でないかもしれないので。
- ・子供本人が嫌がりそう
- ・場合によるがマンションの方が高くて安全、便利のため

- ・状況によって判断するから
- ・人がたくさんいる所が苦手。普段と違う環境が苦手。
- ・大きな声でしゃべり続けたりするため、それを止めさせると本人のストレスが溜まると思う。
- ・度合いによる
- ・被害状況によりベストな行動が変わってくるので
- ・避難所生活の不自由さ
- ・本人が嫌がると思います。
- ・本人が不安定になるから
- ・本人のストレスが大きすぎる
- ・本人の混乱が予想されるため

問44 あなた、お子さん（ご本人）にとって、地震などの災害時に必要な支援は何ですか。

- ・コンセントとの優先利用（人工内耳の充電のため）
- ・広めのパーソナルスペース
- ・障がいの子が避難所に安心して過ごせると思いますか？安心して過ごせる場所が必要だと思います。
- ・人目を避けることができる環境確保
- ・生活のすべて
- ・赤ちゃん用のミルクの提供
- ・早く家に帰れること。環境が変わるとパニック。
- ・大勢の人がいる場合に静かな場所の確保
- ・避難所でのクールダウンできる場の確保など、環境整備。
- ・命に関わるので閉じこもれる空間ないし、見張れる人手。保護者の就寝時にふらりといなくなってしまう可能性があるので、保護者は睡眠時間の確保が難しい。

自由記述

問39 (問37で「1 ある」と回答した人) 差し支えなければ、あなたが経験されたことを具体的に記入してください。

- ・自由記述欄には66人から記載がありました。(複数の経験がありますので重複しています。)

【学校に関する経験】

- ・学校で幻聴が出た時、先生から理解されず泣いてしまったが、「しんどいもの」と思われた。
- ・学校でのいじめ。
- ・学校で特性理解がされず、あまやかしていると思われ配慮がされないことがある。
- ・学校内でからかわれたり、対人関係がしんどく不登校気味です。放デイでは自分の居場所や役割があると感じているようで、毎回通所を楽しみにしている。
- ・吃音があることで、クラスのお友だちに「だまれ」「死ね」と言われたことがあった。

他 15 件の意見がありました。

【園に関する経験】

- ・園を探している際、病名を言うだけで話も聞いてもらえず断られることが多かった。公立幼稚園は受け入れはしてくれるが、看護師はつかず母子通園が基本で、服薬などの対応もできないと言われ、障がいのある子に対して充分とは言えない対応で非常に残念だった。
- ・私立幼稚園へ入園希望の電話連絡の際、差別的発言があった。もちろん断られました。
- ・就園時、発達を理由に入園、見学を断られた(私立幼稚園2園)。気を使っただけのこととは思いますが、子供の発達の状況を伝える時に、他の保護者に聞こえないように小声で話された(公立幼稚園)。
- ・年少から入った私立幼稚園ですが、加配をつけないと年中への進学が難しいと言われ、加配の料金がとても支払える金額ではなかったため転園しました。
- ・民間の保育園はほぼ100%電話の時点で断られました。事情や特性を聞いてくれるならまだしも、障がいがあると伝えた時点で、うちでは無理と素っ気ない対応を取られたことがあります。障がいがあることによって保育園に申し込むというスタート地点にもたどり着けないのか、障がいがある子の親は働けないのか等、悲しくなりました。

他14件の意見がありました。

【健診に関する経験】

- ・1歳半健診の時、その用紙を見てお医者様が「病院にちゃんと言っていたのか？」と言われました。行ってるなんて当たり前だし、お医者様から言われたことにショック過ぎた。健診が苦手になった。
- ・3歳児歯科検診子供が激しく泣いてしまい、舌のできものは見てももらえなかった。耳鼻咽喉科に相談するよう言われた。
- ・3歳児健診など定形発達の子もたくさんいる場所で歯科健診の歯科医に嫌そうな顔をされました。

【店に関する経験】

- ・スーパーでチックを発症した時、周りから見られること。
- ・ホームセンターでウロウロしていたら、体が大きいので小学生と思われたのか、すごく冷たい目で見られた。
- ・レストランで子供の落ち着きがないと周りの視線を感じ、親の躰がなってないと思われているのではないかって外食ができない。
- ・スーパーでボタン触るのが好きなため、触っていると注意されて、それで私が本人に怒るとかんしゃくが始まり、注意した人が変な目で見られた
- ・髪の毛を切りに行くと、はさみが怖くて逃げてしまう。それを嫌がられる。

他1件の意見がありました。

【他人に関する経験】

- ・ある程度子供の特性を周囲の方々へ伝える必要があるが、伝える際にどこまで詳しく説明すべきか悩みます。前向きな話であればしやすいですが、やはり空気が重たくなったり気を使わせたり申し訳ない気持ちにはなります。
- ・お母さん達と子育ての悩みについて話す時に定型発達の子のお母さんと悩む内容が明らかに違う。普通の悩みを持っているお母さんを羨ましく思ってしまう。
- ・小学1年生の時に、娘の友だちと親などから嫌なことを言われた。友だちの親から子供を使って娘にいじめにつながるような仲間はずれなどもされた。
- ・長男（自閉重度）がスーパーで果物を触ってしまい、若い男の人に怒鳴られて大喧嘩になったことがあります。相手は家族3人でいて、3対1でケンカになりすごく嫌な思いでした。
- ・左眼が白濁しているのですが、ジロジロ見られたり、ヒソヒソ何か言われたり、面と向かって「怖」と「言われたり。初対面での場面が多いです。

他10件の意見がありました。

【その他に関する経験】

- ・いつ、どこで急にかんしゃくが来るのか分からず、たまたま入った所や道などで急にひっくり返ってしまい、大きくなった体を持ち上げることも拒否されて、やっと持ち上げられたーと走りながら顔を殴られて、汗だくでクタクタになりながら帰る…という感じです。ただただ大変です。
- ・やはり他人には言いにくい場合がある。
- ・数えきれないほど、いろいろあります。
- ・静かにできない、じっとできないが、それを求められてしまった。
- ・暴れるのを止められなくて注意されたり、人に迷惑がかかるので一緒に外に出ることが苦痛です。また外に出したくても（通院など）出すことが困難（拒否）なため困ったり、日常生活の拒否で困っています。

他2件の意見がありました。

問42 最後に、障がい者施策の推進に向け、要望があれば、記入してください。

- ・自由記述欄には78人から記載がありました。(複数の要望がありますので重複しています。)

【学校に関する要望】

- ・公立小学校のバリアフリー化を進めてほしい(階段に昇降機をつける)支援級の教師が不足しているかが問題。1人産休に入って補充がまだされていない。
- ・子の年齢が上がるにつれ、情報や親の勉強する機会が少なくなっている。地域の学校についての情報等、同じ地域のペアレントメンターからお話が聞けたりする機会があると助かる。次年度から支援級の仕組みがガラッと変わるようなので、きっちりサポートしていただきたい。
- ・私立中学、公立中学での発達障がい児、グレーゾーンの子供へのケア。抽出授業、サポートの強化。
- ・小学校の教員(支援級も含め)を増やしてほしい。一時預かりを充実させてほしい。年齢が上がるにつれて周囲のサポートが受けづらくなるのでは…と心配しています。例えば、中学・高校など思春期に入ってくるので、それに合わせた相談機関や学校の先生の理解を求めたいです。
- ・地域の学校で、勉強は支援級の先生のフォローしてもらいながら何とかついていけるが、コミュニケーションの部分に難あり。またその逆もあり。軽度の障がいの子供が安心して通える学校が(中学～)無いように思います。地域の学校と支援学校、どちらも当てはまらない子供が通える学校が必要だと思います。

他 13 件の意見がありました。

【制度に関する要望】

- ・グレーゾーンの子供達に対して支援を厚くしてほしい。療育手帳B2の我々は特別児童手当がもらえないなど困ってない人扱いになるのは不満。
- ・一番充実させてほしいのは、日中一時支援です。今は高校生ですが、卒業後は作業所へと思っていますが、朝から帰ってくるまでの時間が短くなってしまうので、今の仕事が続けられなくなってしまいます。仕事終わった後利用できる、今利用中の放デイのようなものがほしいです。
- ・現在中2ですが、中学校卒業後の進学先を悩んでいます。前述のとおり、今の息子にとって放課後等デイサービスはなくてはならない居場所です。進学先を専修学校にした場合は通所できないと伺いました。どの進学先を選んでも通所が継続できる制度にしてください。
- ・補聴器・メガネの補助を更にお願ひしたい。手続きの簡素化。医師の診断書は1回5,000円かかりますし、病院の行き帰りに交通費もかかります。
- ・放課後等デイサービス→1日に複数の事業所に通いたい(AM、PMなど)。一日の定員を増やしてほしい。小学校や園などとの地域連携にカゲを感じる。もっと皆で取り組んでほしい。

他23件の意見がありました。

【健診に関する要望】

- ・ 支援があることをすこやか健診などで教えてほしかった。1歳半から同健診を受け、言葉の遅れなど指摘されてきたが、療育を受けられることを知ったのは4歳半（年中）、友人からだった。同じような悩みを持っていた彼女も、別の人から教えてもらったそう。年少の最初から療育を受けられていたら…。もっといろいろできることが増えたかもしれないのに。何回かすこやか健診を受けた時点で案内してあげてほしい。
- ・ 発達障がい児の早期発見をお願いしたい。当時の健診の質問には『お子さんが育てにくいと感じたことはありますか？』という質問があったが、自分が悪いと責めていた時期だったので、『はい』に丸を付ける気にはとてもなれなかった。もう少し具体的な行動を選べる質問があればよいと思う。

【園に関する要望】

- ・ 保育園の障がい児への理解を深めるために、保育士資格取得には障がい児に関する基本的な知識も得ている必要があるようにしてほしい(保育士が定型発達児に関する知識しかなく、園で食事面での配慮を依頼するのに苦労しました)・ 保育園への巡回相談時(保護者が同席でない場合)、市側から見たフィードバックの内容を、家庭に郵送するなどしてほしい。こちらに結果は何も知らされないので、巡回相談は機能しているのか疑ってしまう。
- ・ 保育所入園児に、幼稚園室は自分で障がい受け入れ可能か確認取ってほしいと、おすすめの園の紹介等してくれなかった。加配の保育士さんをつけてくれると許可してくれたのに、結局は加配つけられない小規模園になった。
- ・ 園で偏食を軽く見られて困っています。必要なエネルギーを摂れず満腹になれない日々を過ごしています。食べ物の持ち込みはアレルギーの関係で不可。園の食事をアレンジしてもらう（味付けを減らす、素材ごとに調理するなど）、人員不足を理由に断られます。子供に必要なエネルギーを摂らせるための行動をするのは、要配慮に含まれると思います。なので、配慮してもらっていると思います。帰宅すると台所に走っていき食べ物をあさる姿をみると、虐待なんじゃないかと思います。
- ・ 障がいのある子に対して、保健師さんのサポートが充分でない(保健師さんのできることが少ない、ほしいと思う支援や情報をあまり貰えない)就園に関して、公立の園での対応が不十分。看護師の配置など、人員確保は難しかったとしても、前提として園に配置する制度、配置の申し込みができるという体制は取るべき。私立を探すときも、保護者が園に自分で聞いてくれと言われ、すべての園に電話をするというのはとても大変であり、そしてそのほとんどが断われたりまた非常に不快な態度を取られたりと、精神的ストレスが非常に大きかった。障がいのある子が就園や集団生活を望む時、もう少し役立つ情報や相談できる場所を作してほしい。
- ・ 保育園の民営化が進んでいます。公立の対応に差が出ないようにするような記載（吹田市児童部子育て政策室、HPの民営化Q & Aの28番）がありましたが、実際は入園の申し込みすら断られてしまいました。障がいのある子は公立にしか申し込みできないのが現状ですが、候補が少ないです。公立の園に医療や障がい児枠を設けていただければ、障がいのある子も入園しやすくなるのではと思います。豊中市ではあるみたいです。

【留守家庭児童育成室に関する要望】

- ・放デイでは夏休みなど10時、11時～のお迎えが多いが、親が働きに出るのが難しい。放デイのお迎えまで使える学童の料金設定（午前2、3時間）があればうれしい。学童の人数調整にも生かせるのでは？途中でデイに行くのに、学童1人分でカウントされているのが勿体ない。
- ・現在、地域の小学校に通学し、同校内の学童に通っている。学童では市が運営しているので、夏などの長期休みは8:30～で、かつ障がい児は保護者と登園しないといけないというしほりがあるのが納得いかない。ふだん小学校に登校するのは一人でOK、学童（長期休みのみ）親と登園しなければならない理由を知りたい。親と登園した証拠に先生と顔を会わせる必要もあり。小学校には駐車場もないため、子をお届け、車を取りに自宅に帰り出社する時間のロス！そのため、仕事も正職員からパートに変更せねばならず、障がい児を育てているから親の就労の幅が狭まるのはひどすぎる。小学校の登校が一人でOKでなぜ学童がNGなのか、学童もOKにしてください。
- ・現在、保育園に通園しています。（看護師さん2人体制で医ケアの会計年度職員さん1人）やっと安心して保育園に通えているのに、就学時にまた教育委員会、放課後子ども育成室で看護師さん2人が雇用できるかなど話し合いが必要。一度教育委員会に問い合わせした時に、医ケアの看護師に欠員が出ていて人手不足だと伺いました。息子が就学する時に、小学校、学童と安心して通えるようにしたいです。会計年度職員（パート）の看護師さん2人だけでなく、正規雇用の人材増やしたり、近隣都市で行っているようないろんな学校や保育園をまわるシステムにしたり、訪問看護の業者入れたり、現状で人手不足なら解消できる別の方法をいろいろ検討していただきたいです。
- ・働く親が増えてきている中、学童の配慮枠になると送迎が必要になったり、夏休み等もデイサービスの利用は朝10時からだったり、学童も8:30から開室だったり、主に午前中の預け先を探すことがとても大変である。少なくとも学校と同じ時間帯の8時、可能であれば保育園と同じ7時30分から預かってもらえる体制を作してほしい。また、学校内の支援の人手が大幅に不足しているように感じる。サポートしてもらえたら、できること、学べること、理解できることがたくさんあるのと思う。義務教育の学力保証のためにもサポートの体制をもっと充実させてほしい。
- ・学童で加配などの制度を作ってください、安心して子供を預けれるようにしてほしいと感じています。

【環境に関する要望】

- ・学校教育が終了した後の居場所や生活の質の向上への支援が親任せで不足しているとよく聞きます。医療も発達し障がい児の学校卒業後の生活も長くなっていくと思うので、年齢を重ねてもその人らしく生きていける環境を整えていただきたいです。
- ・障がいのあるなしに関わらず、一緒に学んだり育ちあえる場を作っていただきたい。
- ・世の中の人が変わった目で見たり、嫌な顔をしないようにCMを流してほしい。将来一番心配なのは、保護者が亡くなった後、どうなるのか。お金の管理、施設に入所できるのか。施設を増やしてほしいです。
- ・発達障がいグレーの子の支援を充実してほしい。健常児との中で、共に生きていかなきゃならない。年金払わなければならない。大きくなるにつれて自信がなくなっていく。仕事も続かない。あなたはあなたで良いと、大きな声で言ってあげられる社会であってほしい。
- ・民間療育のスタッフについて、マニュアルに沿って対応してくれているが、発達に関する専門知識が少ない気がする。市の療育のレベルより低すぎるので、市の療育を拡大するか、民間への指導をしてほしい。

他10件の意見がありました。

【その他に関する要望】

- ・市が開催する子供向けのイベントに参加してみたいと思うのですが、子供の特性を考えると、周囲に迷惑をかけてしまうのではないかと思います、参加を諦めてしまうことがあります。障がい児向けのイベントを企画してほしいです。
- ・私に配った理由がよくわからない。大変失礼な問だと怒っています。
- ・提出が遅くなり申し訳ありませんでした。個人的に障がい児というくくりがあまり好きではありません。自分の子が障がいとか発達が遅れていることは否めませんが、まだ受け入れられてないし、うちの子はもっとできると親として信じてあげたいと思っています。なので、障がい児施策の推進に向けとかではなく、子供を育てる上で要望があればという形に変えてほしいです。
- ・役所に申請する時に、いろんな部署へたらい回しにされた。情報共有を各部署で行ってほしい。